
履 修 要 項

【免許・資格】

2026

佛教大学

在学中保存

『履修要項【免許・資格】』（本冊子）は 卒業時まで使用します 在学中は必ず保存のこと

在学中、本冊子に掲載する内容に変更が生じた場合は、B-netにてお知らせします。
また、年度当初に、最新版の『履修要項【免許・資格】』を大学HPに掲載しますので、必ず確認してください。

学生への 連絡方法

学生の皆さんに周知を要する**学修上の連絡事項は、すべて B-net に掲示します。**

一旦、掲示したものについてはすべての学生へ連絡したものと
して取り扱います。

定期的に B-net を確認し、見落としのないように注意してくだ
さい。見落としによる不利益は学生自身の責任とします。

履修に関するお問い合わせ

必ず本人が事務局カウンター窓口にてお問い合わせください。本人以外からの問い合わせや、本人であっても電話での問い合わせには一切お答えできません。

B-net Portal について

B-net Portalとは(略称:B-net)

大学が発信するお知らせの確認や各種申請の手続きなどを行うことができるポータルサイトです。

B-netにはWeb版とスマートフォンアプリ版(UNIPA)があります。

ログイン方法について

1. 以下のとおり B-net にアクセスしてください。

【Web 版】

<https://b-netrx.bukkyo-u.ac.jp/>

または、佛教大学ホームページ (<https://www.bukkyo-u.ac.jp/>) トップページ (ホーム画面) 下部にある「ポータルサイト B-net」をクリックしてください。

※スマートフォン用サイトもあります。詳しくは、上記 B-net ログイン画面よりご確認ください。

2. ログイン画面からユーザー ID とパスワードを入力してください。

※ユーザー ID およびパスワードについては、入学時に配付する「アカウント・パスワード通知」にて確認してください。

ホーム画面

ホーム画面では、大学からのお知らせ、休補講・教室変更、教務情報などの掲示、各種利用マニュアルなどが確認できます。

(掲示例：落とし物連絡・奨学金手続き案内・履修登録期間開始・教室変更・就職ガイダンスなど)

個人情報の照会、変更申請

大学 (B-net) に登録されている、本人、保証人情報などを確認することができます。また、登録情報(住所や電話番号など)に変更が生じた場合、「ホーム画面>情報照会>学籍情報変更申請」より変更することができます。

授業情報

授業に関する各種情報を確認することができます。

開講科目の開講曜日・講時や「シラバス照会」では、授業の概要、到達目標、成績評価の基準、テキストなどが確認できます。

※シラバスについての詳細については『履修要項』p.27 を確認してください。

資格・成績

「希望資格登録」では、取得希望する教育職員免許状・諸資格を登録できます。登録することで、事務手続きや履修指導をうけられます。

「成績照会」では、自身が学修した授業科目の成績や現在の取得単位数を確認することができます。

Web申請

学籍異動や傷害・事故報告、学内奨学金をはじめとした各種申請ができます。

事務取扱時間および電話番号

主な **学生対応窓口** の事務取扱時間および電話番号は以下のとおりです。

※授業日や行事日以外で事務の取扱いを休止する場合はB-netでお知らせします。

窓口	場所	電話番号	取扱時間
学生支援課	1号館2階	075-493-9009	平日 / 9:00~13:00 14:00~17:00 土曜 / 9:00~13:00
免許・資格課		075-493-9092(免許関連)	
		075-493-9016(資格関連)	
二条キャンパス事務課	二条キャンパス 1号館1階	075-366-5660	
情報システム課	1号館2階	075-493-9003	平日 / 9:00~13:00 14:00~17:00
社会連携課		075-493-9002	
国際交流課		075-493-9017	
進路就職課		075-493-9058	
生涯学習部 (通信教育課程)事務局	1号館1階	075-491-0239(代)	木曜日および通信教育課程の学事行事のない 土曜日・日曜日・祝日は事務取扱休止日。 詳細は通信教育課程HP参照。

※変更となる場合は、B-netにてお知らせします。

目次

I 教育職員免許状・資格の取得について

1. 取得できる教育職員免許状および資格の種類	4
2. 教育職員免許状および資格を取得するにあたって	5
3. 希望資格登録	5
4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料	6
5. 課程受講料納入時期	7
6. 教育職員免許状一括申請の手続き	7
7. 資格取得の手続き	7

II 教育職員免許状課程

1. 教育職員免許状課程の履修	10
2. 履修科目表	12

【仏教学部仏教学科】

・社会（中学校教諭一種免許状）	12
・地理歴史（高等学校教諭一種免許状）	13
・公民（高等学校教諭一種免許状）	14
・宗教（中学校教諭一種免許状）	15
・宗教（高等学校教諭一種免許状）	16

【文学部日本文学科】

・国語（中学校教諭一種免許状）	17
・国語（高等学校教諭一種免許状）	18
・書道（高等学校教諭一種免許状）	19

【文学部中国学科】

・国語（中学校教諭一種免許状）	20
・国語（高等学校教諭一種免許状）	21
・中国語（中学校教諭一種免許状）	22
・中国語（高等学校教諭一種免許状）	23

【文学部英米学科】

・英語（中学校教諭一種免許状）	24
・英語（高等学校教諭一種免許状）	25

【歴史学部歴史学科】

・社会（中学校教諭一種免許状）	26
・地理歴史（高等学校教諭一種免許状）	27
・公民（高等学校教諭一種免許状）	28

【歴史学部歴史文化学科】

・社会（中学校教諭一種免許状）	29
・地理歴史（高等学校教諭一種免許状）	30
・公民（高等学校教諭一種免許状）	31

【教育学部教育学科】

・小学校教諭一種免許状	32
・社会（中学校教諭一種免許状）	33
・数学（中学校教諭一種免許状）	34
・数学（高等学校教諭一種免許状）	35

【教育学部幼児教育学科】

・幼稚園教諭一種免許状	36
-------------	----

【教育学部臨床心理学科】

・社会（中学校教諭一種免許状）	37
・公民（高等学校教諭一種免許状）	38

【社会学部現代社会学科】

・社会（中学校教諭一種免許状）	39
・地理歴史（高等学校教諭一種免許状）	40
・公民（高等学校教諭一種免許状）	41
・情報（高等学校教諭一種免許状）	42

【社会学部公共政策学科】

・社会（中学校教諭一種免許状）	43
・地理歴史（高等学校教諭一種免許状）	44
・公民（高等学校教諭一種免許状）	45

【社会学部社会福祉学科】

・社会（中学校教諭一種免許状）	46
・地理歴史（高等学校教諭一種免許状）	47
・公民（高等学校教諭一種免許状）	48
・福祉（高等学校教諭一種免許状）	49

【全学部全学科共通】

・特別支援学校教諭一種免許状	50
----------------	----

3. 教育実習	51
4. 教職実践演習	57
5. 介護等体験	58

III 資格課程

浄土宗教師	62
浄土宗開教使	64
浄土宗社会教化主事	65
社会教育主事	66
博物館学芸員	68
図書館司書	70
学校図書館司書教諭	72
学校司書	73
社会調査士	74
グローバルプロジェクトマネジャー（GPM）資格プログラム	75

保育士	76
社会福祉士国家試験受験資格	80
精神保健福祉士国家試験受験資格	82
レクリエーション・インストラクター	85
レクリエーション・コーディネーター（教育コース）	86
社会福祉主事（任用資格）	87
公認心理師国家試験受験資格	88
日本語教師資格	90
GIS 学術士	92

I

教育職員免許状・資格の取得について

1. 取得できる教育職員免許状および資格の種類
2. 教育職員免許状および資格を取得するにあたって
3. 希望資格登録
4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料
5. 課程受講料納入時期
6. 教育職員免許状一括申請の手続き
7. 資格取得の手続き

◎セメスター制を理解しよう

セメスター（学期）制とは、15週（6ヶ月）を単位に1年を春学期と秋学期に分け、学期ごとに履修登録から単位認定までを完結させる制度です。

4年間は、合計8つの学期（第1セメスター～第8セメスター）に分けられることとなります。

履修科目表の「履修開始セメスター」欄に履修登録できる時期を記載しています。

第1学年		第2学年		第3学年		第4学年	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター

◎卒業所要単位についての注意事項

教育職員免許状ならびに資格を取得するために履修が必要な授業科目のうち、『履修要項』の各自が所属する学部・学科の履修科目表に記載のない科目は、すべて自由科目の扱いとなり、大学を卒業するために必要な卒業所要単位には算入されませんので留意してください。

卒業所要単位は、本冊子（『履修要項【免許・資格】』）ではなく『履修要項』を各自で必ず確認してください。

全学部共通 I 教育職員免許状・資格の取得について

1 取得できる教育職員免許状および資格の種類

		文学部				歴史学部		教育学部			社会学部		社会福祉学部	
		仏教学科	日本文学科	中国学科	英米学科	歴史学科	歴史文化学科	教育学科	幼児教育学科	臨床心理学科	現代社会学科	公共政策学科	社会福祉学科	
教育 職 員 免 許 状	中 学 校 教 諭 一 種	社会	●				●	●	●		●	●	●	●
		宗教	●											
		国語		●	●									
		外国語（英語）				●								
		外国語（中国語）			●									
	高 等 学 校 教 諭 一 種	数学							●					
		地理歴史	●				●	●				●	●	●
		公民	●				●	●			●	●	●	●
		宗教	●											
		国語		●	●									
		書道		●										
		外国語（英語）				●								
		外国語（中国語）			●									
		数学								●				
		情報										●		
福祉												●		
課 程	幼稚園教諭一種※1							▲	●					
	小学校教諭一種※1							●	▲					
	特別支援学校教諭一種 （知的障害者に関する教育の領域） （肢体不自由者に関する教育の領域） （病弱者に関する教育の領域）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	浄土宗教師	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	浄土宗開教使	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	浄土宗社会教化主事	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	社会教育主事	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	博物館学芸員	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	図書館司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	学校図書館司書教諭※2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	学校司書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	社会調査士										●	●		
	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	保育士								●				●	
	社会福祉士国家試験受験資格												●	
精神保健福祉士国家試験受験資格												●		
レクリエーション・インストラクター	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
レクリエーション・コーディネーター(教育コース)※3								●	●					
公認心理師国家試験受験資格※4									●					
日本語教師資格		●												
GIS学術士					●	●								

●：取得可能な免許・資格です ▲：教育学部初等教育副免許取得プログラムにより卒業時に取得可能です

※1 「▲」の取得にあたって、**教育学科では小学校教諭一種免許状、幼児教育学科では幼稚園教諭一種免許状**の取得を必須とします。1年生の第2セメスター時に、春学期の成績を参考に学生自身の適性に関する面談等を実施します。

※2 学校図書館司書教諭資格希望者は、**小学校・中学校・高等学校または特別支援学校いずれかの教育職員免許状**の取得が必要です。

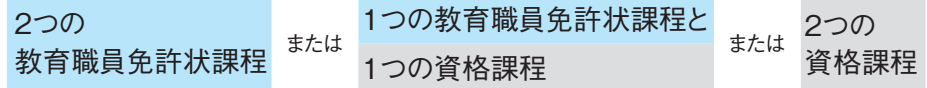
※3 レクリエーション・コーディネーター（教育コース）資格希望者は、**幼稚園または小学校の教育職員免許状**の取得が必要です。

※4 公認心理師国家試験受験資格を得るためには、**学部での指定科目履修後、大学院での指定科目履修または文部科学省令・厚生労働省令で定める施設での所定の勤務経験**が必要です。

2

教育職員免許状および資格を取得するにあたって

- 履修登録できる教育職員免許状課程および資格課程は以下のいずれかを基本としています。ただし、時間割上、必修科目との開講曜日講時の重複等がない場合、3つ以上の免許・資格課程を履修登録することは可能です。



※以下の特例があります。

- ①浄土宗開教使養成課程および浄土宗社会教化主事課程は資格課程として数えません。
- ②次の組み合わせは一つの課程として数えます。

異校種同教科（例：中学校教諭一種（国語）と高等学校教諭一種（国語））

中学校教諭一種（社会）と高等学校教諭一種（地理歴史）

中学校教諭一種（社会）と高等学校教諭一種（公民）

図書館司書課程と学校図書館司書教諭課程と学校司書課程

- ③「保育士」と「精神保健福祉士国家試験受験資格」を同時に取得することはできません（社会福祉学科）。

3

希望資格登録



注意

取得希望する
免許・資格がある方は
必ず登録してください。

希望資格登録とは、B-netにて希望する教員免許状・諸資格を登録することで、大学にて取得を目指している免許・資格を把握・管理し、大学事務局より、**事務手続きにおける連絡事項や履修指導、免許・資格の申請手続きの案内などを行うための大切な登録**です。希望資格登録を行うことで、教員免許状・諸資格の取得を目指すことができます。**大学からの手続きの案内や履修指導、取得に向けての申請手続きなどの通知も、希望資格登録を行っていないければ届きません**ので、登録を忘れないようにしてください。

学期途中で免許・資格取得を断念する場合は、**次回登録時期に希望資格登録を取消ししてください。**

- 希望資格登録は毎学期のオリエンテーション期間にB-netにて申請が可能です。
- 第7セメスター時に登録された希望資格登録を確定情報とします。それ以降の登録追加・削除はできません。

取得について
仏教学科
日本文学科
中国学科
教 英米学科
歴史学科
歴史文化学科
職 教育学科
幼児教育学科
臨床心理学科
課 現代社会学科
公共政策学科
程 社会福祉学科
特別支援学校
教育実習
教職実践演習
介護等体験
浄土宗教師
浄土宗開教使
浄土宗社会教化主事
社会教育主事
博物館学芸員
資 図書館司書
学校図書館司書教諭
学校司書
格 社会調査士
グローバルプロジェクトマネジャー
課 保育士
社会福祉士
精神保健福祉士
レクリエーション・インストラクター
レクリエーション・コーディネーター
程 社会福祉主事
公認心理師国家試験受験資格
日本語教師資格
GIS学術士

全学部共通 I 教育職員免許状・資格の取得について

4 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料

課程受講料とは、教育職員免許状および資格を取得するにあたって必要な費用のことです。下記の一覧表に記載のないものについては、課程受講料を必要としません。



注意

納入時期は
免許・資格の種類により異なります

右表にある所定の課程受講料を納入しなかった場合、所要単位を修得しても免許・資格の取得はできません。実習費や申請手数料とは異なりますので、必ず納入してください。

課程受講料一覧

学 科	教育職員免許状・資格	課程受講料 (円)
仏 教 学 科	教育職員免許状(中・高)	30,000
	教育職員免許状(特別支援)	20,000
	社会教育主事	20,000
日 本 文 学 科	博物館学芸員	20,000
	図書館司書	20,000
中 国 学 科	学校図書館司書教諭	5,000
	学校司書	20,000
英 米 学 科	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	10,000
	教育職員免許状(中・高)	30,000
歴 史 学 科	教育職員免許状(特別支援)	20,000
	社会教育主事	20,000
歴 史 文 化 学 科	図書館司書	20,000
	学校図書館司書教諭	5,000
教 育 学 科	学校司書	20,000
	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	10,000
幼 児 教 育 学 科	博物館学芸員	20,000
	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	10,000
臨 床 心 理 学 科	教育職員免許状(特別支援)	20,000
	社会教育主事	20,000
臨 床 心 理 学 科	博物館学芸員	20,000
	図書館司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	学校図書館司書教諭	5,000
	学校司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	10,000
	教育職員免許状(中・高)	30,000
臨 床 心 理 学 科	教育職員免許状(特別支援)	20,000
	社会教育主事	20,000
臨 床 心 理 学 科	博物館学芸員	20,000
	図書館司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	学校図書館司書教諭	5,000
	学校司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	10,000
	教育職員免許状(中・高)	30,000
臨 床 心 理 学 科	教育職員免許状(特別支援)	20,000
	社会教育主事	20,000
臨 床 心 理 学 科	博物館学芸員	20,000
	図書館司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	学校図書館司書教諭	5,000
	学校司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	10,000
	教育職員免許状(中・高)	30,000
臨 床 心 理 学 科	教育職員免許状(特別支援)	20,000
	社会教育主事	20,000
臨 床 心 理 学 科	博物館学芸員	20,000
	図書館司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	学校図書館司書教諭	5,000
	学校司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	10,000
	教育職員免許状(中・高)	30,000
臨 床 心 理 学 科	教育職員免許状(特別支援)	20,000
	社会教育主事	20,000
臨 床 心 理 学 科	博物館学芸員	20,000
	図書館司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	学校図書館司書教諭	5,000
	学校司書	20,000
臨 床 心 理 学 科	グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	10,000

- ・一旦納入された課程受講料は、いかなる理由においても返還できません。
- ・課程受講料は、年度により変更する場合があります。
- ・上記課程受講料の他、実習費や申請手数料が必要となる場合があります。
- ・以下の教育職員免許状・資格をセットで取得する場合、課程受講料が減免となります。

教育職員免許状・資格取得の組み合わせ	課程受講料の減免
教育職員免許状+「社会教育主事」	「社会教育主事」の課程受講料を半額とする
教育職員免許状+「博物館学芸員」	「博物館学芸員」の課程受講料を半額とする
「図書館司書」+「学校司書」	「学校司書」の課程受講料は不要とする
「学校図書館司書教諭」+「図書館司書」	「学校図書館司書教諭」の課程受講料は不要とする
「学校図書館司書教諭」+「学校司書」	「学校図書館司書教諭」の課程受講料は不要とする
「図書館司書」+「学校図書館司書教諭」+「学校司書」	「学校図書館司書教諭」及び「学校司書」の課程受講料は不要とする

5 課程受講料納入時期

教育職員免許状（校種）	納 入 時 期
中学校・高等学校教諭一種	第2学年
特別支援学校教諭一種	第2学年

資 格	納 入 時 期
グローバルプロジェクトマネジャー(GPM)	第3学年または第4学年
学校図書館司書教諭	第3学年または第4学年
上記以外の資格	第4学年

6 教育職員免許状一括申請の手続き

教育職員免許状は、所轄の都道府県教育委員会より交付されるものです。よって教育職員免許状の取得には、**申請手続きが必要です。申請手続きをしなければ、教育職員免許状が取得できません**ので留意してください。**本学では、個々の申請を取りまとめて京都府教育委員会へ一括申請します。**教育職員免許状の交付希望者は、以下のとおり申請手続きを行ってください。

● 一括申請手続き

- ①卒業年次に一括申請の手続きに関するB-net通知を確認する。
- ②B-netで指示した方法で申請書類を提出し、申請手数料を納入する。
→交付された教育職員免許状は、卒業式当日に本人に配付されます。

※通信教育課程との併修による教育職員免許状の申請も含めて一括申請手続きを行ってください。

※一括申請手続きができなかった場合は、卒業後、個人で住民票所在の都道府県教育委員会あてに申請することができます。

- 立命館大学との協定にもとづく併修による、中学校・高等学校教諭一種免許状（理科、保健体育）は卒業後に個人で申請してください。

- 教育職員免許状の取得には、課程受講料が必要となります（p.6参照。教育学科は不要）。納入時期・方法の詳細は、B-netにてお知らせします。

7 資格取得の手続き



重要

取得を希望する資格に
手続きが必要か
必要でないか確認

資格の取得には、手続きが必要なものと必要のないものがあります。手続きが必要な資格は、**所要単位の修得に加え、所定の手続きをしなければ資格が取得できません**ので、留意してください。詳細は、B-netにてお知らせします。

なお、資格によっては、課程受講料が必要となります（p.6参照）。納入時期・方法の詳細は、B-netにてお知らせします。また、課程受講料以外に別途手数料等が必要となる場合もあります。

取得について

仏教学科

日本文学科

中国学科

教 英米学科

歴史学科

歴史文化学科

職 教育学科

幼児教育学科

臨床心理学科

課 現代社会学科

公共政策学科

程 社会福祉学科

特別支援学校

教育実習

教職実践演習

介護等体験

浄土宗教師

浄土宗開教使

浄土宗社会教化主事

社会教育主事

博物館学芸員

資 図書館司書

学校図書館司書教諭

学校司書

格 社会調査士

グローバルプロジェクトマネジャー

課 保育士

社会福祉士

精神保健福祉士

レクリエーション・インストラクター

レクリエーション・コーディネーター

程 社会福祉主事

公認心理師 国家試験受験資格

日本語教師資格

GIS学術士

II

教育職員免許状課程

1. 教育職員免許状課程の履修
2. 履修科目表
3. 教育実習
4. 教職実践演習
5. 介護等体験

◎履修科目表の構成

法定基準…教育職員免許法に定める事項
本学基準…法定基準に基づいた本学の基準

仏教学科 中学校教諭一種免許状「社会」

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法定基準	本学基準	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位	必要修得単位	備考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	別表				8	8	p.11 参照
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	別表				8	8	p.11 参照
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	2	必	1	20	(必修12・選択8以上)	
	日本史概論	2	必	1	2		
	日本史特論	2	選	2	2		
	日本仏教史 (古代・中世)	2	選	1	1		
	日本仏教史 (近世・近代)	2	選	2	2		
	東洋史概論	2	必	1	1		
	中国仏教史	2	選	2	2		
	インド仏教史	2	選	1	1		
	アジア仏教史 (チベット)	2	選	2	2		
	アジア仏教史 (韓国)	2	選	2	2		
	西洋史概論	2	必	1	1		

授業科目…履修すべき科目の名称
単位…左に記載されている授業科目の修得単位数
必修・選択別…必修(必ず修得しなければならない科目)
 選択(最低修得単位数以上選択すべき科目)
履修開始セメスター…履修登録を開始できる時期
最低修得単位…教育職員免許状および資格を取得するために必要な単位数
必要修得単位…本学基準において必要な合計単位数

備考…履修するための注意事項

- 中学校 社会 宗教
- 高等学校 地理歴史 公民 宗教

1 教育職員免許状課程の履修

教育職員免許状を取得するためには、「教育職員免許法」および「教育職員免許法施行規則」に基づき、取得希望の免許状において指定する科目を履修し、修得することが必要です。

また、本学では通信教育課程の科目を履修すること（「免許併修」）により教育職員免許状を取得することもできます。

※「免許併修」については、『履修要項』を確認してください。

法定基準

「教育職員免許法」・「教育職員免許法施行規則」に定める基礎資格および所要単位

免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数	備考	
幼稚園教諭一種	学士の学位を有すること	51	・左記の他、教育職員免許法施行規則第66の6に定める科目を修得すること ・小学校又は中学校の教員免許状希望者は、別途、介護等の体験を実施すること	
小学校教諭一種		59		
中学校教諭一種		59		
高等学校教諭一種		59		
特別支援学校教諭一種	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること	特別支援教育に関する科目【表2】	26	

【表1】幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭「教科及び教職に関する科目」の単位の修得方法

第一欄	教科及び教職に関する科目						合計単位数
	第二欄	第三欄	第四欄	第五欄	第六欄		
免許状の種類	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	
幼稚園教諭一種	16		10	4	7	14	51
小学校教諭一種		30	10	10	7	2	59
中学校教諭一種		28	10	10	7	4	59
高等学校教諭一種		24	10	8	5	12	59

【表2】特別支援学校教諭「特別支援教育に関する科目」の単位の修得方法

	特別支援教育に関する科目				合計単位数
	第一欄	第二欄	第三欄	第四欄	
免許状の種類	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育領域に関する科目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	
特別支援学校教諭一種	2	16	5	3	26

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

下表は、教育職員免許状取得（免許種不問）のための必修科目とその単位一覧です。

p.12以降の各学科、**教育職員免許状ごとの履修科目表には記載されていません**ので、注意してください。



重要

教育職員免許状取得のための必修科目です各教員免許状の履修科目表にある「最低修得単位数」には含みません

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学基準		
科目	単位数	系列	科目	単位数
日本国憲法	2	共通教養	「日本国憲法」	2
体育	2	共通教養	「スポーツ理論」	1
			「スポーツ実技」	1
外国語コミュニケーション	2	共通教養	「Integrated Communication Skills1」 「Integrated Communication Skills2」 「中国語1」 「中国語2」 「韓国語1」 「韓国語2」	2
			左記のうち同一語種の2科目2単位を選択すること	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	共通教養	「ICTリテラシー」	2

履修上の注意



重要

参照 3. 教育実習 p.51

参照 5. 介護等体験 p.58

●複数の教育職員免許状を取得する場合、同一の名称・単位数の科目は、同一の科目を修得することで他の校種においても修得済として取り扱われます。

例 ●中学校の教育職員免許状取得において「学校教育職入門」（2単位）を修得すれば、高等学校の教育職員免許状取得において改めて同一科目の履修は必要ありません。

●中学校の教育職員免許状取得において「教育原論」（2単位）を修得すれば、併修による小学校の教育職員免許状取得において改めて同一科目の履修は必要ありません。

●教育実習の科目登録についてはp.56を参照してください。

●教育実習の実施にあたっては、「教育実習実施資格判定」が行われます。（pp.53-55参照）

●小学校および中学校（中学校+高等学校含む）の教育職員免許状を取得する場合、7日間の「介護等体験」の履修が必要です。（pp.58-59参照）

●履修科目表の「備考」を必ず確認してください。



注意

在学中に留学を予定されている方は、事前に免許・資格課に相談してください。

特別支援学校教諭一種免許状について

特別支援教育の領域には、「視覚障害者に関する教育の領域」「聴覚障害者に関する教育の領域」「知的障害者に関する教育の領域」「肢体不自由者に関する教育の領域」「病弱者に関する教育の領域」の5領域が規定されています。

本学としては、このうち

「知的障害者に関する教育の領域」

「肢体不自由者に関する教育の領域」

「病弱者に関する教育の領域」

の3領域について認定を受けています。

特別支援学校教諭一種免許状の取得にあたっては基礎資格として幼稚園、小学校、中学校または高等学校のうちいずれかの普通免許状の取得が必要です。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 教 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 職 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 課 現代社会学科
- 公共政策学科
- 程 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 資 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 格 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネジャー
- 保育士
- 課 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 程 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS 学術士

2

履修科目表

仏教学科 中学校教諭一種免許状「社会」

中学校 社会 宗教
高等学校 地理歴史 公民 宗教

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準					備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必 修 選 択 別	履 修 開 始 セ ン タ ー	最 低 修 得 単 位	必 要 修 得 単 位	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史概論	2	必	1	20 (必修12・選択8以上)	60	「法学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること 「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること 「哲学概論」,「倫理学概論」または「宗教学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること
		日本史特論	2	選	2			
		日本仏教史(古代・中世)	2	選	1			
		日本仏教史(近世・近代)	2	選	2			
		東洋史概論	2	必	1			
		中国仏教史	2	選	2			
		インド仏教史	2	選	1			
		アジア仏教史(チベット)	2	選	2			
		アジア仏教史(韓国)	2	選	2			
		西洋史概論	2	必	1			
		人文地理学1	2	必	3			
		人文地理学2	2	選	4			
		自然地理学1	2	必	3			
		自然地理学2	2	選	4			
		地誌学1	2	必	3			
	地誌学2	2	選	4				
	「法学、政治学」	法学概論1	2	選	1			
		法学概論2	2	選	2			
		国際政治学	2	選	1			
	「社会学、経済学」	社会学概論	2	選	1			
		経済学概論	2	選	1			
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2	選	2			
		仏教哲学(インド)	2	選	3			
		仏教哲学(中国・日本)	2	選	4			
		倫理学概論	2	選	1			
		宗教学概論	2	選	1			
		仏教学の基礎	2	選	1			
		インド仏教1(初期)	2	選	4			
		インド仏教3(中観)	2	選	5			
		インド仏教発展研究(大乘)	2	選	4			
日本仏教1(古代・中世)		2	選	3				
インド仏教2(部派)		2	選	3				
インド仏教4(唯識)		2	選	5				
中国仏教2(隋唐時代)	2	選	4					
日本仏教2(近世・近代)	2	選	4					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法社会1	2	必	3	8	60	必修科目の他に、選択科目の中から同教科の2科目4単位を履修すること
		中等教科教育法社会2	2	必	4			
		中等教科教育法社会3	2	選	3			
		中等教科教育法社会4	2	選	4			
		中等教科教育法社会・地理歴史1	2	選	3			
		中等教科教育法社会・地理歴史2	2	選	4			
		中等教科教育法社会・公民1	2	選	3			
		中等教科教育法社会・公民2	2	選	4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11		
		教育原論2	2	選	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	学校教育職入門	2	必	1			
		教育行政学	2	選	1			
		教育行政学2	2	選	2			
		教育社会学	2	必	1			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育社会学2	2	選	2			
		比較教育学	2	選	3			
		教育心理学	2	必	1			
		教育心理学2	2	選	2			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	発達心理学	2	選	3				
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3				
学校教育課程論	2	必	3					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法	2	必	3	12			
	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3				
	特別活動の指導法	2	必	3				
	教育の方法及び技術	2	必	3				
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	選	4				
	教育の方法及び技術	2	選	3				
	ICTの活用及び教育	2	選	3				
	生徒指導の理論及び方法	2	必	2				
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必	2					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	必	3					
教育実践に関する科目	教育実習	2	選	5	4		教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
	教育実習(小・中)1	2	選	5				
	教育実習(小・中)2	2	選	5				
	教育実習(中・高)1	2	選	5				
	教育実習(中・高)2	2	選	5				
	教育実習指導(小・中)	1	選	5				
教育実習指導(中・高)	1	選	5					
教職実践演習	2	必	8	2				
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2	必	3	2			

必要修得単位

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

仏教学科 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

中学校 社会 宗教
 高等学校 地理歴史 公民 宗教

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準					備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必 修・選 択 別	履 修 開 始 セ ン タ ー	最 低 修 得 単 位		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本史概論	2	必	1	20 (必修12・選択8以上)	
			日本史特論	2	選	2		
			日本仏教史(古代・中世)	2	選	1		
			日本仏教史(近世・近代)	2	選	2		
		外国史	東洋史概論	2	必	1		
			中国仏教史	2	選	2		
			インド仏教史	2	選	1		
			アジア仏教史(チベット)	2	選	2		
			アジア仏教史(韓国)	2	選	2		
			西洋史概論	2	必	1		
		人文地理学・自然地理学	人文地理学1	2	必	3		
			人文地理学2	2	選	4		
			自然地理学1	2	必	3		
			自然地理学2	2	選	4		
地誌	地誌学1	2	必	3				
	地誌学2	2	選	4				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法社会・地理歴史1	2	必	3	4		
		中等教科教育法社会・地理歴史2	2	必	4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11	60	
		教育原論2	2	選	2			
		学校教育職入門	2	必	1			
		教育行政学	2	選	1			
		教育行政学2	2	選	2			
		教育社会学	2	必	1			
		教育社会学2	2	選	2			
		比較教育学	2	選	3			
		教育心理学	2	必	1			
		教育心理学2	2	選	2			
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学	2	選	3				
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3				
	学校教育課程論	2	必	3				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	10		
		特別活動の指導法	2	必	3			
		教育の方法及び技術	2	必	3			
		教育の方法論(ICT活用含む)	2	選	4			
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	選	3			
		教育の方法及び技術	2	選	3			
		ICTの活用及び教育	2	選	3			
		生徒指導の理論及び方法	2	必	2			
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必	3			
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	必	3			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中)1	2	選	5	2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
		教育実習(小・中)2	2	選	5			
		教育実習(中・高)1	2	選	5			
		教育実習(中・高)2	2	選	5			
		教育実習指導(小・中)	1	選	5			
		教育実習指導(中・高)	1	選	5			
教職実践演習	教職実践演習(教諭)	2	必	8	2			
	人権(同和)教育	2	必	3	2			
大学が独自に設定する科目		道徳の理論及び指導法	2	選	3			

必要修得単位

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)
 (※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

仏教学科 高等学校教諭一種免許状「公民」

中学校 社会 宗教
 高等学校 地理歴史 公民 宗教

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				備 考		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必 修・選 択 別	履 修 開 始 セ ン ター	最 低 修 得 単 位	必 要 修 得 単 位	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」 「社会学、経済学（国際経済を含む。）」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	法学概論1	2	選	1	20	60	「法学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること 「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること 「哲学概論」、「倫理学概論」または「宗教学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること
		法学概論2	2	選	2			
		国際政治学	2	選	1			
		社会学概論	2	選	1			
		経済学概論	2	選	1			
		哲学概論	2	選	2			
		仏教哲学（インド）	2	選	3			
		仏教哲学（中国・日本）	2	選	4			
		倫理学概論	2	選	1			
		宗教学概論	2	選	1			
		仏教学の基礎	2	選	1			
		インド仏教1（初期）	2	選	4			
		インド仏教3（中観）	2	選	5			
		中国仏教1（訳経時代）	2	選	3			
	日本仏教1（古代・中世）	2	選	3				
	インド仏教2（部派）	2	選	3				
	インド仏教4（唯識）	2	選	5				
	中国仏教2（隋唐時代）	2	選	4				
	日本仏教2（近世・近代）	2	選	4				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等教科教育法社会・公民1	2	必	3	4	4	
	中等教科教育法社会・公民2	2	必	4				
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11	60	
		教育原論2	2	選	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	学校教育職入門	2	必	1			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学	2	選	1			
		教育行政学2	2	選	2			
		教育社会学	2	必	1			
		教育社会学2	2	選	2			
		比較教育学	2	選	3			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必	1			
		教育心理学2	2	選	2			
		発達心理学	2	選	3			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3				
	学校教育課程論	2	必	3				
道徳・総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	10		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	必	3			
	教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用含む）	2	必	3			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論（ICT活用含む）2	2	選	4			
	教育の方法及び技術	教育評価論	2	選	3			
	生徒指導の理論及び方法	ICTの活用及び教育	2	選	3			
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必	2	2	2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2	必	3			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育実習（小・中）1	2	選	5			
	教育実習	教育実習（小・中）2	2	選	5			
		教育実習（中・高）1	2	選	5			
		教育実習（中・高）2	2	選	5			
		教育実習指導（小・中）	1	選	5			
	教育実習指導（中・高）	1	選	5				
教職実践演習	教職実践演習（教諭）	2	必	8	2	2		
	人権（同和）教育	2	必	3				
大学が独自に設定する科目	道徳の理論及び指導法	2	選	3	2	2		
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位（※1） 合計：60単位を修得すること						

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）
 (※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

仏教学科 中学校教諭一種免許状「宗教」

中学校 社会 宗教
高等学校 地理歴史 公民 宗教

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	必修単位	備考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	宗教学	宗教学概論	2 必	1	20 (必修6・選択14以上)	8	p.11 参照
		仏教学の基礎	2 選	1				
		インド仏教1(初期)	2 選	4				
		インド仏教3(中観)	2 選	5				
		中国仏教1(訳経時代)	2 選	3				
		日本仏教1(古代・中世)	2 選	3				
		インド仏教2(部派)	2 選	3				
		インド仏教4(唯識)	2 選	5				
		中国仏教2(隋唐時代)	2 選	4				
		日本仏教2(近世・近代)	2 選	4				
		宗教史	2 必	1				
		浄土教史	2 選	3				
		浄土宗史	2 選	4				
		「教理学、哲学」	浄土学の基礎	2 選	2			
		仏教文化の基礎	2 選	2				
浄土学1(中国浄土教)	2 選	3						
浄土宗学1(中国浄土教)	2 選	4						
哲学概論	2 必	2						
仏教哲学(インド)	2 選	3						
仏教哲学(中国・日本)	2 選	4						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法宗教1	2 必	3	8			
		中等教科教育法宗教2	2 必	4				
		中等教科教育法宗教3	2 必	3				
		中等教科教育法宗教4	2 必	4				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	60		
		教育原論2	2 選	2				
		学校教育職入門	2 必	1				
		教育行政学	2 選	1				
		教育行政学2	2 選	2				
		教育社会学	2 必	1				
		教育社会学2	2 選	2				
		比較教育学	2 選	3				
		教育心理学	2 必	1				
		教育心理学2	2 選	2				
発達心理学	2 選	3						
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3				
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2 必	3	12			
		総合的な学習の時間の指導法	2 必	3				
		特別活動の指導法	2 必	3				
		教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む)	2 必			3	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論(ICT活用含む)2	2 選			4	
		教育の方法及び技術	教育評価論	2 選			3	
		ICTの活用及び教育	2 選	3				
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必			2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必			3	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中)1	2 選	5	4	1	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
		教育実習(小・中)2	2 選	5				
		教育実習(中・高)1	2 選	5				
		教育実習(中・高)2	2 選	5				
		教育実習指導(小・中)	1 選	5				
		教育実習指導(中・高)	1 選	5				
		教職実践演習(教諭)	2 必	8				
2								
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3	2				
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：28単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：12単位 ・教育実践に関する科目：7単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 合計：60単位を修得すること				その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。		

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学
- 中国語
- 英米学
- 歴史学
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・プロジェクトリーダー
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS学術士

仏教学科 高等学校教諭一種免許状「宗教」

中学校 社会 宗教
 高等学校 地理歴史 公民 宗教

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考					
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別 セメスター							
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表			8	8	p.11 参照				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	宗教学	宗教学概論	2 必	1	20 (必修6・選択14以上)					
		仏教学の基礎	2 選	1							
		インド仏教1(初期)	2 選	4							
		インド仏教3(中観)	2 選	5							
		中国仏教1(訳経時代)	2 選	3							
		日本仏教1(古代・中世)	2 選	3							
		インド仏教2(部派)	2 選	3							
		インド仏教4(唯識)	2 選	5							
		中国仏教2(隋唐時代)	2 選	4							
		日本仏教2(近世・近代)	2 選	4							
		宗教史	2 必	1							
		浄土教史	2 選	3							
		浄土宗史	2 選	4							
		浄土学の基礎	2 選	2							
		仏教文化の基礎	2 選	2							
浄土学1(中国浄土教)	2 選	3									
浄土宗学1(中国浄土教)	2 選	4									
哲学概論	2 必	2									
仏教哲学(インド)	2 選	3									
仏教哲学(中国・日本)	2 選	4									
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法宗教1	2 必	3	4						
		中等教科教育法宗教2	2 必	4							
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	60					
		教育原論2	2 選	2							
		教育の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	学校教育職入門	2 必				1			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2 選				1			
			教育行政学2	2 選				2			
			教育社会学	2 必				1			
			教育社会学2	2 選				2			
			比較教育学	2 選				3			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 必				1			
			教育心理学2	2 選				2			
			発達心理学	2 選				3			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必				3			
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必				3			
		道徳・総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳・総合的な学習の時間等の指導法	総合的な探究の時間の指導法				2 必	3	10	
				特別活動の指導法				2 必	3		
教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む)			2 必	3						
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論(ICT活用含む)2			2 選	4						
教育の方法及び技術	教育評価論			2 選	3						
	ICTの活用及び教育			2 選	3						
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法			2 必	2						
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法											
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法			2 必	3						
教育実習	教育実習(小・中)1			2 選	5						
	教育実習(小・中)2			2 選	5						
	教育実習(中・高)1			2 選	5						
	教育実習(中・高)2			2 選	5						
	教育実習指導(小・中)			1 選	5						
	教育実習指導(中・高)			1 選	5						
教職実践演習	教職実践演習(教諭)	2 必	8								
2	2										
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3	2							
	道徳の理論及び指導法	2 選	3								
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位(※1) 合計：60単位を修得すること									

教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)
 (※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

日本文学科 中学校教諭一種免許状「国語」

中学校 国語

高等学校 国語 書道

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別	履修開始 セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論 1	2 必	3	20 (必修14・選択6以上)
			日本語学概論 2	2 必	4	
			言語学概論 1	2 選	3	
			言語学概論 2	2 選	4	
			古典文法 1	2 選	1	
			古典文法 2	2 選	2	
			ことばと表現 (古典)	2 選	1	
			ことばと表現 (近・現代)	2 選	2	
			日本文学概論 1	2 必	1	
			日本文学概論 2	2 必	2	
		日本文学史 1	2 必	3		
		日本文学史 2	2 選	4		
		文学概論 1	2 選	3		
		文学概論 2	2 選	4		
		京都と文学 (古典)	2 選	1		
京都と文学 (近・現代)	2 選	2				
国文学 (国文学史を含む。)	漢文学 1	2 必	3			
	漢文学 2	2 選	4			
	漢文基礎	2 選	3			
書道 (書写を中心とする。)	書道 1	2 必	1			
	書道 2	2 選	2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法国語 1	2 必	3	8	
		中等教科教育法国語 2	2 必	4		
		中等教科教育法国語 3	2 必	3		
		中等教科教育法国語 4	2 必	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	
		教育原論 2	2 選	2		
		学校教育職入門	2 必	1		
		教育行政学	2 選	1		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学 2	2 選		2
		教育社会学	2 必	1		
		教育社会学 2	2 選	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	比較教育学	2 選	3		
		教育心理学	2 必	1		
		教育心理学 2	2 選	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	発達心理学	2 選	3			
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3			
	学校教育課程論	2 必	3			
道徳、総合的な学習の時間等の指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2 必	3	12	
		総合的な学習の時間の指導法	2 必	3		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3		
		教育の方法及び技術	2 必	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (ICT活用含む)	2 必	3		
		教育方法論 (ICT活用含む) 2	2 選	4		
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3		
		ICTの活用及び教育	2 選	3		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2 必	2		
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		2 必	3			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 (小・中) 1	2 選	5	4	
		教育実習 (小・中) 2	2 選	5		
		教育実習 (中・高) 1	2 選	5		
		教育実習 (中・高) 2	2 選	5		
		教育実習指導 (小・中)	1 選	5		
		教育実習指導 (中・高)	1 選	5		
	教職実践演習	2 必	8			
2						
大学が独自に設定する科目	人権 (同和) 教育	2 必	3	2		

必要修得単位

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)

- 取得について
- 仏教
- 日本文学科
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等体験
- 浄土宗
- 浄土宗
- 浄土宗
- 社会教育
- 博物館
- 図書館
- 学校図書
- 学校図書
- 学校
- 社会
- グローバル
- 保育士
- 社会
- 精神
- レクリエーション
- レクリエーション
- 社会福祉
- 公認心理師
- 日本語
- GIS

日本文学科 高等学校教諭一種免許状「国語」

中学校 国語

高等学校 国語 書道

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別 セメスター			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表			8	8	p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論 1	2 必	3	20 (必修12・選択8以上)	
			日本語学概論 2	2 必	4		
			言語学概論 1	2 選	3		
			言語学概論 2	2 選	4		
			古典文法 1	2 選	1		
		古典文法 2	2 選	2			
		ことばと表現 (古典)	2 選	1			
		ことばと表現 (近・現代)	2 選	2			
		日本文学概論 1	2 必	1			
		日本文学概論 2	2 必	2			
		日本文学史 1	2 必	3			
		日本文学史 2	2 選	4			
		文学概論 1	2 選	3			
		文学概論 2	2 選	4			
		京都と文学 (古典)	2 選	1			
京都と文学 (近・現代)	2 選	2					
漢文学	漢文学 1	2 必	3				
	漢文学 2	2 選	4				
	漢文基礎	2 選	3				
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法国語 1	2 必	3	4		
		中等教科教育法国語 2	2 必	4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	60	
		教育原論 2	2 選	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	学校教育職入門	2 必	1			
		教育行政学	2 選	1			
		教育行政学 2	2 選	2			
		教育社会学	2 必	1			
		教育社会学 2	2 選	2			
	比較教育学	2 選	3				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 必	1			
		教育心理学 2	2 選	2			
発達心理学	2 選	3					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3				
	学校教育課程論	2 必	3				
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	2 必	3	10			
	特別活動の指導法	2 必	3				
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2 必	3				
	教育の方法及び技術 教育の方法及び技術	2 選	4				
	教育評価論	2 選	3				
ICTの活用及び教育	2 選	3					
生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2				
	教育相談の理論及び方法	2 必	3				
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2 必	3				
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 (小・中) 1	2 選	5	2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
		教育実習 (小・中) 2	2 選	5			
		教育実習 (中・高) 1	2 選	5			
		教育実習 (中・高) 2	2 選	5			
		教育実習指導 (小・中)	1 選	5			
		教育実習指導 (中・高)	1 選	5			
		教職実践演習 (教諭)	2 必	8			
2							
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3	2			
	道徳の理論及び指導法	2 選	3				

必要修得単位

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

(※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないので注意すること。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- CIS 学術士

日本文学科 高等学校教諭一種免許状「書道」

中学校 国語
高等学校 国語 書道

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	書道（書写を含む。）	書道1	2 必	1	20 (必修16・選択4以上)
			書道2	2 必	2	
		書道史	日本書道史	2 必	4	
			中国書道史	2 必	3	
		「書論、鑑賞」	書論	2 必	3	
			美術史1	2 選	3	
			美術史2	2 選	4	
		「国文学、漢文学」	日本文学概論1	2 必	1	
			日本文学概論2	2 必	2	
			日本文学史1	2 選	3	
			日本文学史2	2 選	4	
			文学概論1	2 選	3	
			文学概論2	2 選	4	
			京都と文学（古典）	2 選	1	
			京都と文学（近・現代）	2 選	2	
漢文学1	2 必		3			
漢文学2	2 選		4			
漢文基礎	2 選	3				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等教科教育法書道1	2 必	3	4	
	中等教科教育法書道2	2 必	4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	
		教育原論2	2 選	2		
		学校教育職入門	2 必	1		
		教育行政学	2 選	1		
		教育行政学2	2 選	2		
		教育社会学	2 必	1		
		教育社会学2	2 選	2		
		比較教育学	2 選	3		
		教育心理学	2 必	1		
		教育心理学2	2 選	2		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	発達心理学	2 選	3		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3	
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	学校教育課程論	2 必	3	
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	2 必	3	10
			特別活動の指導法	2 必	3	
		教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用含む）	2 必	3	
			教育方法論（ICT活用含む）2	2 選	4	
		教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3	
			ICTの活用及び教育	2 選	3	
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2	
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2 必		3			
教育実践に関する科目	教育実践	教育実習（小・中）1	2 選	5	2	
		教育実習（小・中）2	2 選	5		
		教育実習（中・高）1	2 選	5		
		教育実習（中・高）2	2 選	5		
		教育実習指導（小・中）	1 選	5		
		教育実習指導（中・高）	1 選	5		
		教職実践演習（教諭）	2 必	8		
2	2	2				
大学が独自に設定する科目	道徳の理論及び指導法	人権（同和）教育	2 必	3	2	
		道徳の理論及び指導法	2 選	3		

必要修得単位

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位
- ・教育実践に関する科目：5単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位（※1）
- 合計：60単位を修得すること

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く）。

（※1）最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

取得について
仏教学科
日本文学科
中国学科
教
英米学科
歴史学科
歴史文化学科
教育学科
幼児教育学科
臨床心理学科
現代社会学科
職
公共政策学科
社会福祉学科
特別支援学校
教育実習
教職実践演習
介護等体験
資
浄土宗教師
浄土宗開教使
浄土宗社会教化主事
社会教育主事
博物館学芸員
図書館司書
学校図書館司書教諭
学校司書
格
社会調査士
グローバルプロジェクトマネージャー
課
保育士
社会福祉士
精神保健福祉士
程
レクリエーション・ジストラクター
レクリエーション・コーディネーター
社会福祉主事
公認心理師
国家試験受験資格
日本語教師資格
GIS学術士

中国学科 中学校教諭一種免許状「国語」

中学校 国語 中国語

高等学校 国語 中国語

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学	日本語学概論 1	2 必	3	20 (必修12・選択8以上)
		日本語学概論 2	2 必	4		
		言語学概論 1	2 選	3		
		言語学概論 2	2 選	4		
		古典文法 1	2 選	1		
		古典文法 2	2 選	2		
		国文学 (国文学史を含む。)	日本文学概論 1	2 必	1	
		日本文学概論 2	2 選	2		
		日本文学史 1	2 必	3		
		日本文学史 2	2 選	4		
	文学概論 1	2 選	3			
	文学概論 2	2 選	4			
	仏教と文学	2 選	3			
	漢文学	漢文学 1	2 必	3		
	漢文学 2	2 選	4			
	漢文講読	2 選	2			
	中国古典文学史 1	2 選	3			
	中国古典文学史 2	2 選	4			
	漢語古典文献演習 (文学) 1	2 選	5			
	漢語古典文献演習 (文学) 2	2 選	5			
高級漢語読解 (古典)	2 選	5				
古典名作講読	2 選	4				
書道 (書写を中心とする。)	書道 1	2 必	1			
書道 2	2 選	2				
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中等教科教育法国語 1	2 必	3			
中等教科教育法国語 2	2 必	4				
中等教科教育法国語 3	2 必	3				
中等教科教育法国語 4	2 必	4				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	
	教育原論 2	2 選	2			
	学校教育職入門	2 必	1			
	教育行政学	2 選	1			
	教育行政学 2	2 選	2			
	教育社会学	2 必	1			
	教育社会学 2	2 選	2			
	比較教育学	2 選	3			
	教育心理学	2 必	1			
	教育心理学 2	2 選	2			
発達心理学	2 選	3				
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	学校教育課程論	2 必	3			
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	道徳の理論及び指導法	2 必	3			
道徳・総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2 必	3		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (ICT活用含む)	2 必	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (ICT活用含む) 2	2 選	4		
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3		
	ICTの活用及び教育	2 選	3			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必	3		
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育実習 (小・中) 1	2 選	5		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 (小・中) 2	2 選	5		
	教育実習 (中・高) 1	2 選	5			
	教育実習 (中・高) 2	2 選	5			
	教育実習指導 (小・中)	1 選	5			
	教育実習指導 (中・高)	1 選	5			
	教職実践演習	教職実践演習 (教諭)	2 必	8		
	2					
大学が独自に設定する科目	人権 (同和) 教育	2 必	3			
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：28単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：12単位 ・教育実践に関する科目：7単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 合計：60単位を修得すること				教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

中国学科 高等学校教諭一種免許状「国語」

中学校 国語 中国語
 高等学校 国語 中国語

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論 1	2 必	3	20 (必修10・選択10以上)
		日本語学概論 2	2 必	4		
		国文学 (国文学史を含む。)	言語学概論 1	2 選	3	
			言語学概論 2	2 選	4	
			古典文法 1	2 選	1	
			古典文法 2	2 選	2	
			日本文学概論 1	2 必	1	
			日本文学概論 2	2 選	2	
			日本文学史 1	2 必	3	
			日本文学史 2	2 選	4	
	漢文学	文学概論 1	2 選	3		
		文学概論 2	2 選	4		
		仏教と文学	2 選	3		
		漢文学 1	2 必	3		
		漢文学 2	2 選	4		
		漢文講読	2 選	2		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中国古典文学史 1	2 選	3		
		中国古典文学史 2	2 選	4		
		漢語古典文献演習 (文学) 1	2 選	5		
		漢語古典文献演習 (文学) 2	2 選	5		
高級漢語閲読 (古典)		2 選	5			
古典名作講読		2 選	4			
中等教科教育法国語 1		2 必	3			
中等教科教育法国語 2		2 必	4			
教育の基礎的理解に関する科目		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11
		教育原論 2	2 選	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	学校教育職入門	2 必	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2 選	1		
	教育行政学 2	2 選	2			
	教育社会学	2 必	1			
	教育社会学 2	2 選	2			
	比較教育学	2 選	3			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 必	1		
	教育心理学 2	2 選	2			
発達心理学	2 選	3				
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3			
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3	10	
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (ICT活用含む)	2 必	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (ICT活用含む) 2	2 選	4		
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3		
	ICTの活用及び教育	ICTの活用及び教育	2 選	3		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必	3		
	教育実習	教育実習 (小・中) 1	2 選	5		
教育実践に関する科目	教育実習 (小・中) 2	2 選	5			
	教育実習 (中・高) 1	2 選	5			
	教育実習 (中・高) 2	2 選	5			
	教育実習指導 (小・中)	1 選	5			
	教育実習指導 (中・高)	1 選	5			
教職実践演習	教職実践演習 (教諭)	2 必	8			
人権 (同和) 教育	2 必	3				
道徳の理論及び指導法	2 選	3				
大学が独自に設定する科目						
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位 (※1) 合計：60単位を修得すること				

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)
 (※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 教 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 職 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 課 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 資 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 格 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 課 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・プロジェクトリーダー
- レクリエーション・コーディネーター
- 程 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS 学術士

中国学科 中学校教諭一種免許状「外国語(中国語)」

中学校 国語 中国語

高等学校 国語 中国語

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別	履修開始 セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	中国語学	中国語概論 1	2 必	2	20 (必修18・選択2以上)
		中国語学	中国語概論 2	2 必	2	
	中国文学	中国語学	中国語学 1	2 選	3	
		中国語学	中国語学 2	2 選	3	
		中国文学	中国現代文学史 1	2 必	3	
		中国文学	中国現代文学史 2	2 必	4	
		中国文学	中国文学研究基礎 1	2 必	3	
		中国文学	中国文学研究基礎 2	2 必	3	
		中国文学	漢語現代文読演習(文学) 1	2 選	5	
		中国文学	漢語現代文読演習(文学) 2	2 選	5	
		中国文学	高級漢語読解(現代)	2 選	5	
		中国語コミュニケーション	中国語基礎演習 1	2 必	3	
	中国語コミュニケーション	中国語基礎演習 2	2 必	4		
	中国語コミュニケーション	漢語表現法演習(会話) 1	2 選	5		
	中国語コミュニケーション	漢語表現法演習(会話) 2	2 選	5		
	中国語コミュニケーション	漢語会話演習(HSK 5級) 1	2 選	5		
	中国語コミュニケーション	漢語会話演習(HSK 5級) 2	2 選	5		
	異文化理解	日中比較文化研究 1	2 選	3		
	異文化理解	日中比較文化研究 2	2 選	3		
	異文化理解	異文化理解「中国」 1	2 必	3		
異文化理解	異文化理解「中国」 2	2 選	4			
異文化理解	中国文化研究 1	2 選	3			
異文化理解	中国文化研究 2	2 選	3			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法中国語 1	2 必	3	8	
		中等教科教育法中国語 2	2 必	4		
		中等教科教育法中国語 3	2 必	3		
		中等教科教育法中国語 4	2 必	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論 2	2 選	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	学校教育職入門	2 必	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2 選	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学 2	2 選	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	2 必	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学 2	2 選	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	比較教育学	2 選	3		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 必	1		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学 2	2 選	2		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学	2 選	3			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3	12		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2 必		3	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必		3	
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必		3	
	教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む)	2 必		3	
	教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む) 2	2 選		4	
教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3			
教育の方法及び技術	ICTの活用及び教育	2 選	3			
生徒指導の理論及び方法に関する科目	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必		2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談の理論及び方法	2 必	3		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談の理論及び方法	2 必	3		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談の理論及び方法	2 必	3		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中) 1	2 選	5	4	
	教育実習	教育実習(小・中) 2	2 選	5		
	教育実習	教育実習(中・高) 1	2 選	5		
	教育実習	教育実習(中・高) 2	2 選	5		
	教育実習	教育実習指導(小・中)	1 選	5		
	教育実習	教育実習指導(中・高)	1 選	5		
	教育実習	教職実践演習(教諭)	2 必	8		
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3	2		

必要修得単位

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

中国学科 高等学校教諭一種免許状「外国語(中国語)」

中学校 国語 中国語
 高等学校 国語 中国語

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	必要修得単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必 修・選 択 別	履 修 開 始 セ ン タ ー				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	中国語学	中国語概論 1	2 必	2	20 (必修18・選択2以上)	60		
		中国語学	中国語概論 2	2 必	2				
		中国文学	中国語学 研究 1	2	選				3
			中国語学 研究 2	2	選				3
			中国現代文学史 1	2	必				3
			中国現代文学史 2	2	必				4
			中国文学研究基礎 1	2	必				3
			中国文学研究基礎 2	2	必				3
		中国語コミュニケーション	漢語現代文献演習(文学) 1	2	選				5
			漢語現代文献演習(文学) 2	2	選				5
			高級漢語読読(現代)	2	選				5
			中国語基礎演習 1	2	必				3
			中国語基礎演習 2	2	必				4
			漢語表現法演習(会話) 1	2	選				5
		異文化理解	漢語表現法演習(会話) 2	2	選				5
	漢語会話演習(HSK 5級) 1		2	選	5				
	漢語会話演習(HSK 5級) 2		2	選	5				
	日中比較文化研究 1		2	選	3				
	日中比較文化研究 2		2	選	3				
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法中国語 1	2 必	3				4
中等教科教育法中国語 2		2 必	4						
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11				
	教育原論 2	2 選	2						
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	学校教育職入門	2 必	1					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2 選	1					
	教育行政学 2	2 選	2						
	教育社会学	2 必	1						
	教育社会学 2	2 選	2						
	比較教育学	2 選	3						
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 必	1					
	教育心理学 2	2 選	2						
発達心理学	2 選	3							
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3						
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3	10				
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3					
	教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む)	2 必	3					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論(ICT活用含む) 2	2 選	4					
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3					
	ICTの活用及び教育	ICTの活用及び教育	2 選	3					
教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必	3					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育実践演習	2 選	5	2	教育実践の科目登録についてはp.56を参照のこと			
	教育実践演習	教育実践演習(小・中) 1	2 選	5					
	教育実践演習(小・中) 2	2 選	5						
	教育実践演習(中・高) 1	2 選	5						
教育実践演習(中・高) 2	2 選	5							
教育実践演習指導(小・中)	1 選	5	1						
教育実践演習指導(中・高)	1 選	5							
教職実践演習	教職実践演習(教諭)	2 必	8	2					
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3	2					
	道徳の理論及び指導法	2 選	3						
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位(※1) 合計：60単位を修得すること							

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)
 (※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 教 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 資 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 格 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 課 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS 学術士

英米学科 中学校教諭一種免許状「外国語(英語)」

中学校 英語

高等学校 英語

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別	履修開始 セメスター		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論	2 必	1	20 (必修18・選択2以上)	
		英語学	英語学研究	2 選	3		
		英語学	言語学概論	2 選	3		
		英語学	英文法	2 必	3		
		英語学	Advanced Grammar	2 選	5		
		英語文学	英語文学論 1	2 必	1		
		英語文学	英語文学論 2	2 必	1		
		英語文学	英語文学研究 1	2 選	3		
		英語文学	英語文学研究 2	2 選	3		
		英語コミュニケーション	English Conversation 1	1 必	1		
		英語コミュニケーション	English Conversation 2	1 必	1		
		英語コミュニケーション	English Conversation 3	1 必	3		
		英語コミュニケーション	English Conversation 4	1 必	3		
		英語コミュニケーション	English Writing 1	1 必	1		
		英語コミュニケーション	English Writing 2	1 必	1		
	英語コミュニケーション	English Writing 3	1 選	3			
	英語コミュニケーション	English Listening Skills 1	1 必	1			
	英語コミュニケーション	English Listening Skills 2	1 必	1			
	英語コミュニケーション	English Listening Skills 3	1 選	3			
	英語コミュニケーション	Media English	2 選	5			
	英語コミュニケーション	Business Communication	2 選	5			
	異文化理解	英語圏文化の理解	2 必	3			
	異文化理解	西洋言語文化論	2 選	3			
	異文化理解	西洋社会文化論	2 選	3			
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法英語 1	2 必	3		8
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法英語 2	2 必	4		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法英語 3	2 必	3		
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法英語 4	2 必	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11		
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論 2	2 選	2			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	学校教育職入門	2 必	1			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育行政学	2 選	1			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育行政学 2	2 選	2			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育社会学	2 必	1			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育社会学 2	2 選	2			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	比較教育学	2 選	3			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育心理学	2 必	1			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育心理学 2	2 選	2			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	発達心理学	2 選	3			
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3			
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3	60		
道徳・総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2 必	3		12	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3			
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3			
	教育の方法及び技術	教育方法論 (ICT活用含む)	2 必	3			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (ICT活用含む) 2	2 選	4			
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3			
	教育の方法及び技術	ICTの活用及び教育	2 選	3			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	進路指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2			
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必	3			
	教育実践に関する科目	教育実践 (小・中) 1	2 選	5			4
	教育実践に関する科目	教育実践 (小・中) 2	2 選	5			
教育実践に関する科目	教育実践 (中・高) 1	2 選	5				
教育実践に関する科目	教育実践 (中・高) 2	2 選	5				
教育実践に関する科目	教育実践指導 (小・中)	1 選	5	1			
教育実践に関する科目	教育実践指導 (中・高)	1 選	5				
教職実践演習	教職実践演習 (教諭)	2 必	8	2	2		
大学が独自に設定する科目	人権 (同和) 教育	2 必	3	2			

必要修得単位

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)

英米学科 高等学校教諭一種免許状「外国語(英語)」

中学校 英語

高等学校 英語

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別	履修開始 セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語学概論	2 必	1	20 (必修18・選択2以上)
		英語学研究	2	選	3	
		言語学概論	2	選	3	
		英文法	2 必	3		
		Advanced Grammar	2	選	5	
		英語文学	英語文学論 1	2 必	1	
		英語文学論 2	2 必	1		
		英語文学研究 1	2	選	3	
		英語文学研究 2	2	選	3	
		英語コミュニケーション	English Conversation 1	1 必	1	
	English Conversation 2	1 必	1			
	English Conversation 3	1 必	3			
	English Conversation 4	1 必	3			
	English Writing 1	1 必	1			
	English Writing 2	1 必	1			
	English Writing 3	1	選	3		
	English Listening Skills 1	1 必	1			
	English Listening Skills 2	1 必	1			
	English Listening Skills 3	1	選	3		
	Media English	2	選	5		
Business Communication	2	選	5			
異文化理解	英語圏文化の理解	2 必	3			
西洋言語文化論	2	選	3			
西洋社会文化論	2	選	3			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	中等教科教育法英語 1	2 必	3			
中等教科教育法英語 2	2 必	4				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	
	教育原論 2	2	選	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	学校教育職入門	2 必	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2	選		1
	教育行政学 2	2	選	2		
	教育社会学	2 必	1			
	教育社会学 2	2	選	2		
	比較教育学	2	選	3		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 必	1		
	教育心理学 2	2	選	2		
発達心理学	2	選	3			
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3			
道徳・総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3	10	
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (ICT活用含む)	2 必	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (ICT活用含む) 2	2	選		4
	教育の方法及び技術	教育評価論	2	選		3
	ICTの活用及び教育	2	選	3		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必	3		
	教育実習	教育実習 (小・中) 1	2	選		5
教育実習 (小・中) 2	2	選	5			
教育実習 (中・高) 1	2	選	5			
教育実習 (中・高) 2	2	選	5			
教育実習指導 (小・中)	1	選	5			
教育実習指導 (中・高)	1	選	5			
教育実践に関する科目	教職実践演習	教職実践演習 (教諭)	2 必	8	2	
	2					
大学が独自に設定する科目	人権 (同和) 教育	2 必	3	2		
道徳の理論及び指導法	2	選	3			

必 要 修 得 単 位

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位
- ・教育実践に関する科目：5単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- ・最低修得単位を除いた選択科目：7単位 (※1)
- 合計：59単位を修得すること

各系列の最低修得単位数を満し、かつ59単位を修得すること (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

(※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・マネージャー
- 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS 学術士

歴史学科 中学校教諭一種免許状「社会」

中学校 社会

高等学校 地理歴史 公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別 セメスター	最低修得単位	必修単位	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表			8	8	p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史概論	2 必	1	20 (必修12・選択8以上)	
		日本史特論	2 選	2			
		日本文化史	2 選	4			
		東洋史概論	2 必	1			
		東洋史特論	2 選	2			
		東北アジア史	2 選	4			
		東洋文化史	2 選	3			
		西洋史概論	2 必	1			
		西洋史特論	2 選	2			
		西洋文化史	2 選	4			
		交渉・交流史	2 選	4			
		地理学(地誌を含む。)	人文地理学1	2 必	3		
		人文地理学2	2 選	4			
		自然地理学1	2 必	3			
		自然地理学2	2 選	4			
		歴史地理学	2 選	2			
		地誌学1	2 必	3			
		地誌学2	2 選	4			
		「法学、政治学」	法学概論1	2 選	1		
		法学概論2	2 選	2			
国際政治学	2 選	1					
政治文化史	2 選	4					
「社会学、経済学」	社会学概論	2 選	1				
経済学概論	2 選	1					
社会経済学	2 選	3					
経済地理学	2 選	3					
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2 選	2				
日本思想史	2 選	3					
東洋思想史	2 選	4					
西洋思想史	2 選	3					
倫理学概論	2 選	1					
宗教学概論	2 選	1					
日本史特講(宗教・文化)1	2 選	3					
日本史特講(宗教・文化)2	2 選	4					
宗教文化	2 選	4					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中等教科教育法社会1	2 必	3				
中等教科教育法社会2	2 必	4					
中等教科教育法社会3	2 選	3					
中等教科教育法社会4	2 選	4					
中等教科教育法社会・地理歴史1	2 選	3					
中等教科教育法社会・地理歴史2	2 選	4					
中等教科教育法社会・公民1	2 選	3					
中等教科教育法社会・公民2	2 選	4					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11		
	教育原論2	2 選	2				
	学校教育職入門	2 必	1				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2 選	1			
	教育行政学2	2 選	2				
	教育社会学	2 必	1				
	教育社会学2	2 選	2				
	比較教育学	2 選	3				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 必	1			
	教育心理学2	2 選	2				
発達心理学	2 選	3					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3				
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2 必	3	12		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3			
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3			
	教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む)	2 必	3			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論(ICT活用含む)2	2 選	4			
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3			
	ICTの活用及び教育	ICTの活用及び教育	2 選	3			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必	3			
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育実践	2 選	5			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中)1	2 選	5	4	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
	教育実習(小・中)2	2 選	5				
	教育実習(中・高)1	2 選	5				
	教育実習(中・高)2	2 選	5				
	教育実習指導(小・中)	1 選	5				
教育実習指導(中・高)	1 選	5					
教職実践演習	教職実践演習(教諭)	2 必	8	2			
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3	2			

必 要 修 得 単 位

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：28単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：12単位
- ・教育実践に関する科目：7単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- 合計：60単位を修得すること

歴史学科 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

中学校 社会
高等学校 地理歴史 公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本史概論	2 必	1	20 (必修12・選択8以上)	
			日本史特論	2	選		2
			日本文化史	2	選		4
		外国史	東洋史概論	2 必	1		
			東洋史特論	2	選		2
			東北アジア史	2	選		4
			東洋文化史	2	選		3
			西洋史概論	2 必	1		
			西洋史特論	2	選		2
			西洋文化史	2	選		4
			交渉・交流史	2	選		4
		人文地理学・自然地理学	人文地理学1	2 必	3		
			人文地理学2	2	選		4
			自然地理学1	2 必	3		
	自然地理学2	2	選	4			
	歴史地理学	2	選	2			
	地誌学1	2 必	3				
	地誌学2	2	選	4			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法社会・地理歴史1	2 必	3	4		
		中等教科教育法社会・地理歴史2	2 必	4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原論	2 必	1	11	
			教育原論2	2	選		2
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		学校教育職入門	2 必	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学	2	選		1
			教育行政学2	2	選		2
			教育社会学	2 必	1		
			教育社会学2	2	選		2
			比較教育学	2	選		3
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2 必	1		
			教育心理学2	2	選		2
			発達心理学	2	選		3
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		学校教育課程論	2 必	3			
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	2 必	3	10	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	2 必	3		
	教育の方法及び技術		教育方法論 (ICT活用含む)	2 必	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法論 (ICT活用含む) 2	2	選		4
	教育の方法及び技術		教育評価論	2	選		3
			ICTの活用及び教育	2	選		3
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談の理論及び方法	2 必	3		
	教育実践						
教育実践に関する科目	教育実習		教育実習(小・中)1	2	選	5	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと
			教育実習(小・中)2	2	選	5	
			教育実習(中・高)1	2	選	5	
			教育実習(中・高)2	2	選	5	
			教育実習指導(小・中)	1	選	5	
			教育実習指導(中・高)	1	選	5	
	教職実践演習		教職実践演習(教諭)	2 必	8	2	
大学が独自に設定する科目		人権(同和)教育	2 必	3	2		
		道徳の理論及び指導法	2	選	3		

必要修得単位

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位
- ・教育実践に関する科目：5単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位(※1)
- 合計：60単位を修得すること

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

(※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

取得について
仏教学科
日本文学科
中国学科
教
英米学科
歴史学科
歴史文化学科
職
教育学科
幼児教育学科
臨床心理学科
課
現代社会学科
公共政策学科
社会福祉学科
特別支援学校
教育実習
教職実践演習
介護等体験
浄土宗教師
浄土宗開教使
浄土宗社会教化主事
社会教育主事
博物館学芸員
資
図書館司書
学校図書館司書教諭
学校司書
格
社会調査士
グローバルプロジェクトマネージャー
保育士
課
社会福祉士
精神保健福祉士
レクリエーション・ジストラクター
レクリエーション・コーディネーター
社会福祉主事
公認心理師
国家試験受験資格
日本語教師資格
GIS
学術士

歴史学科 高等学校教諭一種免許状「公民」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考				
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター					
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」 「社会学、経済学（国際経済を含む。）」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	法学概論 1	2	選	1	20 60 10 2 1 8 2	「法学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること 「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること 「哲学概論」, 「倫理学概論」または「宗教学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること			
		法学概論 2	2	選	2					
		国際政治学	2	選	1					
		政治文化史	2	選	4					
		社会学概論	2	選	1					
		経済学概論	2	選	1					
		社会経済史	2	選	3					
		経済地理学	2	選	3					
		哲学概論	2	選	2					
		日本思想史	2	選	3					
		東洋思想史	2	選	4					
		西洋思想史	2	選	3					
		倫理学概論	2	選	1					
		宗教学概論	2	選	1					
		日本史特講（宗教・文化）1	2	選	3					
日本史特講（宗教・文化）2	2	選	4							
宗教文化	2	選	4							
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等教科教育法社会・公民1 中等教科教育法社会・公民2	2 必 2 必	3 4	4						
教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論 教育原論 2	2 必 2 必	1 2	11	60				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	学校教育職入門	2 必	1						
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学 教育行政学 2	2 必 2 必	1 2						
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育社会学 教育社会学 2	2 必 2 必	1 2						
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	比較教育学	2 必	3						
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育心理学 教育心理学 2	2 必 2 必	1 2						
	総合的な探究の時間の指導法	発達心理学	2 必	3						
	特別活動の指導法	特別な教育的ニーズの理解とその支援 学校教育課程論	1 必 2 必	3 3						
	教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用含む） 教育方法論（ICT活用含む） 2	2 必 2 必	3 4						
	教育の方法及び技術	教育評価論 ICTの活用及び教育	2 必 2 必	3 3						
	教育実践に関する科目	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2			2 1 8 2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談の理論及び方法	2 必	3						
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育実習（小・中）1 教育実習（小・中）2	2 必 2 必	5 5						
教育実習		教育実習（中・高）1 教育実習（中・高）2	2 必 2 必	5 5						
教育実習		教育実習指導（小・中） 教育実習指導（中・高）	1 必 1 必	5 5						
教職実践演習		教職実践演習（教諭）	2 必	8						
大学が独自に設定する科目		人権（同和）教育 道德の理論及び指導法	2 必 2 必	3 3						
必要修得単位										

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く）。

（※1）最低修得単位の合計は、必要修得単位を満さないで注意すること。

歴史文化学科 中学校教諭一種免許状「社会」

中学校 社会

高等学校 地理歴史 公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史概論	2 必	1	20 (必修12・選択8以上)
		日本史特論	2 選	2		
		日本文化史	2 選	4		
		民俗学	2 選	3		
		考古学	2 選	4		
		東洋史概論	2 必	3		
		東洋史特論	2 選	4		
		東北アジア史	2 選	4		
		東洋文化史	2 選	3		
		西洋史概論	2 必	3		
		西洋史特論	2 選	4		
		西洋文化史	2 選	4		
		交渉・交流史	2 選	4		
		地理学(地誌を含む。)	人文地理学1	2 必	3	
		人文地理学2	2 選	4		
		自然地理学1	2 必	3		
		自然地理学2	2 選	4		
		歴史地理学	2 選	2		
		地誌学1	2 必	3		
	地誌学2	2 選	4			
「法学、政治学」	法学概論1	2 選	1	「法学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること		
法学概論2	2 選	2				
国際政治学	2 選	1				
政治文化史	2 選	4				
「社会学、経済学」	社会学概論	2 選	1	「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること		
経済学概論	2 選	1				
社会経済史	2 選	3				
経済地理学	2 選	3				
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2 選	2	「哲学概論」, 「倫理学概論」, または「宗教学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること		
日本思想史	2 選	3				
東洋思想史	2 選	4				
西洋思想史	2 選	3				
倫理学概論	2 選	1				
宗教学概論	2 選	1				
宗教文化	2 選	4				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中等教科教育法社会1	2 必	3	8 60 必修科目の他に、選択科目の中から同教科の2科目4単位を履修すること		
中等教科教育法社会2	2 必	4				
中等教科教育法社会3	2 選	3				
中等教科教育法社会4	2 選	4				
中等教科教育法社会・地理歴史1	2 選	3				
中等教科教育法社会・地理歴史2	2 選	4				
中等教科教育法社会・公民1	2 選	3				
中等教科教育法社会・公民2	2 選	4				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	
	教育原論2	2 選	2			
	職員の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	学校教育職入門	2 必	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2 選	1		
	教育行政学2	2 選	2			
	教育社会学	2 必	1			
	教育社会学2	2 選	2			
	比較教育学	2 選	3			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2 必	1		
	教育心理学2	2 選	2			
発達心理学	2 選	3				
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2 必	3	12	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3		
	教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む)	2 必	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論(ICT活用含む)2	2 選	4		
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3		
	ICTの活用及び教育	ICTの活用及び教育	2 選	3		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必	3		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中)1	2 選	5	4 1 2	
	教育実習(小・中)2	2 選	5			
	教育実習(中・高)1	2 選	5			
	教育実習(中・高)2	2 選	5			
	教育実習指導(小・中)	1 選	5			
	教育実習指導(中・高)	1 選	5			
	教職実践演習	教職実践演習(教諭)	2 必	8		
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3			

必 要 修 得 単 位

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：28単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：12単位
- ・教育実践に関する科目：7単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- 合計：60単位を修得すること

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会文化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・ジストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験 受験資格
- 日本語教師資格
- GIS 学術士

歴史文化学科 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低 必修 単位	必修 単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・ 選択別	履修開始 セメスター		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する 専門的事項	日本史	日本史概論	2	必	1	20 (必修12・ 選択8以上)
			日本史特論	2	選	2	
			日本文化史	2	選	4	
			民俗学 考古学	2	選	3	
		外国史	東洋史概論	2	必	3	
			東洋史特論	2	選	4	
			東北アジア史	2	選	4	
			東洋文化史	2	選	3	
			西洋史概論	2	必	3	
			西洋史特論	2	選	4	
			西洋文化史	2	選	4	
		人文地理学・自然地理学	交渉・交流史	2	選	4	
			人文地理学1	2	必	3	
			人文地理学2	2	選	4	
			自然地理学1	2	必	3	
地誌	自然地理学2	2	選	4			
	歴史地理学	2	選	2			
	地誌学1	2	必	3			
	地誌学2	2	選	4			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等教科教育法社会・地理歴史1	2	必	3	4	
		中等教科教育法社会・地理歴史2	2	必	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教育の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 （学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育原論	2	必	1	11	
		教育原論2	2	選	2		
		学校教育職入門	2	必	1		
		教育行政学	2	選	1		
		教育行政学2	2	選	2		
		教育社会学	2	必	1		
		教育社会学2	2	選	2		
		比較教育学	2	選	3		
		教育心理学	2	必	1		
		教育心理学2	2	選	2		
発達心理学	2	選	3				
道徳・総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導 に関する科目	道徳・総合的な学習の時間等の 指導法及び生徒指導 に関する科目	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3	10	
		学校教育課程論	2	必	3		
		総合的な学習の時間の指導法	2	必	3		
		特別活動の指導法	2	必	3		
		教育方法論（ICT活用含む）	2	必	3		
教育実践に関する科目	教育実践に関する科目	教育方法論（ICT活用含む）2	2	選	4	2	
		教育評価論	2	選	3		
		ICTの活用及び教育	2	選	3		
		生徒指導の理論及び方法	2	必	2		
教育実践に関する科目	教育実践に関する科目	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必	2	2	
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	必	3		
		教育実習	2	選	5		
		教育実習（小・中）1	2	選	5		
教育実践に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習（小・中）2	2	選	5	1	
		教育実習（中・高）1	2	選	5		
		教育実習（中・高）2	2	選	5		
		教育実習指導（小・中）	1	選	5		
教育実践に関する科目	教育実践に関する科目	教育実習指導（中・高）	1	選	5	2	
		教職実践演習（教諭）	2	必	8		
大学が独自に設定する科目		人権（同和）教育	2	必	3	2	
		道徳の理論及び指導法	2	選	3		
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法 及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位（※1） 合計：60単位を修得すること					

教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）
 (※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

歴史文化学科 高等学校教諭一種免許状「公民」

中学校 社会
 高等学校 地理歴史 公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備考		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	法学概論1	2	選	1	20 60 10 2 1 2	
		「社会学、経済学（国際経済を含む）」	社会学概論	2	選	1		
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	経済学概論	2	選	1	「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること		
		社会経済史	2	選	3			
		経済地理学	2	選	3			
		哲学概論	2	選	2			「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること
		日本思想史	2	選	3			
		東洋思想史	2	選	4			
		西洋思想史	2	選	3			
		倫理学概論	2	選	1			
		宗教学概論	2	選	1			
	宗教文化	2	選	4				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等教科教育法社会・公民1	2	必	3	4		
	中等教科教育法社会・公民2	2	必	4				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11 60		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教育原論2	2	選	2			
		学校教育職入門	2	必	1			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学	2	選	1			
		教育行政学2	2	選	2			
		教育社会学	2	必	1			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育社会学2	2	選	2			
		比較教育学	2	選	3			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育心理学	2	必	1		1	
		教育心理学2	2	選	2			
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	発達心理学	2	選	3	3			
	特別な教育的ニーズの理解とその支援	学校教育課程論	2	必		3		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	10		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	必	3			
	教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用含む）	2	必	3			
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論（ICT活用含む）2	2	選	4			
	教育の方法及び技術	教育評価論	2	選	3			
	生徒指導の理論及び方法	ICTの活用及び教育	2	選	3		2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必			2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2	必	3		3	
		教育実習	教育実習（小・中）1	2	選			5
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（小・中）2	2	選		5	2 1 2
教育実習（中・高）1			2	選	5			
教育実習（中・高）2			2	選	5			
教育実習指導（小・中）			1	選	5			
教育実習指導（中・高）			1	選	5			
教職実践演習	教職実践演習（教諭）	2	必	8	2			
	人権（同和）教育	2	必	3				
大学が独自に設定する科目	道徳の理論及び指導法	2	選	3	2			

必要修得単位

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位
- ・教育実践に関する科目：5単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位（※1）
- 合計：60単位を修得すること

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）

（※1）最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- 取得について
- 仏教
- 日本文学
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等
- 浄土宗
- 浄土宗
- 浄土宗
- 社会教育
- 博物館
- 図書館
- 学校図書
- 学校司書
- 社会調査
- グローバル
- 保育士
- 社会福祉
- 精神保健
- レクリエーション
- レクリエーション
- 社会福祉
- 公認心理師
- 日本語
- GIS

教育学科 小学校教諭一種免許状

中学校 社会 数学

小学校 高等学校 数学

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備考		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位				必修・履修開始 選択別 セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表			8	8	p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	初等教育内容国語	2	選	1	62	
		社会	初等教育内容社会	2	選	1		
		算数	初等教育内容算数	2	選	1		
		理科	初等教育内容理科	2	選	1		
		生活	初等教育内容生活	2	選	1		
		音楽	初等教育内容音楽	2	選	1		
		図画工作	初等教育内容図画工作	2	選	1		
		家庭	初等教育内容家庭	2	選	1		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	初等国語教育法	2	必	3		
		社会	初等社会教育法	2	必	3		
		算数	初等算数教育法	2	必	3		
		理科	初等理科教育法	2	必	3		
		生活	初等生活教育法	2	必	3		
		音楽	初等音楽教育法	2	必	3		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11		
		教育原論2	2	選	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	学校教育職入門	2	必	1			
		教育行政学	2	選	1			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学2	2	選	2			
		教育社会学	2	必	1			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必	1			
		教育心理学2	2	選	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	発達心理学	2	選	3			
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3			
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	学校教育課程論	2	必	3			
		道徳の理論及び指導法	2	必	3			
	道徳・総合的な学習の時間等の指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2	必		3	12
			総合的な学習の時間の指導法	2	必		3	
特別活動の指導法		特別活動の指導法	2	必	3			
		教育の方法及び技術	2	必	3			
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法論（ICT活用含む）	2	選	4			
		教育評価論	2	選	3			
教育の方法及び技術		ICTの活用及び教育	2	選	3			
		生徒指導の理論及び方法	2	必	2			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必	2			
		教育相談の理論及び方法	2	必	3			
教育実践に関する科目		教育実習	教育実習（幼・小）1	2	選	5	4	
			教育実習（幼・小）2	2	選	5		
		教育実習（小・中）	教育実習（小・中）1	2	選	5		
			教育実習（小・中）2	2	選	5		
	教育実習指導（幼・小）	教育実習指導（幼・小）	1	選	5			
		教育実習指導（小・中）	1	選	5			
	教職実践演習（教諭）	教職実践演習（教諭）	2	必	8			
		人権（同和）教育	2	必	3			
	大学が独自に設定する科目	・教科及び教科の指導法に関する科目：30単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：12単位 ・教育実践に関する科目：7単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 合計：62単位を修得すること						

教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

必 要 修 得 単 位

各系列の最低修得単位数を満し、かつ62単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）

- 取得について
- 仏教
- 日本文学
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等体験
- 浄土宗
- 浄土宗
- 浄土宗
- 社会
- 博物館
- 図書館
- 学校図書館
- 学校
- 社会
- グローバル
- 保育
- 社会
- 精神保健
- レクリエーション
- レクリエーション
- 社会福祉
- 公認心理
- 日本語
- CIS

教育学科 中学校教諭一種免許状「社会」

中学校 社会 数学

小学校 高等学校 数学

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	必要修得単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始学期	単 位	単 位		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史概論	2	必	1	20 (必修12・選択8以上)		
			日本史特論	2	選	2			
			教育史	2	選	1			
		地理学 (地誌を含む。)	東洋史概論	2	必	1			
			西洋史概論	2	必	1			
			人文地理学1	2	必	3			
			人文地理学2	2	選	4			
			自然地理学1	2	必	3			
			自然地理学2	2	選	4			
		「法学、政治学」	地誌学1	2	必	3			
			地誌学2	2	選	4			
		「社会学、経済学」	法律学概論1	2	選	1			[法律学概論1]または[国際政治学]のいずれか1科目を必ず履修すること
			法律学概論2	2	選	2			
			国際政治学	2	選	1			
		「哲学、倫理学、宗教学」	社会学概論	2	選	1			[社会学概論]または[経済学概論]のいずれか1科目を必ず履修すること
経済学概論	2		選	1					
哲学概論	2		選	2					
教育哲学	2		選	2					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	倫理学概論	2	選	1	[哲学概論],[倫理学概論]または[宗教学概論]のいずれか1科目を必ず履修すること				
	宗教学概論	2	選	1					
	中等教科教育法社会1	2	必	3					
	中等教科教育法社会2	2	必	4					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	中等教科教育法社会3	2	必	3	8	60		
		中等教科教育法社会4	2	必	4				
		教育原論	2	必	1				
		教育原論2	2	選	2				
		学校教育職入門	2	必	1				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教育行政学	2	選	1				
		教育行政学2	2	選	2				
		教育社会学	2	必	1				
		教育社会学2	2	選	2				
		比較教育学	2	選	3				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育心理学	2	必	1				
		教育心理学2	2	選	2				
		発達心理学	2	選	3				
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3				
		学校教育課程論	2	必	3				
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2	必	3	12			
		総合的な学習の時間の指導法	2	必	3				
		特別活動の指導法	2	必	3				
		教育の方法及び技術	2	必	3				
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	選	4				
		教育の方法及び技術	2	選	3				
		ICTの活用及び教育	2	選	3				
		生徒指導の理論及び方法	2	必	2				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必	2				
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	必	3				
教育実践に関する科目	教育実習	教育相談の理論及び方法	2	必	3	4	1	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
		教育実習(小・中)1	2	選	5				
		教育実習(小・中)2	2	選	5				
		教育実習(中・高)1	2	選	5				
		教育実習(中・高)2	2	選	5				
		教育実習指導(小・中)	1	選	5				
		教育実習指導(中・高)	1	選	5				
教職実践演習	2	必	8	2					
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2	必	3	2				
必要修得単位		<ul style="list-style-type: none"> ・教科及び教科の指導法に関する科目：28単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：12単位 ・教育実践に関する科目：7単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 合計：60単位を修得すること				その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。			

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

- 取得について
- 仏教
- 日本文学
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等体験
- 浄土宗
- 浄土宗
- 浄土宗
- 社会教育
- 博物館
- 図書館
- 学校図書
- 学校図書
- 社会調査
- グローバル
- 保育士
- 社会福祉
- 精神保健
- レクリエーション
- レクリエーション
- 社会福祉
- 公認心理師
- 日本語
- GIS

教育学科 中学校教諭一種免許状「数学」

中学校 社会 数学

小学校 高等学校 数学

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	代数学概論1	2 必	1	20 (必修14・選択6以上)
		代数学概論2	2 選	2		
		代数学特論1	2 選	3		
		代数学特論2	2 選	4		
		代数学演習	2 必	3		
		幾何学	幾何学概論1	2 必	1	
		幾何学概論2	2 選	2		
		幾何学特論1	2 選	3		
		幾何学特論2	2 選	4		
		幾何学演習	2 必	3		
	解析学	解析学概論1	2 必	1		
	解析学概論2	2 選	2			
	解析学特論1	2 選	3			
	解析学特論2	2 選	4			
	解析学演習	2 必	3			
	「確率論、統計学」	●確率論1	2 選	1		
	確率論2	2 選	2			
	●確率論演習	2 選	3			
	◆基礎統計学1	2 選	3			
	基礎統計学2	2 選	4			
◆基礎統計学演習	2 選	5				
コンピュータ	プログラミング1	2 必	3			
プログラミング2	2 選	3				
データ解析演習	2 選	4				
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法数学1	2 必	3	8	
		中等教科教育法数学2	2 必	4		
		中等教科教育法数学3	2 必	3		
		中等教科教育法数学4	2 必	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	
	教育原論2	2 選	2			
	学校教育職入門	2 必	1			
	教育行政学	2 選	1			
	教育行政学2	2 選	2			
	教育社会学	2 必	1			
	教育社会学2	2 選	2			
	比較教育学	2 選	3			
	教育心理学	2 必	1			
	教育心理学2	2 選	2			
発達心理学	2 選	3				
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳の理論及び指導法	2 必	3	12	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法	2 必	3		
	教育の方法及び技術	教育方法論 (ICT活用含む)	2 必	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (ICT活用含む) 2	2 選	4		
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3		
		ICTの活用及び教育	2 選	3		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必	3		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 (小・中) 1	2 選	5	4	
	教育実習 (小・中) 2	2 選	5			
	教育実習 (中・高) 1	2 選	5			
	教育実習 (中・高) 2	2 選	5			
	教育実習指導 (小・中)	1 選	5			
	教育実習指導 (中・高)	1 選	5			
	教職実践演習	教職実践演習 (教諭)	2 必	8		
2						
大学が独自に設定する科目	人権 (同和) 教育	2 必	3	2		

●印の2科目4単位もしくは◆印の2科目4単位のどちらかを必ず履修すること

教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと

必要修得単位

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)

教育学科 高等学校教諭一種免許状「数学」

中学校 社会 数学
小学校 高等学校 数学

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	代数学概論1	2	必	1	20 (必修14・選択6以上)
			代数学概論2	2	選	2	
			代数学特論1	2	選	3	
		幾何学	代数学特論2	2	選	4	
			代数学演習	2	必	3	
			幾何学概論1	2	必	1	
			幾何学概論2	2	選	2	
			幾何学特論1	2	選	3	
			幾何学特論2	2	選	4	
		解析学	幾何学演習	2	必	3	
			解析学概論1	2	必	1	
			解析学概論2	2	選	2	
			解析学特論1	2	選	3	
			解析学特論2	2	選	4	
		「確率論、統計学」	解析学演習	2	必	3	
●確率論1	2		選	1			
確率論2	2		選	2			
●確率論演習	2		選	3			
◆基礎統計学1	2		選	3			
コンピュータ	基礎統計学2	2	選	4			
	◆基礎統計学演習	2	選	5			
	プログラミング1	2	必	3			
		プログラミング2	2	選	3		
		データ解析演習	2	選	4		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法数学1	2	必	3	4	
		中等教科教育法数学2	2	必	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11	
		教育原論2	2	選	2		
		学校教育入門	2	必	1		
		教育行政学	2	選	1		
		教育行政学2	2	選	2		
		教育社会学	2	必	1		
		教育社会学2	2	選	2		
		比較教育学	2	選	3		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必		1
		教育心理学2	2	選	2		
発達心理学	2	選	3				
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2	必	3	
		総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	
		特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	必	3	
		教育の方法及び技術	教育方法論 (ICT活用含む)	2	必	3	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論 (ICT活用含む) 2	2	選	4	
		教育の方法及び技術	教育評価論	2	選	3	
			ICTの活用及び教育	2	選	3	
		生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必	2	
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2	必	3	
教育実践に関する科目	教育実践	教育実習(小・中)1	2	選	5	2	
		教育実習(小・中)2	2	選	5		
		教育実習(中・高)1	2	選	5		
		教育実習(中・高)2	2	選	5		
		教育実習指導(小・中)	1	選	5		
		教育実習指導(中・高)	1	選	5		
		教職実践演習	教職実践演習(教諭)	2	必		8
大学が独自に設定する科目		人権(同和)教育	2	必	3	2	
		道徳の理論及び指導法	2	選	3		
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位(※1) 合計：60単位を修得すること					

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

(※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- 取得について
- 仏教
- 日本文学
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等
- 浄土宗
- 浄土宗
- 浄土宗
- 社会教育
- 博物館
- 図書館
- 学校図書
- 学校司書
- 社会調査
- グローバル
- 保育士
- 社会福祉
- 精神保健
- レクリエーション
- レクリエーション
- 社会福祉
- 公認心理師
- 日本語
- GIS

幼児教育学科 幼稚園教諭一種免許状

幼稚園

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準			本 学 基 準			最低 修得 単位	必要 修得 単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			授 業 科 目	単 位	必修・ 選択別				履修開始 セメスター
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目			別表				8	8	p.11 参照
領域及び保育内容の指導演法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	幼児と健康	2	選	1	10	52	
		人間関係	幼児と人間関係	2	選	1			
		環境	幼児と環境	2	選	1			
		言葉	幼児と言葉	2	選	1			
		表現	幼児と表現（造形）	2	選	1			
		表現	幼児と表現（音楽）	2	選	1			
	保育内容の指導演法（情報機器及び教材の活用を含む。）		幼児と表現（身体）	2	選	1			
		保育内容の理論と方法「健康」	2	必	3				
		保育内容の理論と方法「人間関係」	2	必	3				
		保育内容の理論と方法「環境」	2	必	3				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11			
		教育原論2	2	選	2				
		教師・保育者論	2	必	1				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教育社会学	2	必	1				
		教育社会学2	2	選	2				
		教育行政学	2	選	1				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学2	2	選	2				
		比較教育学	2	選	3				
		教育心理学	2	必	1				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学2	2	選	2				
		発達心理学	2	選	3				
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3					
	幼児教育・保育課程論	2	必	2					
道徳、総合的な学習の時間等の指導演法及び生徒指導に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育の内容及び方法	2	必	3	4			
		教育評価論	2	選	3				
	幼児理解の理論及び方法	ICTの活用及び教育	2	選	3				
		幼児理解及び保育相談	2	必	3				
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（幼・小）1	2	必	5	4			
		教育実習（幼・小）2	2	必	5				
		教育実習指導（幼・小）	1	必	5				
		教職実践演習（教諭）	2	選	8				
		保育・教職実践演習（教諭）	2	選	8				
大学が独自に設定する科目	人権（同和）教育	2	必	3	2				

必要修得単位

各系列の最低修得単位数を満し、かつ52単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）

(※1) 「教職実践演習」の履修について、原則、「保育・教職実践演習（教諭）」を履修すること。

(※2) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないので注意すること。

教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと

いずれか2単位を選択必修(※1)

臨床心理学科 中学校教諭一種免許状「社会」

中学校 社会
高等学校 公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	必要修得単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必 修・選 択 別	履修開始セメスター	8	8		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表						p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史概論	2	必	1	20 (必修12・選択8以上)	60	
			日本史特論	2	選	2			
		地理学 (地誌を含む。)	東洋史概論	2	必	1			
			西洋史概論	2	必	1			
			人文地理学1	2	必	3			
			人文地理学2	2	選	4			
			自然地理学1	2	必	3			
			自然地理学2	2	選	4			
		「法学、政治学」	地誌学1	2	必	3			
			地誌学2	2	選	4			
			法学概論1	2	選	1			
			法学概論2	2	選	2			
		「社会学、経済学」	国際政治学	2	選	1			
			少年法	2	選	3			
			社会学概論	2	選	1			
経済学概論	2		選	1					
「哲学、倫理学、宗教学」	地域支援論	2	選	5					
	家族関係論	2	選	3					
	哲学概論	2	選	2					
	倫理学概論	2	選	1					
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		宗教学概論	2	選	1				
		中等教科教育法社会1	2	必	3				
		中等教科教育法社会2	2	必	4				
		中等教科教育法社会3	2	選	3				
		中等教科教育法社会4	2	選	4				
		中等教科教育法社会・公民1	2	選	3				
		中等教科教育法社会・公民2	2	選	4				
		教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原論	2	必	1		
				教育原論2	2	選	2		
				学校教育職入門	2	必	1		
教育行政学	2			選	1				
教育行政学2	2			選	2				
教育社会学	2			必	1				
教育社会学2	2			選	2				
比較教育学	2			選	3				
教育心理学	2			必	1				
教育心理学2	2			選	2				
教育の基礎的理解に関する科目		発達心理学	2	選	3				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	1	必	3				
		特別活動の指導法	2	必	3				
		道徳の理論及び指導法	2	必	3				
		総合的な学習の時間の指導法	2	必	3				
		特別活動の指導法	2	必	3				
		教育の方法及び技術	2	必	3				
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	選	4				
		教育の方法及び技術	2	選	3				
		ICTの活用及び教育	2	選	3				
教育実践に関する科目		生徒指導の理論及び方法	2	必	2				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必	2				
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2	必	3				
		教育実践	2	必	3				
		教育実習 (小・中) 1	2	選	5				
		教育実習 (小・中) 2	2	選	5				
		教育実習 (中・高) 1	2	選	5				
		教育実習 (中・高) 2	2	選	5				
		教育実習指導 (小・中)	1	選	5				
		教育実習指導 (中・高)	1	選	5				
教職実践演習		教育実習指導 (小・中)	1	選	5				
		教育実習指導 (中・高)	1	選	5				
大学が独自に設定する科目		教職実践演習 (教諭)	2	必	8				
		人権 (同和) 教育	2	必	3				

必要修得単位

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること (教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験 受験資格
- 日本語教師 資格
- GIS 学術士

臨床心理学科 高等学校教諭一種免許状「公民」

中学校 社会
高等学校 公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低 修得 単位	必要 修得 単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・ 選択別	履修開始 セメスター				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	法学概論1	2	選	1	20	「法学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること	
		法学概論2	2	選	2				
		国際政治学	2	選	1				
		少年法	2	選	3				
		「社会学、経済学（国際経済を含む）」	社会学概論	2	選	1			
		経済学概論	2	選	1				
		地域支援論	2	選	5				
		家族関係論	2	選	3				
		「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学概論	2	選	2			
		倫理学概論	2	選	1				
		宗教学概論	2	選	1				
		心理学史	2	選	1				
		臨床心理学概論	2	選	1				
		臨床心理学史	2	選	1				
		基礎心理学	2	選	1				
思春期の心	2	選	3						
非行臨床心理学	2	選	3						
カウンセリング論	2	選	5						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等教科教育法社会・公民1	2	必	3	4				
	中等教科教育法社会・公民2	2	必	4					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11	60		
		教育原論2	2	選	2				
		学校教育職入門	2	必	1				
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育行政学	2	選				1
		教育行政学2	2	選	2				
		教育社会学	2	必	1				
		教育社会学2	2	選	2				
		比較教育学	2	選	3				
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必				1
		教育心理学2	2	選	2				
		発達心理学	2	選	3				
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必				3
		教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	学校教育課程論	2	必				3
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必				3
		特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	必				3
教育の方法及び技術	教育方法論（ICT活用含む）	2	必	3					
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育方法論（ICT活用含む）2	2	選	4					
教育の方法及び技術	教育評価論	2	選	3					
	ICTの活用及び教育	2	選	3					
生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必	2					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法									
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2	必	3					
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（小・中）1	2	選	5	2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと		
	教育実習（小・中）2	2	選	5					
	教育実習（中・高）1	2	選	5					
	教育実習（中・高）2	2	選	5					
	教育実習指導（小・中）	1	選	5					
	教育実習指導（中・高）	1	選	5					
	教職実践演習（教諭）	2	必	8	2				
	教職実践演習	2	必	3					
大学が独自に設定する科目	人権（同和）教育	2	必	3	2				
	道徳の理論及び指導法	2	選	3					

必要修得単位

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く）。

(※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位
- ・教育実践に関する科目：5単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位（※1）
- 合計：60単位を修得すること

取得について
仏教学科
日本文学科
中国学科
英米学科
歴史学科
歴史文化学科
教育学科
幼児教育学科
臨床心理学科
現代社会学科
公共政策学科
社会福祉学科
特別支援学校
教育実習
教職実践演習
介護等体験
浄土宗教師
浄土宗開教使
浄土宗社会教化主事
社会教育主事
博物館学芸員
図書館司書
学校図書館司書教諭
学校司書
社会調査士
グローバルプロジェクトマネージャー
保育士
社会福祉士
精神保健福祉士
レクリエーション・インストラクター
レクリエーション・コーディネーター
社会福祉主事
公認心理師
国家試験受験資格
日本語教師資格
GIS学術士

現代社会学科 中学校教諭一種免許状「社会」

中学校 社会

高等学校 地理歴史 公民 情報

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	備考					
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター	必要修得単位						
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	p.11 参照					
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史概論	2 必	1	20 (必修12・選択8以上)						
			日本史特論	2 選	2							
		現代日本社会史	2 選	2								
		東洋史概論	2 必	1								
		西洋史概論	2 必	1								
		20世紀の歴史	2 選	1								
	地理学(地誌を含む。)	人文地理学1	2 必	3								
		人文地理学2	2 選	4								
		自然地理学1	2 必	3								
		自然地理学2	2 選	4								
		地誌学1	2 必	3								
		地誌学2	2 選	4								
		「法学、政治学」	法学概論1	2 選	1							
			法学概論2	2 選	2							
	国際政治学		2 選	1								
	「社会学、経済学」		社会学概論	2 選	1							
		社会学原論	2 選	3								
		現代社会論	2 選	2								
		国際社会論	2 選	3								
		社会調査論1	2 選	3								
		社会調査論2	2 選	4								
		文化社会学	2 選	3								
		家族社会学	2 選	3								
		共生の社会学	2 選	3								
		臨床社会学	2 選	3								
		経済学概論	2 選	1								
		「哲学、倫理学、宗教学」	哲学概論	2 選	2							
	公共性と社会		2 選	1								
倫理学概論	2 選		1									
宗教学概論	2 選		1									
	現代宗教学	2 選	3									
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	中等教科教育法社会1	2 必	3									
	中等教科教育法社会2	2 必	4									
	中等教科教育法社会3	2 選	3									
	中等教科教育法社会4	2 選	4									
	中等教科教育法社会・地理歴史1	2 選	3									
	中等教科教育法社会・地理歴史2	2 選	4									
	中等教科教育法社会・公民1	2 選	3									
	中等教科教育法社会・公民2	2 選	4									
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1								
		教育原論2	2 選	2								
学校教育職入門		2 必	1									
教育行政学		2 選	1									
教育行政学2		2 選	2									
教育社会学		2 必	1									
教育社会学2		2 選	2									
比較教育学		2 選	3									
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2 必	1								
		教育心理学2	2 選	2								
		発達心理学	2 選	3								
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3									
	学校教育課程論	2 必	3									
道徳、総合的な学習の時間等の指導法 教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2 必	3									
	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3									
	特別活動の指導法	2 必	3									
	教育の方法及び技術	2 必	3									
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2 選	4									
	教育の方法及び技術	2 選	3									
	ICTの活用及び教育	2 選	3									
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2								
		教育相談の理論及び方法	2 必	3								
		教育実習(小・中)1	2 選	5								
教育実習	教育実習(小・中)2	2 選	5									
	教育実習(中・高)1	2 選	5									
	教育実習(中・高)2	2 選	5									
	教育実習指導(小・中)	1 選	5									
	教育実習指導(中・高)	1 選	5									
教職実践演習	教職実践演習(教諭)	2 必	8									
	教職実践演習(教諭)	2 必	2									
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3									
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：28単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：12単位 ・教育実践に関する科目：7単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 合計：60単位を修得すること				8	60	11	12	4	2	2

「法学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること

「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること

「哲学概論」、「倫理学概論」または「宗教学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること

必修科目の他に、選択科目の中から同教科の2科目4単位を履修すること

教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと

その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。)

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 教 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 職 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 課 現代社会学科
- 公共政策学科
- 程 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会文化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 資 図書館司書
- 学校図書館司教諭
- 学校司書
- 格 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 課 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS学術士

現代社会学科 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

情報

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考			
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別 セメスター					
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表			8	8	p.11 参照		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本史概論	2 必	1	20 (必修12・選択8以上)			
			日本史特論	2 選	2				
			現代日本社会史	2 選	2				
		外国史	日本仏教史(古代・中世)	2 選	1				
			日本仏教史(近世・近代)	2 選	2				
			東洋史概論	2 必	1				
			中国仏教史	2 選	2				
			インド仏教史	2 選	1				
			アジア仏教史(チベット)	2 選	2				
			アジア仏教史(韓国)	2 選	2				
		人文地理学・自然地理学	西洋史概論	2 必	1				
			20世紀の歴史	2 選	1				
			人文地理学1	2 必	3				
			人文地理学2	2 選	4				
			自然地理学1	2 必	3				
地誌	自然地理学2	2 選	4						
	地誌学1	2 必	3						
	地誌学2	2 選	4						
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法社会・地理歴史1	2 必	3	4				
		中等教科教育法社会・地理歴史2	2 必	4					
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	60			
		教育原論2	2 選	2					
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	学校教育職入門	2 必	1					
		教育行政学	2 選	1					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学2	2 選	2					
		教育社会学	2 必	1					
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育社会学2	2 選	2					
		比較教育学	2 選	3					
		教育心理学	2 必	1					
		教育心理学2	2 選	2					
	発達心理学	2 選	3						
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3						
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3					
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3	10				
		特別活動の指導法	2 必	3					
	教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む)	2 必	3					
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2 選	4					
	教育の方法及び技術	教育評価論	2 選	3					
		ICTの活用及び教育	2 選	3					
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2					
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理論及び方法	2 必			3		
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中)1	2 選			5	2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと
			教育実習(小・中)2	2 選			5		
教育実習(中・高)1			2 選	5					
教育実習(中・高)2			2 選	5					
教育実習指導(小・中)			1 選	5					
教育実習指導(中・高)			1 選	5					
教職実践演習(教諭)			2 必	8					
2									
大学が独自に設定する科目	道徳の理論及び指導法	人権(同和)教育	2 必	3	2				
		道徳の理論及び指導法	2 選	3					

必要修得単位

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

(※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位
- ・教育実践に関する科目：5単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位(※1)
- 合計：60単位を修得すること

現代社会学科 高等学校教諭一種免許状「公民」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

情報

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	必要修得単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必 修・選 択 別	履 修 開 始 セ ン タ ー			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む。）」 「社会学、経済学（国際経済を含む。）」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	法学概論1	2	選	1	20	60	「法学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること
		法学概論2	2	選	2			
		国際政治学	2	選	1			
		社会学概論	2	選	1			
		社会学原論	2	選	3			
		現代社会学	2	選	2			
		国際社会学	2	選	3			
		社会調査論1	2	選	3			
		社会調査論2	2	選	4			
		文化社会学	2	選	3			
		家族社会学	2	選	3			
		共生の社会学	2	選	3			
		臨床社会学	2	選	3			
		経済学概論	2	選	1			
哲学概論	2	選	2					
公共性と社会	2	選	1					
倫理学概論	2	選	1					
宗教学概論	2	選	1					
現代宗教学	2	選	3					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	中等教科教育法社会・公民1	2	必	3	4			
	中等教科教育法社会・公民2	2	必	4				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育原論	2	必	1	11	60	
		教育原論2	2	選	2			
		学校教育職入門	2	必	1			
		教育行政学	2	選	1			
		教育行政学2	2	選	2			
		教育社会学	2	必	1			
		教育社会学2	2	選	2			
		比較教育学	2	選	3			
		教育心理学	2	必	1			
		教育心理学2	2	選	2			
発達心理学	2	選	3					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3				
学校教育課程論	2	必	3					
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	10		
		特別活動の指導法	2	必	3			
		教育の方法及び技術	2	必	3			
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	選	4			
		教育の方法及び技術	2	選	3			
		ICTの活用及び教育	2	選	3			
生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必	2			
		教育相談の理論及び方法	2	必	3			
		教育実習	2	選	5	2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
		教育実習（小・中）1	2	選	5			
教育実習（小・中）2	2	選	5					
教育実習（中・高）1	2	選	5					
教育実習（中・高）2	2	選	5					
教育実習指導（小・中）	1	選	5	1				
教育実習指導（中・高）	1	選	5					
教職実践演習	2	必	8	2				
大学が独自に設定する科目	人権（同和）教育	2	必	3	2			
	道徳の理論及び指導法	2	選	3				
必要修得単位		<ul style="list-style-type: none"> ・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位（※1） 合計：60単位を修得すること 						

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く）。

（※1）最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないので注意すること。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 教 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 職 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 課 現代社会学科
- 公共政策学科
- 程 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 資 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 格 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 課 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- 程 レクリエーション・ジニアス・アドバイザー
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS 学術士

現代社会学科 高等学校教諭一種免許状「情報」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

情報

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む）・情報倫理	情報社会論	2 必	3	20 (必修18・選択2以上)
		情報・メディアとコミュニケーション	2 選	3		
		メディア・リテラシー	2 必	3		
		メディア文化論	2 選	3		
		情報産業と職業	2 選	3		
		情報ビジネス	2 必	5		
		マスコミ論	2 選	3		
		コンピュータ・情報処理	コンピュータ論	2 必	1	
			データ解析演習	2 選	6	
			基礎統計学1	2 選	3	
			基礎統計学2	2 選	4	
			情報・メディア実習1	1 必	3	
			情報システム論	2 必	3	
		情報システム	情報システム実習	1 必	5	
			情報通信ネットワーク	2 必	3	
		情報通信ネットワーク	情報通信ネットワーク論	2 必	3	
			情報通信ネットワーク実習	1 必	5	
		マルチメディア表現・マルチメディア技術	デジタル・メディア論	2 必	3	
	情報・メディア実習2		1 必	4		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		広告・広報論	2 選	3	
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		中等教科教育法情報1	2 必	3	
			中等教科教育法情報2	2 必	4	
	教育の基礎的理解に関する科目		教育原論	2 必	1	
			教育原論2	2 選	2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		学校教育職入門	2 必	1		
		教育行政学	2 選	1		
		教育行政学2	2 選	2		
		教育社会学	2 必	1		
		教育社会学2	2 選	2		
		比較教育学	2 選	3		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2 必	1		
		教育心理学2	2 選	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		発達心理学	2 選	3		
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3		
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目		学校教育課程論	2 必	3		
		総合的な探究の時間の指導法	2 必	3		
特別活動の指導法		特別活動の指導法	2 必	3		
		教育方法論（ICT活用含む）	2 必	3		
教育の方法及び技術		教育方法論（ICT活用含む）2	2 選	4		
		教育評価論	2 選	3		
生徒指導の理論及び方法		ICTの活用及び教育	2 選	3		
		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2 必	2		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談の理論及び方法	2 必	3		
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2 必	3		
教育実習		教育実習（小・中）1	2 選	5		
		教育実習（小・中）2	2 選	5		
教育実践に関する科目		教育実習（中・高）1	2 選	5		
		教育実習（中・高）2	2 選	5		
教職実践演習		教育実習指導（小・中）	1 選	5		
		教育実習指導（中・高）	1 選	5		
大学が独自に設定する科目		教職実践演習（教諭）	2 必	8		
		人権（同和）教育	2 必	3		
道徳の理論及び指導法		道徳の理論及び指導法	2 選	3		

必要修得単位

教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）
 (※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満さないので注意すること。

公共政策学科 中学校教諭一種免許状「社会」

中学校 社会
 高等学校 地理歴史 公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低 修得 単位	必修 単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・ 選択別	履修開始 セメスター				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する 専門的事項	日本史・外国史	日本史概論	2	必	1	20 (必修12・ 選択8以上)	60	「法律学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること
			日本史特論	2	選	2			
			現代日本社会史	2	選	2			
			東洋史概論	2	必	1			
			西洋史概論	2	必	1			
		地理学（地誌を含む。）	20世紀の歴史	2	選	1			
			人文地理学1	2	必	3			
			人文地理学2	2	選	4			
			自然地理学1	2	必	3			
			自然地理学2	2	選	4			
	「法律学、政治学」	地誌学1	2	必	3				
		地誌学2	2	選	4				
		法律学概論1	2	選	1				
		法律学概論2	2	選	2				
		民法（総則・物権）	2	選	3				
		労働法（集团的労働関係法）	2	選	3				
		刑法	2	選	5				
	「社会学、経済学」	国際政治学	2	選	1				
		公共政策学（概論）	2	選	3				
		公共政策学（各論）	2	選	4				
社会学概論		2	選	1					
政治社会学		2	選	3					
「哲学、倫理学、宗教学」	社会的企業論	2	選	3					
	経済学概論	2	選	1					
	公共経済学	2	選	3					
	哲学概論	2	選	2					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	公共性と社会	2	選	1					
	倫理学概論	2	選	1					
	宗教学概論	2	選	1					
	中等教科教育法社会1	2	必	3					
	中等教科教育法社会2	2	必	4					
	中等教科教育法社会3	2	選	3					
	中等教科教育法社会4	2	選	4					
	中等教科教育法社会・地理歴史1	2	選	3					
	中等教科教育法社会・地理歴史2	2	選	4					
	中等教科教育法社会・公民1	2	選	3					
中等教科教育法社会・公民2	2	選	4						
教育の基礎的理解に関する科目	教育原論	2	必	1	11	60	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと		
	教育原論2	2	選	2					
	学校教育職入門	2	必	1					
	教育行政学	2	選	1					
	教育行政学2	2	選	2					
	教育社会学	2	必	1					
	教育社会学2	2	選	2					
	比較教育学	2	選	3					
	教育心理学	2	必	1					
	教育心理学2	2	選	2					
発達心理学	2	選	3						
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	1	必	3					
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	必	3					
	道徳の理論及び指導法	2	必	3					
	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3					
	特別活動の指導法	2	必	3					
	教育の方法及び技術	2	必	3					
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	選	4					
	教育の方法及び技術	2	選	3					
	ICTの活用及び教育	2	選	3					
	教育評価論	2	選	3					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法に関する科目	生徒指導の理論及び方法	2	必	2					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必	3					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	必	3					
	教育相談の理論及び方法	2	必	3					
	教育実習	2	選	5					
	教育実習（小・中）1	2	選	5					
	教育実習（小・中）2	2	選	5					
	教育実習（中・高）1	2	選	5					
	教育実習（中・高）2	2	選	5					
	教育実習指導（小・中）	1	選	5					
教育実習指導（中・高）	1	選	5						
教育実践に関する科目	教職実践演習	2	必	8	2	4	1		
	教職実践演習（教諭）	2	必	8					
大学が独自に設定する科目	人権（同和）教育	2	必	3	2				
必修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：28単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：12単位 ・教育実践に関する科目：7単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 合計：60単位を修得すること				その他、介護等体験の履修が必要です。介護等体験の科目登録についてはp.58を各自で必ず確認してください。			

各系列の最低修得単位数を満し、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学
- 中国文学
- 中国語
- 英米学
- 歴史学
- 歴史文化
- 教育学
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教育
- 社会教育
- 博物館学
- 図書館司書
- 学校図書館
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクト
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション
- レクリエーション
- 日本語教師
- GIS

公共政策学科 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必要修得単位	備 考		
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別 セメスター				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表			8	8	p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本史概論	2 必	1	20 (必修12・選択8以上)		
			日本史特論	2	選			2
			現代日本社会史	2	選			2
		外国史	日本仏教史(古代・中世)	2	選			1
			日本仏教史(近世・近代)	2	選			2
			東洋史概論	2 必	1			
			中国仏教史	2	選			2
			インド仏教史	2	選			1
			アジア仏教史(チベット)	2	選			2
			アジア仏教史(韓国)	2	選			2
		人文地理学・自然地理学	西洋史概論	2 必	1			
			20世紀の歴史	2	選			1
			人文地理学1	2 必	3			
			人文地理学2	2	選			4
			自然地理学1	2 必	3			
地誌	自然地理学2	2	選	4				
	地誌学1	2 必	3					
地誌学2	2	選	4					
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法社会・地理歴史1	2 必	3	4			
		中等教科教育法社会・地理歴史2	2 必	4				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2 必	1	11	60		
		教育原論2	2	選			2	
		学校教育職入門	2 必	1				
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	2	選			1	
		教育行政学	2	選			2	
		教育行政学2	2 必	1				
		教育社会学	2	選			2	
		教育社会学2	2	選			3	
		比較教育学	2	選			3	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2 必	1				
教育心理学	2	選	2					
教育心理学2	2	選	3					
発達心理学	2	選	3					
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1 必	3					
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	学校教育課程論	2 必	3					
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2 必	3	10			
		特別活動の指導法	2 必	3				
		教育の方法及び技術	2 必	3				
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	2	選			4	
		教育の方法及び技術	2	選			3	
		ICTの活用及び教育	2	選			3	
		生徒指導の理論及び方法	2 必	2				
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2 必	2				
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2 必	3				
		教育実践に関する科目	教育相談の理論及び方法	2 必			3	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中)1	2	選	5	2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと	
		教育実習(小・中)2	2	選	5			
		教育実習(中・高)1	2	選	5			
		教育実習(中・高)2	2	選	5			
		教育実習指導(小・中)	1	選	5			
		教育実習指導(中・高)	1	選	5			
		教職実践演習(教諭)	2 必	8	2			
大学が独自に設定する科目	人権(同和)教育	2 必	3	2				
	道徳の理論及び指導法	2	選	3				

必要修得単位

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

(※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

公共政策学科 高等学校教諭一種免許状「公民」

中学校 社会
高等学校 地理歴史 公民

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	必要修得単位	備 考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター				
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」 「社会学、経済学（国際経済を含む。）」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	法律学概論1	2	選	1	20	60	「法律学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること	
		法律学概論2	2	選	2				
		民法（総則・物権）	2	選	3				
		労働法（集团的労働関係法）	2	選	3				
		刑法	2	選	5				
		国際政治学	2	選	1				
		公共政策学（概論）	2	選	3				
		公共政策学（各論）	2	選	4				
		社会学概論	2	選	1				
		政治社会学	2	選	3				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	中等教科教育法社会・公民1	2	必	3	4	11	60	「社会学概論」または「経済学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること
		中等教科教育法社会・公民2	2	必	4				
		教育原論	2	必	1				
		教育原論2	2	選	2				
		学校教育職入門	2	必	1				
		教育行政学	2	選	1				
		教育行政学2	2	選	2				
		教育社会学	2	必	1				
		教育社会学2	2	選	2				
		比較教育学	2	選	3				
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 教育の方法及び技術 生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 教育実習	哲学概論	2	選	2	10	10	60	「哲学概論」、「倫理学概論」または「宗教学概論」のいずれか1科目を必ず履修すること
		公共性と社会	2	選	1				
		倫理学概論	2	選	1				
		宗教学概論	2	選	1				
		教育実践に関する科目	2	必	3				
		教育実践に関する科目	2	必	3				
		教育実践に関する科目	2	選	3				
		教育実践に関する科目	2	選	3				
		教育実践に関する科目	2	選	3				
		教育実践に関する科目	2	選	3				
大学が独自に設定する科目	道徳の理論及び指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	2	2	60	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと
		特別活動の指導法	2	必	3				
		教育方法論（ICT活用含む）	2	必	3				
		教育方法論（ICT活用含む）2	2	選	4				
		教育評価論	2	選	3				
		ICTの活用及び教育	2	選	3				
		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必	2				
		教育相談の理論及び方法	2	必	3				
		教育実習（小・中）1	2	選	5				
		教育実習（小・中）2	2	選	5				
大学が独自に設定する科目	人権（同和）教育	教育実習（中・高）1	2	選	5	2	2	60	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと
		教育実習（中・高）2	2	選	5				
		教育実習指導（小・中）	1	選	5				
		教育実習指導（中・高）	1	選	5				
		教職実践演習（教諭）	2	必	8				
		人権（同和）教育	2	必	3				
		道徳の理論及び指導法	2	選	3				
		教育実習（小・中）1	2	選	5				
		教育実習（小・中）2	2	選	5				
		教育実習（中・高）1	2	選	5				
大学が独自に設定する科目	道徳の理論及び指導法	教育実習（中・高）2	2	選	5	2	2	60	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと
		教育実習指導（小・中）	1	選	5				
		教育実習指導（中・高）	1	選	5				
		教職実践演習（教諭）	2	必	8				
		人権（同和）教育	2	必	3				
		道徳の理論及び指導法	2	選	3				
		教育実習（小・中）1	2	選	5				
		教育実習（小・中）2	2	選	5				
		教育実習（中・高）1	2	選	5				
		教育実習（中・高）2	2	選	5				

必要修得単位

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）
（※1）最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 教 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 職 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 課 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 資 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 格 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 課 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 程 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験 受験資格
- 日本語教師資格
- GIS 学術士

社会福祉学科 高等学校教諭一種免許状「地理歴史」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

福祉

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準		最低修得単位	必修単位	備考	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・履修開始 選択別	履修開始 セメスター		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8 8 p.11 参照	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本史概論	2	必	1	20 (必修12・選択8以上)
			日本史特論	2	選	2	
			日本社会福祉史	2	選	3	
			日本仏教史(古代・中世)	2	選	1	
			日本仏教史(近世・近代)	2	選	2	
		外国史	東洋史概論	2	必	1	
			中国仏教史	2	選	2	
			インド仏教史	2	選	1	
			アジア仏教史(チベット)	2	選	2	
			アジア仏教史(韓国)	2	選	2	
		人文地理学・自然地理学	西洋史概論	2	必	1	
			欧米社会福祉史	2	選	3	
			人文地理学1	2	必	3	
			人文地理学2	2	選	4	
地誌	自然地理学1	2	必	3			
	自然地理学2	2	選	4			
地誌学1	2	必	3				
地誌学2	2	選	4				
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)		中等教科教育法社会・地理歴史1	2	必	3	4	
		中等教科教育法社会・地理歴史2	2	必	4		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	2	必	1	11	
		教育原論2	2	選	2		
		学校教育職入門	2	必	1		
		教育行政学	2	選	1		
		教育行政学2	2	選	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教育社会学	2	必	1		
		教育社会学2	2	選	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	比較教育学	2	選	3		
		教育心理学	2	必	1		
		教育心理学2	2	選	2		
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学	2	選	3			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		学校教育課程論	2	必	3		
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	10	
		特別活動の指導法	2	必	3		
	教育の方法及び技術	教育方法論(ICT活用含む)	2	必	3		
		教育方法論(ICT活用含む)2	2	選	4		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育評価論	2	選	3		
		ICTの活用及び教育	2	選	3		
	教育の方法及び技術	生徒指導の理論及び方法	2	必	2		
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	必	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談の理論及び方法	2	必		3
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中)1	2	選		5
教育実習(小・中)2			2	選	5		
教育実習(中・高)1			2	選	5		
教育実習(中・高)2			2	選	5		
教育実習指導(小・中)			1	選	5		
教育実習指導(中・高)			1	選	5		
教職実践演習		2	必	8	2		
大学が独自に設定する科目		人権(同和)教育	2	必	3	2	
		道徳の理論及び指導法	2	選	3	2	

必要修得単位

- ・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位
- ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位
- ・教育実践に関する科目：5単位
- ・大学が独自に設定する科目：2単位
- ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位(※1)
- 合計：60単位を修得すること

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること(教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く)。

(※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学
- 中国文学
- 英米文学
- 歴史学
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教育主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・ジストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS学術士

社会福祉学科 高等学校教諭一種免許状「公民」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

福祉

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	必修単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始semester			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む）、政治学（国際政治を含む）」	法学概論1	2	選	1	20	「法学概論1」または「国際政治学」のいずれか1科目を必ず履修すること
		法学概論2	2	選	2			
		社会福祉法	2	選	3			
		国際政治学	2	選	1			
		社会政策論	2	選	3			
		福祉行財政と自治体福祉政策	2	選	3			
	「社会学、経済学（国際経済を含む）」	社会学概論	2	選	1			
		現代家族論	2	選	2			
		経済学概論	2	選	1			
		哲学概論	2	選	2			
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	倫理学概論	2	選	1				
	宗教学概論	2	選	1				
	社会心理学	2	選	3				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		中等教科教育法社会・公民1	2	必	3	4		
		中等教科教育法社会・公民2	2	必	4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原論	2	必	1	11	
	教育の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		学校教育入門	2	必	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	2	選	1		
			教育行政学2	2	選	2		
			教育社会学	2	必	1		
			教育社会学2	2	選	2		
			比較教育学	2	選	3		
			教育心理学	2	必	1		
			教育心理学2	2	選	2		
			発達心理学	2	選	3		
道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導に関する科目	総合的な探究の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	2	必	3	10	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法	2	必	3		
	教育の方法及び技術		教育方法論（ICT活用含む）	2	必	3		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法論（ICT活用含む）2	2	選	4		
	教育の方法及び技術		教育評価論	2	選	3		
			ICTの活用及び教育	2	選	3		
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論及び方法	2	必	3		
	教育実習							
教育実践に関する科目	教育実習		教育実習（小・中）1	2	選	5	2	教育実習の科目登録についてはp.56を参照のこと
			教育実習（小・中）2	2	選	5		
			教育実習（中・高）1	2	選	5		
			教育実習（中・高）2	2	選	5		
			教育実習指導（小・中）	1	選	5		
			教育実習指導（中・高）	1	選	5		
教職実践演習		教職実践演習（教諭）	2	必	8	2		
大学が独自に設定する科目		人権（同和）教育	2	必	3	2		
		道徳の理論及び指導法	2	選	3			
必 要 修 得 単 位		・教科及び教科の指導法に関する科目：24単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・最低修得単位を除いた選択科目：8単位（※1） 合計：60単位を修得すること						

各系列の最低修得単位数を満たし、かつ60単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く）。

（※1）最低修得単位の合計は、必要修得単位を満たさないで注意すること。

教 職 課 程

浄土宗 教師 浄土宗 開教使 浄土宗 社会教化主事 社会教育主事 博物館 学芸員 図書館 司書 学校図書館 司書教諭 学校 司書 社会 調査士 グローバル プロジェクト マネジャー 保育士 社会 福祉士 精神 保健 福祉士 レクリエーション イラスト ラクター レクリエーション コーディネーター 社会 福祉 主事 公認心理師 国家試験 受験資格 日本語 教師 資格 CIS 学術士

社会福祉学科 高等学校教諭一種免許状「福祉」

中学校

社会

高等学校

地理歴史

公民

福祉

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準				最低修得単位	必要修得単位	備 考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必 修・選 択 別	履 修 開 始 セ ン タ ー			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目		別表				8	8	p.11 参照
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	社会福祉学（職業指導を含む。）	社会福祉原論	2	必	2	27 もしくは 25	
		職業指導	2	必	3			
	高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉	社会福祉論1	2	選	3			
		社会福祉論2	2	選	4			
		高齢者福祉論	2	必	2			
		児童・家庭福祉論	2	必	2			
	社会福祉援助技術	障害児者福祉論	2	必	2			
		ソーシャルワークの理論と方法1	2	必	3			
		ソーシャルワークの理論と方法2	2	必	4			
		ソーシャルワークの理論と方法3	2	選	5			
介護理論・介護技術	ソーシャルワークの理論と方法4	2	選	7				
	地域福祉と包括的支援体制1	2	選	3				
	介護概論	2	必	4				
	介護技術指導	1	必	5				
社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	ソーシャルワーク実習指導1	2	選	4				
	●ソーシャルワーク実習指導3	2	選	6				
	●ソーシャルワーク実習2	4	選	5				
	◆社会福祉総合実習	2	選	5				
人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解 加齢に関する理解・障害に関する理解	◆社会福祉総合実習指導	2	選	5				
	心身ケアとウェルビーイング	2	必	3				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		高齢者ケア論	2	必	3	4		
		中等教科教育法福祉1	2	必	3			
		中等教科教育法福祉2	2	必	4			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原論	2	必	1	11	59
			教育原論2	2	選	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		学校教育職入門	2	必	1		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学	2	選	1		
			教育行政学2	2	選	2		
			教育社会学	2	必	1		
			教育社会学2	2	選	2		
			比較教育学	2	選	3		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	必	1		
			教育心理学2	2	選	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		発達心理学	2	選	3			
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3			
総合的な探究の時間の指導法		学校教育課程論	2	必	3	10		
特別活動の指導法		総合的な学習の時間の指導法	2	必	3			
教育の方法及び技術		特別活動の指導法	2	必	3			
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育方法論（ICT活用含む）	2	必	3			
教育の方法及び技術		教育方法論（ICT活用含む）2	2	選	4			
		教育評価論	2	選	3			
		ICTの活用及び教育	2	選	3			
生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2	必	2			
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		教育相談の理論及び方法	2	必	3			
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育実習（小・中）1	2	選	5			2
教育実習		教育実習（小・中）2	2	選	5			
		教育実習（中・高）1	2	選	5			
		教育実習（中・高）2	2	選	5			
		教育実習指導（小・中）	1	選	5			
		教育実習指導（中・高）	1	選	5			
		教職実践演習（教諭）	2	必	8			
		教職実践演習（教諭）	2	必	8			
		人権（同和）教育	2	必	3			
		道徳の理論及び指導法	2	選	3			
大学が独自に設定する科目		人権（同和）教育	2	必	3	2		
		道徳の理論及び指導法	2	選	3			
必要修得単位		・教科及び教科の指導法に関する科目：31単位もしくは29単位 ・教育の基礎的理解に関する科目：11単位 ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目：10単位 ・教育実践に関する科目：5単位 ・大学が独自に設定する科目：2単位 ・「教科に関する専門的事項」を25単位修得の場合、最低修得単位を除いた選択科目：2単位（※1） 合計：59単位を修得すること						

各系列の最低修得単位数を満し、かつ59単位を修得すること（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目を除く。）
 (※1) 最低修得単位の合計は、必要修得単位を満さないで注意すること。

- 取得について
- 仏教
- 日本文学
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践
- 介護等
- 浄土宗
- 浄土宗
- 浄土宗
- 社会教育
- 博物館
- 図書館
- 学校図書
- 学校司書
- 社会調査
- グローバル
- 保育士
- 社会福祉
- 精神保健
- レクリエーション
- レクリエーション
- 社会福祉
- 公認心理師
- 日本語
- GIS

全学部共通 特別支援学校教諭一種免許状

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準		本 学 基 準						備考
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単 位	必 修・ 選 択 別	履 修 開 始 セメスター	最 低 修 得 単 位	必 要 修 得 単 位	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		特別支援教育総論	2	必	3	2	27	
		特別支援教育基礎理論	2	選	3	2		
		特別支援教育基礎理論2	2	選	3	2		
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児の心理	2	必	3	2		
		知的障害児の生理・病理	2	必	3	2		
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2	必	3	2		
		病弱虚弱児の心理・生理・病理	2	必	3	2		
		知的障害教育Ⅰ	2	必	3	2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		知的障害教育Ⅱ	2	必	3	2		
		肢体不自由児の指導法	2	必	3	2		
		病弱虚弱児の指導法	2	必	3	2		
免許状に定められることとなる特別支援領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	視覚障害教育総論	2	必	3	2		
		聴覚障害教育総論	2	必	3	2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		重複障害・発達障害児の指導法	2	必	3	2		
		教育実習（特支）	2	必	6	2		
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		教育実習指導（特支）	1	必	5	1		
必 要 修 得 単 位		合計：27単位を修得すること						



※特別支援学校教諭一種免許状の取得にあたっては基礎となる普通免許状の取得が必要です。詳細はpp.10-11を参照してください。

参照 pp.10-11
特別支援学校教諭
一種免許状について

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネジャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- CIS学術士

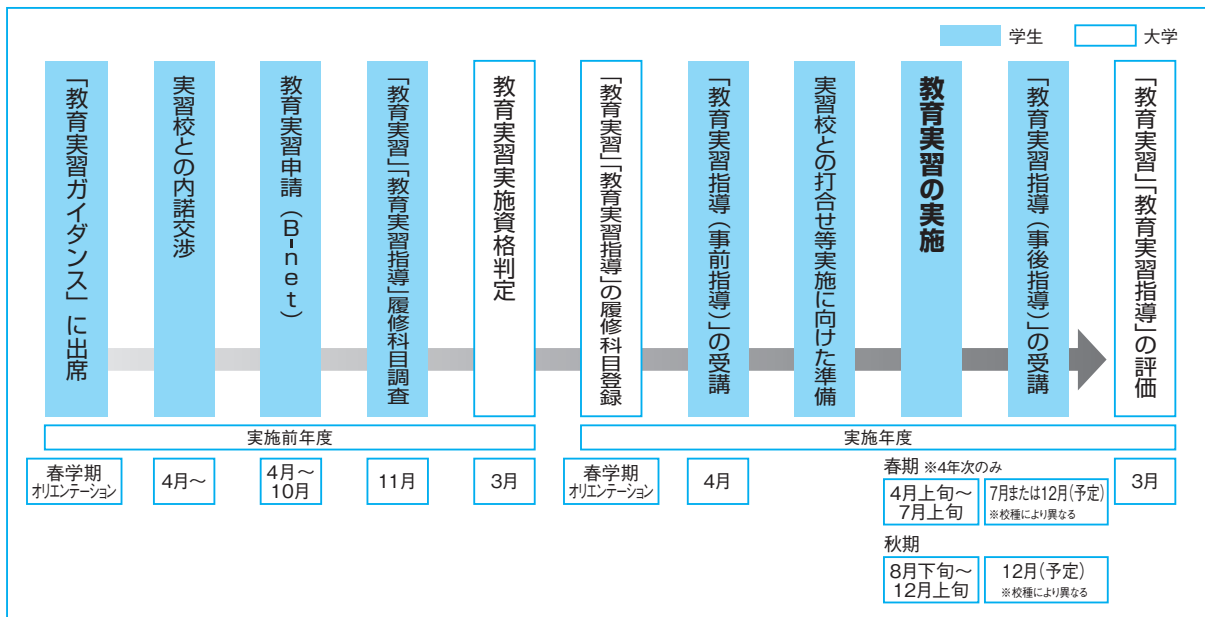
3 教育実習

教育職員免許状を取得するためには、校種ごとに定められた科目（「教育実習」「教育実習指導」）および単位数を履修することが必要です。

教育実習は、**自身が取得を希望する教育職員免許状の校種および教育実習を実施する校種により、実習に必要な日数や修得すべき科目が異なります。**詳細は実習実施前年度の「教育実習ガイダンス」にて説明します。

- 教育実習を行う「幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校」を「実習校」と表記します。
- 休学および留学する場合は、教育実習に関わる手続きが異なりますので、事前に免許・資格課へ相談してください。

教育実習の流れ



- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 教 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 職 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 課 現代社会学科
- 公共政策学科
- 程 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 資 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 格 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネジャー
- 課 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 程 社会福祉主事
- 公認心理師 国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS 学術士

教育実習の履修単位数・実施学年・時期



自分の取得しようとする
免許の実習時期を
把握しておくこと

【履修単位数】

教育実習の履修単位数は、下表の通りです。1日の実習時間は、実習校の教職員の勤務に準じたものとします。

取得希望教育職員免許状	履修単位数	教育実習実施校種および必要日数
幼稚園	4単位	幼稚園(※1)で20日間以上
小学校	4単位	小学校で20日間以上
中学校	4単位	中学校で15日間以上
中学校と高等学校	4単位	以下A～Cのいずれか一つを選択 A 中学校で15日間以上 B 高等学校で15日間以上 C 中学校と高等学校のそれぞれで10日間以上
高等学校	2単位	高等学校で10日間以上
特別支援学校	2単位	特別支援学校(※2)で10日間以上

- ※1 認定こども園で教育実習を行う場合、「幼稚園型」または、「幼保連携型」の満3歳児から小学校就学前に達するまでの幼児学級(クラス)で行ってください。「保育園型」「地方裁量型」での教育実習は認めていません。
- ※2 特別支援学校での教育実習は、「知的障害者に関する教育の領域」「肢体不自由者に関する教育の領域」「病弱者に関する教育の領域」の3領域のうちいずれかを含む学校で行ってください。「視覚障害者に関する教育の領域」「聴覚障害者に関する教育の領域」の2領域の特別支援学校での教育実習は認めていません。

【実施学年・時期】

教育実習を実施できる学年・時期は以下のとおりです。

学年	春 期	秋 期
第3学年	——	第6セメスター 8月下旬～12月上旬
第4学年	第7セメスター 4月上旬～7月上旬	第8セメスター 8月下旬～12月上旬

※実習校によっては受け入れ可能時期等の関係により、第3学年での教育実習ができない場合があります。

※2校種以上の免許状を取得する場合は、以下の点に注意してください。

1. 幼・小・中・高での教育実習は、主として(就職を)希望する校種において、4単位の教育実習を実施してください(原則いずれか1校種で実施)。
2. 特別支援学校での教育実習は、基礎となる免許(幼・小・中・高)の教育実習の後に行ってください。
3. 第6セメスターで実施できる教育実習は1校種に限ります。ただし、以下の場合のみ第6セメスターで2校種の教育実習が可能です。

中学校10日間 + 高等学校10日間

取得について
仏教
文学科
中国
英米
歴史
歴史文
教育
幼児
臨床心
現代社
公共政
社会福
特別支
教育
教職実
介護等

浄土宗
浄土宗
浄土宗
社会教
社会
博物館
図書館
学校
学校
社会
グロー
保育士
社会
精神
レクリ
レクリ
社会福
公認心
日本語
CIS

教育実習ガイダンス



ガイダンスに必ず出席してください

教育実習ガイダンスは、教育実習実施前年度の春学期オリエンテーション時に開催します。ガイダンスでは、**実習に必要な日数や修得すべき科目・教育実習の申込手続き等について説明**を行いますので、**必ず出席**してください。

教育実習の実施時期	教育実習ガイダンスの時期
第6 Semester	第2学年の春学期オリエンテーション
第7・第8 Semester	第3学年の春学期オリエンテーション

教育実習実施資格判定

実習校は、教育実習を行うための十分な学力を持ち、教育実習に対する強い意志を持った実習生の受け入れを求めています。そのため、本学では、教育実習を行うための最低限必要な科目を「**教育実習実施資格判定科目**」（以下、「判定科目」）と定め、**教育実習実施資格判定**を行っています。

判定の結果は B-net にてお知らせします。

- 判定科目 pp.53-55 のとおり
- 判定科目の履修期限 下表のとおり
- 判定条件 判定科目を履修期限までに合格していること
- 判定時期 実習前年度 3月

教育実習の実施時期	判定科目の履修期限
第6 Semester	第4 Semester
第7・第8 Semester	第6 Semester

教育実習実施資格判定科目

①幼稚園実習

科目群	開講科目	合格が必要な科目数	合計科目数
I	① 幼児と健康 幼児と人間関係 幼児と環境 幼児と言葉 幼児と表現（造形） 幼児と表現（音楽） 幼児と表現（身体）	以下いずれかの組み合わせにて 計5科目 を合格していること ・ I-①から1科目と I-②から4科目 ・ I-②から5科目	9科目
	② 保育内容の理論と方法【健康】 保育内容の理論と方法【人間関係】 保育内容の理論と方法【環境】 保育内容の理論と方法【言葉】 保育内容の理論と方法【音楽表現】 保育内容の理論と方法【造形表現】 保育内容の理論と方法【身体表現】		
II	教育原論 教師・保育者論 教育社会学 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解とその支援 幼児教育・保育課程論 保育の内容及び方法 幼児理解及び保育相談 人権（同和）教育	4科目	

②小学校実習

科目群	開講科目	合格が必要な科目数	合計科目数
I	① 初等教育内容国語 初等教育内容社会 初等教育内容算数 初等教育内容理科 初等教育内容生活 初等教育内容音楽 初等教育内容図画工作 初等教育内容家庭 初等教育内容体育 初等教育内容外国語	以下いずれかの組み合わせにて 計5科目 を合格していること ・I-①から1科目とI-②から4科目 ・I-②から5科目	10科目
	② 初等国語教育法 初等社会教育法 初等算数教育法 初等理科教育法 初等生活教育法 初等音楽教育法 初等図画工作教育法 初等家庭教育法 初等体育教育法 初等外国語教育法		
II	教育原論 学校教育職入門 教育社会学 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解とその支援 学校教育課程論 道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法論 (ICT 活用含む) 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育相談の理論及び方法 人権 (同和) 教育	5科目	

③中学校実習

※教育実習を行う教科にて要件を充足すること

科目群	開講科目	合格が必要な科目数	合計科目数
I	① 教科に関する専門的事項 各免許状の履修科目表の法定基準欄「教科及び教科の指導法に関する科目」の区分を示す	以下いずれかの組み合わせにて 計5科目 を合格していること ・I-①から4科目とI-②から1科目 ・I-①から3科目とI-②から2科目 ※教育実習を行う教科にて履修すること (科目は本冊子の各免許状の履修科目表にて確認すること)。	10科目
	② 社会 中等教科教育法社会 1 中等教科教育法社会 2 中等教科教育法社会 3 中等教科教育法社会 4 中等教科教育法社会・地理歴史 1 中等教科教育法社会・地理歴史 2 中等教科教育法社会・公民 1 中等教科教育法社会・公民 2 宗教 中等教科教育法宗教 1 中等教科教育法宗教 2 中等教科教育法宗教 3 中等教科教育法宗教 4 国語 中等教科教育法国語 1 中等教科教育法国語 2 中等教科教育法国語 3 中等教科教育法国語 4 中国語 中等教科教育法中国語 1 中等教科教育法中国語 2 中等教科教育法中国語 3 中等教科教育法中国語 4 英語 中等教科教育法英語 1 中等教科教育法英語 2 中等教科教育法英語 3 中等教科教育法英語 4 数学 中等教科教育法数学 1 中等教科教育法数学 2 中等教科教育法数学 3 中等教科教育法数学 4		
II	教育原論 学校教育職入門 教育社会学 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解とその支援 学校教育課程論 道徳の理論及び指導法 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法論 (ICT 活用含む) 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育相談の理論及び方法 人権 (同和) 教育	5科目	

④ 高等学校実習

※教育実習を行う教科にて要件を充足すること

科目群	開講科目	合格が必要な科目数	合計科目数
I	① 教科に関する専門的事項 各免許状の履修科目表の法定基準欄「教科及び教科の指導法に関する科目」の区分を示す	以下いずれかの組み合わせにて 計5科目 を合格していること ・ I-①から4科目とI-②から1科目 ・ I-①から3科目とI-②から2科目 ※教育実習を行う教科にて履修すること (科目は本冊子の各免許状の履修科目表にて確認すること)。	10科目
	② 各教科の指導法		
II	教育原論 学校教育職入門 教育社会学 教育心理学 特別な教育的ニーズの理解とその支援 学校教育課程論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法論 (ICT活用含む) 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育相談の理論及び方法 人権 (同和) 教育	5科目	

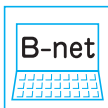
⑤ 特別支援学校実習

科目	合格が必要な科目数	注意事項
特別支援教育総論 知的障害児の心理 知的障害児の生理・病理 肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱虚弱児の心理・生理・病理 知的障害教育I 知的障害教育II 肢体不自由児の指導法 病弱虚弱児の指導法 視覚障害教育総論 聴覚障害教育総論 重複障害・発達障害児の指導法 人権 (同和) 教育	5科目	「特別支援教育総論」 「人権 (同和) 教育」 を合格していることが望ましい。

取得について
仏教
文学科
中国
文学科
教
英米
文学科
歴史
文学科
歴史
文学科
職
教育
文学科
幼児
教育
文学科
臨床
心理
文学科
課
現代
社会
文学科
公共
政策
文学科
程
社会
福祉
文学科
特別
支援
学校
教育
実習
教職
実
践
演習
介護
等
体験

浄土宗
教師
浄土宗
開教使
浄土宗
社会
教化
主事
社会
教育
主事
博物館
学芸員
資
図書館
司書
学校
図書館
司書
教諭
学校
司書
格
社会
調査
士
グロー
バル
プロ
ジェ
クト
マネ
ジャー
課
保育
士
社会
福祉
士
精神
保健
福祉
士
程
レクリ
エー
ション
イン
ジス
トラ
クター
レクリ
エー
ション
マネ
ージャー
社会
福
祉
主
事
公認
心理
師
国家
試験
受験
資格
日本
語
教師
資格
GIS
学術
士

「教育実習」「教育実習指導」の履修科目登録



教育実習に関する
連絡・通知は、
B-netにて
確認してください



「教育実習指導」は、
「事前指導」と「事後指導」
ともに受講してください

「教育実習」「教育実習指導」は、教育実習申請（B-net）後の履修科目調査に基づき、免許・資格課が履修すべき科目を登録します。登録された科目を履修してください。なお、科目の変更は認めません。

- 「教育実習指導」は、教育実習を行う前に受講する「事前指導」と実習を行った後に受講する「事後指導」があり、両方を受講しなければなりません。開講時期や日程は、教育実習実施資格判定合格者にB-netから通知します。
- 複数の校種の教育実習を第3学年、第4学年の2年にわたって行う場合、実習実施年度ごとに「教育実習指導」を受講する必要があります。

教育実習費

教育実習を行うにあたり、履修費として以下の教育実習費が必要です。納入方法・時期は教育実習実施資格判定合格者にB-netからお知らせします。

〔2単位〕 15,000円

〔4単位〕 30,000円

※一旦納入された教育実習費はいかなる理由があっても返金できません。

麻疹に対する抗体確認について

教育実習実施において、事前に麻疹の抗体検査を受け、「麻疹に対する免疫がある」ことの確認が必要です。

麻疹の抗体検査は医療機関で受けることができますが、毎年1回（11～12月頃）、学内でも抗体検査を行います。B-netを確認し、受検してください。

4 教職実践演習

「教職実践演習」は教育職員免許状を取得する場合に履修する必修科目で、教職に必要な実践的能力・技能を高めるために、個々の学生が教職課程における学習や大学生活における教育現場での体験を振り返り、教員として最低限必要な資質や能力が形成されたかどうか、自分の特質や不足している課題は何かを自覚するための科目として位置づけられています。

そのために、教育職員免許状の取得を希望する学生は、1年生からB-netを利用し、自身の学習履歴と教職に係る記述を蓄積していくこと（ポートフォリオの作成）に加え、4年生の秋学期に「教職実践演習」を履修することが必要です。

「教職実践演習」の履修およびB-netを使ってのポートフォリオの作成方法は、B-netにてお知らせします。

※一般的に、個人の活動記録を集約したものを「ポートフォリオ」と呼びます。

重要

「教職実践演習」は、教育職員免許状取得においての資質があることを本学として確認する重要な科目となります。指定されたすべての日程に必ず出席してください。遅刻・欠席の場合、教育職員免許状を取得することはできません。

「教職実践演習」受講までの流れ

1. 受講までの流れについてB-net 配信
↓
2. B-netにて、指定された課題を提出（1年生～4年生）
※提出期限厳守
↓
3. 教育実習の実施（3年生秋学期～4年生秋学期）
↓
4. 「教職実践演習（教諭）」もしくは「保育・教職実践演習（教諭）」（幼児教育学科のみ）（2単位）の科目登録
（4年生秋学期）
↓
5. 「教職実践演習（教諭）」もしくは「保育・教職実践演習（教諭）」（幼児教育学科のみ）の受講（4年生秋学期）

- 取得について
- 仏教
- 文学
- 中国
- 英米
- 歴史
- 歴史文化
- 教育
- 幼児教育
- 臨床心理
- 現代社会
- 公共政策
- 社会福祉
- 特別支援
- 教育実習
- 教職実践演習**
- 介護等
- 体験

- 浄土宗
- 浄土宗
- 浄土宗
- 社会教育
- 博物館
- 図書
- 学校図書
- 学校
- 社会
- グローバル
- 保育士
- 社会
- 精神
- レクリエーション
- レクリエーション
- 社会福祉
- 公認心理
- 日本語
- GIS

5 介護等体験

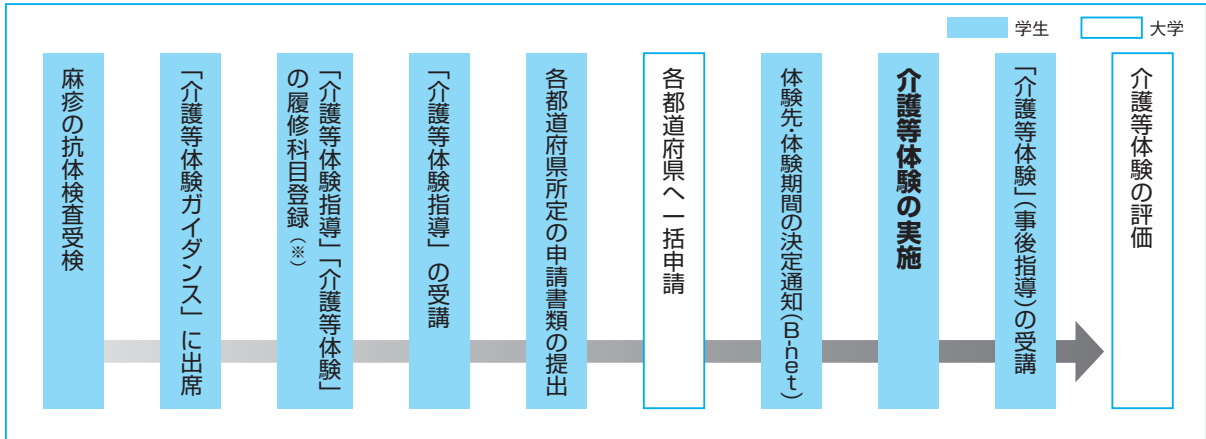
小学校及び中学校の教育職員免許状を取得するための要件として、7日間の介護等体験をすることが義務付けられています。

介護等体験は、障害者、高齢者等に対する介護・交流の体験を行うことを通じて、教員としての資質の向上を図り、義務教育を充実させることが目的です。体験先の社会福祉施設等や特別支援学校は、入所者への生活援助や生徒への指導を行うかたわらで、多くの時間をかけた準備をして、体験生を受け入れています。このことを十分に理解し、謙虚な姿勢や誠実な態度で体験を行うことが必要です。

※「中学校+高等学校」の教育職員免許状を取得する場合も履修が必要です。

※休学する場合は、介護等体験に係わる手続きが異なりますので、事前に免許・資格課へ相談してください。

介護等体験に関する流れ



※学科によって「介護等体験指導」「介護等体験」の履修科目登録時期が異なります。詳細は下記で確認してください。

介護等体験ガイダンス



介護等体験ガイダンスに必ず出席してください

介護等体験の申請手続きに必要な説明を行いますので、必ず出席してください。

※介護等体験の申請手続きはすべて大学を通じて行います。学生個人での申請手続きはできません。

学科	介護等体験ガイダンスの時期
教育・幼児教育学科	第2学年春学期オリエンテーション
教育・幼児教育・英米学科以外	第2学年秋学期オリエンテーション
英米学科	第3学年春学期オリエンテーション

「介護等体験指導」「介護等体験」の履修科目登録

介護等体験を行う前に、事前指導である「介護等体験指導」の受講が必要です。

介護等体験ガイダンス出席後、以下表の通り履修科目登録を行ってください。

教育・幼児教育学科	第2学年春学期に	「介護等体験指導」(1単位) 「介護等体験」(1単位)
教育・幼児教育・英米学科以外	第2学年秋学期に 第3学年春学期に	「介護等体験指導」(1単位) 「介護等体験」(1単位)
英米学科	第3学年春学期に	「介護等体験指導」(1単位) 「介護等体験」(1単位)

介護等体験の実施時期・必要日数

介護等体験は、社会福祉施設等で5日間、特別支援学校で2日間の合計7日間行います。どちらの体験についても、本学を通じて各都道府県の社会福祉協議会、教育委員会へ申請し、体験先・体験期間が決定されます。このため必ずしも希望の時期に行えるとは限りません。また、決定後の体験先・体験期間は変更できません。

社会福祉施設等で5日間 + 特別支援学校で2日間 = 合計7日間の体験

学科	介護等体験の時期
教育・幼児教育学科	第2学年の秋学期以降
教育・幼児教育・英米学科以外	第3学年の春学期以降
英米学科	第3学年の秋学期以降

介護等体験費

介護等体験実施にあたり次の費用が必要です。納入方法・時期はB-netにて通知します。

介護等体験費……14,000円

※一旦納入された介護等体験費はいかなる理由があっても返金できません。

社会福祉施設等、特別支援学校における介護等体験の実施

社会福祉施設等および特別支援学校での体験の決定通知を、B-netにて配信します。いずれも決定通知と実施要項に従って介護等体験を行ってください。

健康診断の受診



重要

春学期オリエンテーション時の健康診断を必ず受診

介護等体験を行う年度の春学期オリエンテーション時に、健康診断（全項目）を受診してください。未受診の場合、体験の実施ができませんので注意してください。

介護等体験終了後の事後指導

介護等体験（合計7日間）終了後、介護等体験の事後指導の受講が必要です。またその際、『介護等体験記録簿』『証明書』を提出することが必要です。日程等の詳細については、B-netにてお知らせします。

麻疹に対する抗体確認について

介護等体験実施において、事前に麻疹の抗体検査を受け、「麻疹に対する免疫がある」ことの確認が必要です。

麻疹の抗体検査は医療機関で受けることができますが、毎年1回（12月頃）、学内でも抗体検査を行います。B-netを確認し、受検してください。



資格課程

浄土宗教師
浄土宗開教使
浄土宗社会教化主事
社会教育主事
博物館学芸員
図書館司書
学校図書館司書教諭
学校司書
社会調査士
グローバルプロジェクトマネジャー（GPM）資格プログラム
保育士
社会福祉士国家試験受験資格
精神保健福祉士国家試験受験資格
レクリエーション・インストラクター
レクリエーション・コーディネーター（教育コース）
社会福祉主事（任用資格）
公認心理師国家試験受験資格
日本語教師資格
GIS 学術士

浄土宗
教師
浄土宗
開教使
浄土宗
社会教
化主事
社会教
育主事
博物館
学芸員
資格
図書館
司書
学校図
書館司
書教諭
学校
司書
格
社会
調査士
グローバル
プロジェクト
マネジャー
保育士
課
社会
福祉士
精神
保健
福祉士
レクリエー
ション・
インスト
ラクター
レクリエー
ション・
コーディネ
ーター
社会福
祉主事
公認心理師
国家試験
受験資格
日本語
教師
資格
GIS
学術士

全学部共通 浄土宗教師〔僧階(少僧都),教階(輔教),学階(擬講・得業)〕

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

浄土宗教師

概要



事前に僧籍登録の完了が必要です

浄土宗教師とは、浄土宗の専門知識を身につけ、地域社会への教化活動を行うにふさわしい人格と素養をそなえた人のことです。

本学の浄土宗教師資格課程において所定単位の修得、および「伝宗伝戒（加行）」を受けた場合、僧階（少僧都）、教階（輔教）、学階（擬講・得業）を申請することができます。

履修上の注意

- 浄土宗教師資格取得希望者は、原則として第1学年次の1年間、黒谷道場に入行する必要があります。また、事前の僧籍登録の完了も必要となります。
- 黒谷道場に入行するには、事前に所定の手続きをし、前年度の3月31日に入道場する必要があります。
- 4月～7月・9月～1月は黒谷道場で生活し、日中は紫野キャンパスで授業等に出席します。
- 浄土宗教師資格取得に関連する一部の科目（法式実習・日常勤行式の解説）は、黒谷道場で受講します。
- 少僧都資格を得るためには、所定の**少僧都単位64単位**を修得し、「伝宗伝戒（加行）」を受け、卒業（学士の学位取得）する必要があります。
- 擬講資格を得るためには、所定の**擬講単位74単位**を修得し、「伝宗伝戒（加行）」を受け、卒業（学士の学位取得）する必要があります。
- 「伝宗伝戒（加行）」を受けるためには、入行資格（律師）の単位を修得済みであることが必要です。伝宗伝戒道場入行申請資格有無の判定結果については10月初旬にB-netにてお知らせします。
- 本学の浄土宗教師資格課程において「伝宗伝戒（加行）」を成満した学生は、律師が叙任されます。
- 「法務実習（特級）」を修得することによって、「五級式師」の叙任申請が可能となります。

単位修得証明書の交付について

（少・輔・得）の所要単位を充足した場合は少僧都・輔教・得業資格を、（少・輔・擬）の所要単位を充足した場合は少僧都・輔教・擬講資格を、卒業後に浄土宗宗務庁へそれぞれ申請することができます。

取得資格の発表は、卒業所要単位充足者発表時に行います。資格の申請は、単位修得証明書（浄土宗宗務庁用）を学生支援課へ申し込んだうえで、各自で浄土宗宗務庁にて手続きをおこなってください。単位修得証明書（浄土宗宗務庁用）の交付は卒業式当日以降となります。

資格の申請

学生支援課へ
「単位修得証明書（浄土宗宗務庁用）」を申し込み



卒業式当日以降
「単位修得証明書（浄土宗宗務庁用）」の交付



各自で浄土宗宗務庁へ申請

全学部共通

浄土宗教師(僧階(少僧都),教階(輔教),学階(擬講・得業))

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

宗 定 基 準	科 目	僧階 律師	教階 少僧都	学階 得業	授 業 科 目	単 位	本 学 基 準				履修開始 セメスター	備 考	
							入行資格	少・輔・得 必修・ 選択別	最低 修得 単位	少・輔・擬 必修・ 選択別			最低 修得 単位
浄土学に関する科目	法然上人の生涯と思想	12	12	6	法然の生涯と教え	2	●	必	2	必	2	2	※1のうち、いずれか1科目2単位を選択履修 擬講取得希望者は、5科目10単位を選択履修 得業取得希望者は、2科目4単位を選択履修
	浄土学の基礎				2	●	必	2	必	2	2		
	三部経の思想				2	●	必	2	必	2	3		
	浄土宗日常勤行式の解説				2	●	必	2	必	2	1		
	浄土教の歴史				2	○	(※1)	選	2	選	3		
	選択集の思想				2	●	必	2	必	2	4		
	浄土宗の歴史				2	○	(※1)	選	2	選	4		
	浄土三部経研究2(観経・阿 弥陀経)				2		必	2	必	2	4		
	選択集研究2				2		必	2	必	2	5		
	伝書2				2		必	2	必	2	5		
	円頓戒2				2		必	2	必	2	5		
	浄土学1(中国浄土教)				2			選		選	3		
	浄土宗学1(中国浄土教)				2			選		選	4		
	浄土学2(日本浄土教)				2			選		選	4		
	浄土宗学2(日本浄土教)				2			選	4	選	10		
浄土学発展研究	2			選		選	5						
浄土宗学発展研究	2			選		選	6						
法然門下の思想	2			選		選	4						
仏教学に関する科目	釈尊の生涯と思想	6	6	4	ブツダの生涯と教え	2	●	必	2	必	2	1	擬講取得希望者は、1科目2単位を選択履修 擬講取得希望者は、「日本仏教史(近世・近代)」 を含み4科目8単位を選択履修 得業取得希望者は、「日本仏教史(近世・近代)」 を含み3科目6単位を選択履修
	仏教学の基礎				2	●	必	2	必	2	1		
	日本仏教の歴史と教え				2	●	必	2	必	2	1		
	日本仏教1(古代・中世)				2					選	3		
	日本仏教2(近世・近代)				2					選	4		
	仏教特別研究				2					選	2		
	日本仏教文化2(近世・近代)				2					選	4		
	日本仏教発展研究				2					選	5		
	インド仏教1(初期)				2			選		選	4		
	インド仏教3(中観)				2			選		選	5		
	中国仏教1(訳経時代)				2			選		選	3		
	インド仏教2(部派)				2			選		選	3		
	インド仏教4(唯識)				2			選		選	5		
	中国仏教2(隋唐時代)				2			選		選	4		
	インド仏教発展研究(大乘)				2			選		選	4		
中国仏教発展研究	2			選	6	選	8						
日本仏教史(近世・近代)	2			選		選	2						
インド仏教史	2			選		選	1						
アジア仏教史(チベット)	2			選		選	2						
アジア仏教史(韓国)	2			選		選	2						
中国仏教史	2			選		選	2						
宗教史	2			選		選	1						
宗派仏教	2			選		選	4						
現代社会と教団に関する科目	現代社会と人間	6	6	4	伝書1	2	●	必	2	必	2	4	「仏教と現代社会の諸問題」を含み2科目4単 位を選択履修
	浄土宗と加行 (伝法と円頓戒)				2	●	必	2	必	2	4		
	宗教法制				2	●	必	2	必	2	3		
	仏教と人権				2	●	必	2	必	2	3		
	仏教の儀礼と儀式				2			選		選	3		
	伝統文化演習(茶道)				2			選		選	3		
	伝統文化演習(華道)				2			選		選	4		
	伝統文化演習(書道・悉曇)				2			選		選	4		
	伝統文化演習(儀礼・音楽)				2			選		選	4		
	宗教学概論				2			選	4	選	4		
	哲学概論				2			選		選	1		
	倫理学概論				2			選		選	1		
	福祉と社会				2			選		選	1		
	心の世界を考える				2			選		選	1		
	仏教と現代社会の諸問題				2			選		選	2		
僧侶の実践に関する科目	法式(初級)	12	12	2	法式実習1	1	●	必	1	必	1	1	別表1を参照す ること
	法式実習2				1	●	必	1	必	1	2		
	法務実習(初級)1				2	●	必	2	必	2	1		
	法務実習(初級)2				2	●	必	2	必	2	2		
	法務実習(中級)1				1	●	必	1	必	1	4		
	法務実習(中級)2				1	●	必	1	必	1	4		
	法務実習(上級)1				1	●	必	1	必	1	6		
	法務実習(上級)2				1	●	必	1	必	1	6		
	法務実習(特級)				1			選		選	7		
	伝道I(念仏講話)				2	●	必	2	必	2	3		
	詠唱1				1	●	必	1	必	1	3		
	詠唱2				1	●	必	1	必	1	3		
	伝道学2				2	●	必	2	必	2	4		

上記単位以外の条件

- 別表1**
- ①必修48単位および選択26単位の計74単位を履修すること
 - ②浄土学若しくは仏教学関連の卒業論文、修士論文を提出し、合格すること
 - ③佛教学を卒業または佛教学大学院を修了すること

取得について
 仏教学科
 日本文学科
 中国学科
 英米学科
 歴史学科
 歴史文化学科
 教育学科
 幼児教育学科
 臨床心理学科
 現代社会学科
 公共政策学科
 社会福祉学科
 浄土宗教師
 浄土宗開教使
 浄土宗社会文化主事
 社会教育主事
 博物館学芸員
 図書館司書
 学校図書館司書教諭
 学校司書
 社会調査士
 グローバルプロジェクトマネージャー
 保育士
 社会福祉士
 精神保健福祉士
 レクリエーション・インストラクター
 レクリエーション・コーディネーター
 社会福祉主事
 日本語教師資格
 GIS学術士

浄土宗開教使

概要



浄土宗教師資格を取得することが必要です

浄土宗開教使課程とは、海外開教の進展をはかるため、有能な浄土宗開教使を養成することを目的とし、浄土宗宗務総長より本学が委託されて開講している課程です。浄土宗開教使として、海外開教に従事しようとする場合、この課程を修了することが望ましいです。

浄土宗開教使養成課程を受講する場合は、学生支援課にて**事前に履修登録の指導**を受けてください。

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

宗定基準	本学基準				備考
科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位
開教概論	開教概論1 (歴史と基礎知識)	2	必	3	4
	開教概論2 (方法と実践)	2	必	4	
キリスト教神学	宗教学概論	2	選	1	4
	宗教史	2	選	1	
	西洋史概論	2	選	1	
英会話	開教英語	2	必	3	4
	Integrated Communication Skills 1	1	選	1	
	Integrated Communication Skills 2	1	選	1	
	初級英語会話1	1	選	1	
	初級英語会話2	1	選	1	
時事英語	世界のニュースから見る日本	2	必	1	2
	英文文	2	選	5	
宗教教育	Academic Writing 1	2	選	5	4
	Academic Writing 2	2	選	5	
	英文法	2	選	3	
	宗教教育論	2	選	3	
書道	視聴覚教育メディア論	2	選	3	4
	生涯学習概論	2	選	2	
	仏教と現代社会の諸問題	2	選	2	
	書道1	2	選	1	
	書道2	2	選	2	
	伝統文化演習 (書道・悉曇)	2	選	4	
	伝統文化演習 (儀礼・音楽)	2	選	4	
音楽	仏教美術1 (東アジア)	2	選	3	4
	美術	2	選	3	
仏教芸術	仏教美術2 (日本)	2	選	4	4
	日本仏教文化1 (古代・中世)	2	選	3	
	日本仏教文化2 (近世・近代)	2	選	4	
詠唱	仏教と文化財	2	選	4	4
	詠唱1	1	選	3	
	詠唱2	1	選	3	
必修8単位、選択18単位以上 計26単位以上履修すること					

認定辞令の授与について

浄土宗教師資格を取得し、浄土宗開教使資格課程の所要単位を修得した者に対し、卒業後、浄土宗宗務庁より認定辞令が授与され、本学より学生本人宛に修了証を送付します (各自で申請する必要はありません)。

浄土宗社会教化主事

概要



浄土宗教師資格を
取得することが必要です

浄土宗社会教化主事とは、現代の社会構造の変化に対応することを目的に、浄土宗の伝道・教化の拡充発展を図るために、設けられた資格です。具体的には専門的学識および実践のうに、社会教化活動の企画、調整、指導および助言などをします。

本学においては、**浄土宗教師資格を取得し、履修科目表に従い、20単位以上を修得した者**に対して、浄土宗宗務総長が認定します。

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

宗定基準		本学基準				備考	
科目	単位	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター		
社会教化概論	4	人権(同和)教育 仏教と現代社会の諸問題	2	必	3	4	
社会教化各論	12	宗教法制	2	必	3	12	必修科目1科目2単位を含み、6科目12単位を選択履修すること
		教育原論	2	選	1		
		教育心理学	2	選	1		
		教育社会学	2	選	1		
		生涯学習概論	2	選	2		
		社会教育特殊講義	2	選	3		
		宗派仏教	2	選	4		
		仏教と文化財	2	選	4		
		仏教キャリア実習	2	選	3		
		仏教と社会貢献	2	選	3		
		仏教の人間観と死生観	2	選	5		
日本の仏教芸術とその鑑賞	2	選	1				
社会教化実習	4	伝道学1(念仏講話)	2	必	3	4	
		伝道学2	2	必	4		
		必修10単位、選択10単位以上 計20単位以上履修すること					

認定辞令の授与について

浄土宗教師資格を取得し、浄土宗社会教化主事資格課程の所要単位を修得した者に対し、卒業後の5月末頃、浄土宗宗務庁より認定辞令が授与され、本学より各寺院宛に認定書を送付します(各自で申請する必要はありません)。

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS学術士

社会教育主事

概要

社会教育主事は、都道府県および市町村の教育委員会の事務局に勤務し、社会教育に関する専門的な指導と助言を行うことを職務とする専門職です。公民館、図書館、博物館といった社会教育施設の職員やPTA、婦人会、青少年団体などの社会教育関係団体の指導者に、社会教育施設のあり方や団体の運営方法、活動方法などについて助言と指導を行います。

養成課程における学習成果を活かし、NPOや企業等の多様な主体と連携・協働して、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されます。

なお、2020年4月より社会教育主事資格課程の所要単位を修得した場合、「社会教育主事」資格取得とともに「社会教育士（養成課程）」と称することが可能となりました。

社会教育実習



注意

資格取得には実習が必要で

社会教育実習は、第3学年以降に実施します。この実習は、学内での事前・事後指導の受講に加え、社会教育施設において4日間程度実施します。

社会教育実習実施に向けて、社会教育施設の概要・事業の立案等に関する演習を受講しておく必要がありますので、「社会教育演習」を実習実施前年度まで、もしくは実習実施当年度の春学期に履修してください。

詳しくは、第2・3学年の春学期オリエンテーション時に行うガイダンスで説明しますので、「春学期オリエンテーション日程表」を確認の上、必ず出席してください。

- 社会教育実習を行うにあたり、実習実施年度に実習費の納入が必要です。

社会教育実習費……7,000円

麻疹に対する抗体確認について

社会教育実習を行うためには、麻疹の抗体検査を受け、「麻疹に対する免疫がある」ことの確認が必要です。

麻疹の抗体検査は医療機関で受けることができますが、毎年1回、学内でも抗体検査を行います。B-netを確認し、受検してください。

修了書の授与について



注意

課程受講料の納入が必要です

参照 p.6「4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」

社会教育主事資格課程の所要単位を修得した場合、社会教育主事としての基礎資格を有する者として、卒業式当日に本学より「社会教育主事資格課程修了書」を授与します。

社会教育主事資格の取得可否は、卒業所要単位充足者発表時に行います。

なお、課程受講料を必要とする学科（I 免許状・資格の取得について「4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」 p.6参照）に所属する場合は、指定期間に課程受講料の納入が必要です。

また、「社会教育士（養成課程）」を称することが必要な場合は、「社会教育主事単位修得証明書」を本学に請求し、任用先に提示してください。

全学部共通 社会教育主事

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法定基準		本学基準					備考
区分	科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位	
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	必	2	4	4科目8単位以上履修すること
		生涯学習概論2	2	必	3	4	
	生涯学習支援論	レクリエーション概論	2	必	3	4	
		男女共同参画論	2	必	3	4	
	社会教育経営論	教育行政学	2	必	1	4	
		NPO 法人マネジメント論	2	必	3	4	
	社会教育特講	教育原論	2	選	1	8	
		教育社会学	2	選	1	8	
		人権(同和)教育	2	選	3	8	
		教育心理学	2	選	1	8	
図書館概論		2	選	3	8		
社会教育実習	博物館学I	2	選	3	8		
	社会教育実習	1	必	5	1		
選択科目	社会教育演習	2	必	5	4		
	社会教育実習	2	必	5	4		
	社会教育課題研究のうち一以上の科目	2	必	3	4		
		必修 17 単位, 選択 8 単位以上 計 25 単位以上履修すること					

取得について
仏教学科
日本文学科
中国学科
英米学科
歴史学科
歴史文化学科
教育学科
幼児教育学科
臨床心理学科
現代社会学科
公共政策学科
社会福祉学科
教育
職
課
程
特別支援学校
教育実習
教職実践演習
介護等体験

浄土宗教師
浄土宗開教使
浄土宗社会教化主事
社会教育主事
博物館学芸員
図書館司書
学校図書館司書教諭
学校司書
社会調査士
グローバルプロジェクトマネジャー
保育士
社会福祉士
精神保健福祉士
レクリエーション・インストラクター
レクリエーション・コーディネーター
社会福祉主事
公認心理師
国家試験受験資格
日本語教師資格
GIS学術士

博物館学芸員

概要

一般的に博物館といわれているものには、歴史・考古・民俗（族）学の博物館、美術館、郷土館、記念館、民芸館のほかに、自然を対象とする自然史博物館、動植物園、天文館、科学館、電気館、水族館があります。博物館は学校教育に対する社会教育機関であり、博物館学芸員は、これら公立・私立の博物館で博物館資料の収集・保管・展示及び調査研究等に従事する研究者であり、教育者です。博物館学芸員の在勤しない施設は、「博物館法」によって公認されないことになっています。

博物館学芸員資格課程では、必要な単位を修得することによって、博物館学芸員になるための基礎資格を取得することができます。博物館学芸員に関する科目は、博物館法で定められています。

博物館学芸員資格取得希望者ガイダンス



博物館学芸員資格取得希望者ガイダンスを、第2・3・4学年の春学期オリエンテーション時に開催します。詳細は、「春学期オリエンテーション日程表」を確認の上、必ず出席してください。

ガイダンスに必ず出席してください

博物館実習・実習登録資格判定



資格取得には実習が必要ですよ

博物館実習は、第4学年の主に7月～9月に博物館や美術館等で5日間以上行います。博物館実習を行うためには、博物館実習登録資格判定科目を第3学年終了時（第6セメスター）までに合格しておく必要があります。判定は3月に行い、結果をB-netにてお知らせします。

判定科目は、以下のとおりです。

【(ア)～(ウ)の条件を全て満たしていること】

- (ア) 「博物館実習講義」、「博物館学Ⅰ」、「博物館学Ⅱ」、「博物館学Ⅲ」の合計4科目7単位を、第3学年終了時まで合格していること
- (イ) 「博物館学Ⅳ」、「博物館学Ⅴ」、「博物館学Ⅵ」のうち2科目4単位を、第3学年終了時まで合格していること
- (ウ) 選択科目4領域（文化史、美術史、考古学、民俗学）のうち、2領域の各2科目（合計4科目）以上を、第3学年終了時まで合格していること

※博物館学芸員資格の取得をめざす大学院生は、(ア)～(ウ)の条件をそれぞれ実習予定年度の前年度までに満たしている必要があります。

博物館実習の履修

博物館実習登録資格判定 (p.68) で合格となった者は、「博物館実習Ⅰ」, 「博物館実習Ⅱ」, 「博物館実習Ⅲ」を履修登録してください (段階履修となります)。

科目名	受講時期	科目の概要
博物館実習Ⅰ	第7セメスター	本学教員の指導による学内実習 (学外での実施もあり)
博物館実習Ⅱ	第7セメスター	実際に博物館や美術館等で行う実習 (主に7月~9月)
博物館実習Ⅲ	第8セメスター	本学教員の指導による学内実習 (学外での実施もあり)

- 博物館実習を行うにあたり, 第4学年に実習費の納入が必要です。詳細は, 「博物館実習Ⅰ」初回講義時に説明します。

博物館実習費……7,000円

麻疹に対する抗体確認について

博物館実習を行うためには, 麻疹の抗体検査を受け, 「麻疹に対する免疫がある」ことの確認が必要です。

麻疹の抗体検査は医療機関で受けることができますが, 毎年1回, 学内でも抗体検査を行います。B-netを確認し, 受検してください。

修了書の授与について



注意

課程受講料の納入が必要です

参照 p.6 「4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」

博物館学芸員資格課程の所定の単位を修得した場合, 博物館学芸員としての基礎資格を有する者として, 卒業式当日に本学より「博物館学芸員資格課程修了書」を授与します。

博物館学芸員資格取得可否は, 卒業所要単位充足者発表時に行います。

なお, 課程受講料を必要とする学科 (I 免許状・資格の取得について「4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」 p.6参照) に所属する場合は, 指定期間に課程受講料の納入が必要です。

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は, すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

区分	法定基準		本学基準				備考	
	科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位		
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	必	2	2	「博物館実習Ⅰ」, 「博物館実習Ⅱ」, 「博物館実習Ⅲ」は段階履修すること。 ※実習登録資格判定 (p.68) に注意すること。	
	博物館概論	博物館学Ⅰ	2	必	3	12		
	博物館経営論	博物館学Ⅱ	2	必	4			
	博物館資料論	博物館学Ⅲ	2	必	5			
	博物館資料保存論	博物館学Ⅳ	2	必	3			
	博物館展示論	博物館学Ⅴ	2	必	4			
	博物館教育論	博物館学Ⅵ	2	必	5			
	博物館実習	博物館実習講義	1	必	6	4		
		博物館実習Ⅰ	1	必	7			
		博物館実習Ⅱ	1	必	7			
	博物館実習Ⅲ	1	必	8				
	博物館情報・メディア論	視聴覚教育メディア論	2	必	3	2		
選択科目	領域	文化史	日本史概論	2	選	1	文化史, 美術史, 考古学, 民俗学の4領域のうちの3領域以上にわたって履修し, 各領域につき4単位以上, 計12単位以上を履修すること。	
			日本思想史	2	選	3		
			日本文化史	2	選	4		
			東洋史概論	2	選	1		
			東北アジア史	2	選	4		
			東洋文化史	2	選	3		
			東洋思想史	2	選	4		
			西洋史概論	2	選	1		
			西洋文化史	2	選	4		
			西洋思想史	2	選	3		
			美術史	芸術史	2	選		3
				芸術文化概論	2	選		2
				考古学	2	選		4
			文化財学	文化財学特論	2	選		3
民俗学	2	選		3				
民俗学	民俗学	2	選	3				
	民俗文化概論	2	選	2				
必修20単位, 選択12単位以上 計32単位以上履修すること								

図書館司書

概要

図書館司書とは、地方公共団体の設置する公立図書館、または法人の設置する私立図書館において、図書資料の収集、整理、保管等の専門事務に従事する専門職のことです。

図書館司書資格は、大学において図書館に関する科目を履修した者（図書館法第5条第1項第1号）に授与されます。

図書館司書資格課程では、必要な単位を修得することによって、図書館司書になるための基礎資格を取得することができます。

図書館司書に関する科目は文部科学省令で定められています。

【図書館司書採用試験の受験を検討している方へ】

「図書館実習」・「図書館基礎特論」を必ず受講してください。採用にあたっては、実習を履修していることが望ましく、採用面接でも実習について尋ねられる場合があります。

図書館司書資格取得希望者ガイダンス



ガイダンスに必ず出席してください

図書館司書資格取得希望者ガイダンスを、第2・3学年の春学期オリエンテーション時に開催します。詳細は、「春学期オリエンテーション日程表」で確認してください。このガイダンスで図書館司書資格取得に向けた履修全般について説明を行いますので、必ず出席してください。

履修上の注意



望ましい履修の順序があります

- 「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」は、「情報サービス論」を合格済でなければ履修登録できません。
- 「情報資源組織演習1」「情報資源組織演習2」は、「情報資源組織論」を合格済でなければ履修登録できません。
- 「情報サービス演習2」は、「情報サービス演習1」を合格後に履修することが望ましい（詳しくは、シラバスを確認すること）。
- 「情報資源組織演習2」は、「情報資源組織演習1」を合格後に履修することが望ましい（詳しくは、シラバスを確認すること）。
- 図書館司書資格科目のうち、**事前申請が必要な科目があります**。詳細は、ガイダンスで配付する資料を確認してください。

図書館実習・実習登録資格判定

図書館実習は、第4学年に公共図書館を原則として5日間程度行います（選択科目のため希望者のみ）。図書館の経営やサービスについて、実地に則して学習します。

図書館実習を行うためには、「図書館実習ガイダンス」（第3学年秋学期開催）に出席し、ガイダンスの説明に基づいて図書館実習申込み手続きを行い、図書館実習登録資格判定科目（以下11科目）を第3学年終了時（第6セメスター）までに合格しておく必要があります。判定は3月に行い、結果をB-netにてお知らせします。

図書館実習登録資格判定科目（11科目）

- 「生涯学習概論」
- 「図書館概論」
- 「図書館情報技術論」
- 「図書館制度・経営論」
- 「図書館サービス概論」
- 「情報サービス論」
- 「児童サービス論」
- 「情報サービス演習1」
- 「図書館情報資源概論」
- 「情報資源組織論」
- 「情報資源組織演習1」

※なお、公共図書館と学校図書館との連携の視点から、学校図書館に関する以下の科目を履修していることが望ましい。

- 「学校経営と学校図書館」
- 「学校図書館メディアの構成」
- 「学習指導と学校図書館」
- 「読書と豊かな人間性」
- 「情報メディアの活用」

図書館実習の履修

図書館実習登録資格判定 (p.70) で合格となった者は、第7セメスターに「図書館基礎特論」, 「図書館実習」を履修登録してください。

科目名	受講時期	科目の概要
図書館基礎特論	第7セメスター	講義科目 (事前指導)
図書館実習	第7セメスター	実習および事後指導

- 図書館実習を行うにあたり、第4学年に実習費の納入が必要です。詳細は、「図書館基礎特論」初回講義時に説明します。

図書館実習費……7,000円

麻疹に対する抗体確認について

図書館実習を行うためには、麻疹の抗体検査を受け、「麻疹に対する免疫がある」ことの確認が必要です。

麻疹の抗体検査は医療機関で受けることができますが、毎年1回、学内でも抗体検査を行います。B-netを確認し、受検してください。

修了書の授与について



注意

課程受講料の納入が必要です

図書館司書資格課程の所要単位を修得した場合、図書館司書としての基礎資格を有する者として、卒業式当日に本学より「図書館司書資格課程修了書」を授与します。

図書館司書資格の取得可否は、卒業所要単位充足者発表時に行います。

なお、課程受講料を必要とする学科 (I 免許状・資格の取得について「4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」 p.6参照) に所属する場合は、指定期間に課程受講料の納入が必要です。

参照 p.6 「4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

区分	法定基準		本学基準					備考
	科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位		
甲群	基礎科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	必	2	2	「情報サービス論」を履修済でなければ、「情報サービス演習1」「情報サービス演習2」は履修登録できません。 「情報資源組織論」を履修済でなければ、「情報資源組織演習1」「情報資源組織演習2」は履修登録できません。 「情報サービス演習1」を履修後、「情報サービス演習2」を履修することが望ましい。 「情報資源組織演習1」を履修後、「情報資源組織演習2」を履修することが望ましい。 2科目以上かつ2単位以上を選択履修することただし、「図書館実習」を履修するには、「図書館基礎特論」を合わせて履修すること 図書館実習を履修する場合は、実習登録判定 (p.70) に注意すること
		図書館概論	図書館概論	2	必	3	2	
		図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必	3	2	
		図書館制度・経営論	図書館制度・経営論	2	必	3	2	
	図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	図書館サービス概論	2	必	3	2	
		情報サービス論	情報サービス論	2	必	3	2	
		児童サービス論	児童サービス論	2	必	3	2	
		情報サービス演習	情報サービス演習1	2	必	5	2	
			情報サービス演習2	2	必	5	2	
			情報サービス演習2	2	必	5	2	
乙群	図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必	3	2	
		情報資源組織論	情報資源組織論	2	必	3	2	
		情報資源組織演習1	情報資源組織演習1	2	必	5	2	
		情報資源組織演習2	情報資源組織演習2	2	必	5	2	
乙群	図書・図書館史	図書・図書館史	2	選	3	2科目以上かつ2単位以上を選択履修することただし、「図書館実習」を履修するには、「図書館基礎特論」を合わせて履修すること 図書館実習を履修する場合は、実習登録判定 (p.70) に注意すること		
	図書館情報資源特論	図書館情報資源特論	2	選	3			
	図書館施設論	本学基準授業科目設定なし						
	図書館サービス特論	図書館サービス特論	2	選	3			
	図書館総合演習	図書館総合演習	2	選	5			
	図書館基礎特論	図書館基礎特論	1	選	7			
図書館実習	図書館実習	1	選	7				
			必修 26 単位、選択 2 科目以上かつ 2 単位以上 計 28 単位以上履修すること					

学校図書館司書教諭

概要

「学校図書館法」では、学校図書館の専門的職務を担う教員として、「司書教諭」を学校に置くこととしています。司書教諭は、教諭として採用された者が学校司書とともに学校図書館経営を行います。司書教諭の主な役割として他の教職員に対する啓蒙（学校図書館の意義や機能の理解浸透）や、子どもの探究学習や読書活動の支援が挙げられます。

学校図書館司書教諭資格は、小学校・中学校・高等学校又は特別支援学校のいずれかの教育職員免許状を取得するとともに、所定の機関で司書教諭講習を受講する必要があります。

しかし、大学で文部科学省の講習に相当する単位を修得することにより（「学校図書館司書教諭講習規程」第3条第2項）、実際には講習に参加することなく、修了証書の申請（講習への書類参加）が可能となります。

履修上の注意



注意

教育職員免許状の取得が必要です

- 資格取得希望者は、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校のいずれかの教育職員免許状の取得が必要です（通信教育課程との免許併修による取得も含む）。
なお、幼稚園教諭一種免許状を基礎資格とすることはできません。
- 学校図書館司書教諭資格課程の科目は第2学年より履修登録でき、すべての科目を修得した翌年度より修了証書の申請が可能となります。ただし、教育職員免許状取得に関しての教育実習実施資格判定（pp.53-55）に必要な科目の履修を考え、計画的な学習が必要です。

修了証書の申請について



注意

修了証書の申請が必要です

修了証書の効力は教育職員免許状を取得した時点から生じます

学校図書館司書教諭資格は、小学校・中学校・高等学校又は特別支援学校のいずれかの教育職員免許状を取得するとともに、所定の機関で学校図書館司書教諭講習を受講する必要がありますが、**本学で文部科学省の講習に相当する単位（下表の5科目10単位）を修得し、かつ、以下の①②のいずれかに該当する者は、実際には講習に参加することなく、修了証書の申請が可能となります。**

- ①小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の教育職員免許状を有する者
- ②大学に2年以上在学する学生で62単位以上を修得した者

申請時期は文部科学省が定める時期（例年5月頃）のみであり、申請方法についてはB-netにてお知らせします（卒業生の方には、卒業後の5月頃に申請書類を送付します）。申請は本学が取りまとめを行い、申請手続きを行った翌年3月頃、文部科学省より修了証書が授与されます。

なお、**教育職員免許状の取得前に修了証書の授与を受けた場合でも、修了証書の効力は、教育職員免許状（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校のいずれか）を取得した時点から生じるもの**となるので注意してください。

また、申請にあたっては手数料の納入、課程受講料（p.6）を必要とする学科については、申請時に課程受講料の納入が必要となります。

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法定基準	本学基準					備考
	科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館	2	必	3	2	
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2	必	3	2	
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館	2	必	3	2	
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必	3	2	
情報メディアの活用	情報メディアの活用	2	必	3	2	
	必修10単位履修すること					

学校司書

概要

「学校司書」とは、専門的な知識・技能を持って、学校図書館の運営に従事するとともに、学校図書館を活用した授業やその他の教育活動を司書教諭や教員とともに進めます。

平成26年に学校図書館法が一部改正され、学校には、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員として学校司書を置くよう努めなければならない旨が規定されました。

本学でも、平成30年度より学校司書に関する課程を開設し、指定の科目を履修することで学校司書の履修証明が可能になりました。

履修上の注意



注意

事前申請が必要な科目があります
課程受講料の納入が必要です

- 「情報サービス演習1」は、「情報サービス論」を合格済でなければ履修登録できません。
 - 「情報資源組織演習1」「情報資源組織演習2」は、「情報資源組織論」を合格済でなければ履修登録できません。
 - 「情報資源組織演習2」は、「情報資源組織演習1」を合格後に履修することが望ましい（詳しくは、シラバスを確認すること）。
- 学校司書資格の所要単位の修得の可否は、卒業所要単位充足者発表時に行います。
- 事前申請が必要な科目**があります。詳細はガイダンスで配付する資料を確認してください。

なお、課程受講料を必要とする学科（I免許状・資格の取得について「4.教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」p.6参照）に所属する場合は、指定期間に課程受講料の納入が必要です。

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

区分	モデルカリキュラムにおける科目名	本学基準					備考
		授業科目	単位	必修・選択別	履修開始semester	最低修得単位	
学校図書館の運営・管理・サービスに関する科目	学校図書館概論	学校経営と学校図書館	2	必	3	2	
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	必	3	2	
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論	2	必	3	2	
	情報資源組織論	情報資源組織論	2	必	3	2	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習1	2	必	5	2	
		情報資源組織演習2	2	必	5	2	
	学校図書館サービス論	図書館サービス特論	2	必	3	2	
	学校図書館情報サービス論	情報サービス論	2	必	3	2	
		情報サービス演習1	2	必	5	2	
	児童生徒に対する教育支援に関する科目	学校教育概論	教育原論	2	必	1	2
		教育心理学	2	必	1	2	
		特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	必	3	1	
		幼児教育・保育課程論	2	選	2	2	1科目2単位を選択履修すること
		学校教育課程論	2	選	3		
学習指導と学校図書館		学習指導と学校図書館	2	必	3	2	
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性	2	必	3	2		
		必修27単位、選択2単位以上 計29単位以上履修すること					

社会調査士

概要

社会調査士とは、社会調査に関する基礎的な知識・技能、相応の応用力と倫理観を身につけた人材のことです。

今日、変動の激しい、多極化・複雑化の進む社会的現実をとらえ、生起するさまざまな社会問題への対応と解決を図っていくうえで、社会調査は不可欠の方法となってきたと考えられます。社会調査士は、こうした社会調査の高まる重要性に応えることを狙いとし、一般社団法人社会調査協会より与えられる資格です。

社会調査士資格課程では、必要な単位を修得することによって、一般社団法人社会調査協会から社会調査士の資格認定を受ける基礎資格を取得することができます。なお、社会調査士資格には、在学時に取得できる「社会調査士（キャンディデイト）」資格と、卒業後に取得できる正規の「社会調査士」資格があります。

履修上の注意



注意
履修登録するには条件があります

- 第2学年終了時まで、A～Dの各領域に対応した科目のうち3科目以上の単位を修得していない場合は、「調査研究演習1」、「調査研究演習2」及び「調査研究演習3」の履修はできません。

領域	科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始semester	取得単位
A	社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査論1	2	必	3	2
B	調査設計と実施方法に関する科目	社会調査論2	2	必	4	2
C	基本的な資料とデータの分析に関する科目	基礎統計学1	2	必	3	2
D	社会調査に必要な統計学に関する科目	基礎統計学2	2	必	4	2
E	多変量解析の方法に関する科目	社会調査法演習1	2	選	5	2
F	質的な調査と分析の方法に関する科目	社会調査法演習2	2	選	5	2
G	社会調査を実際に経験し学習する科目	調査研究演習1	2	必	5	5
		調査研究演習2	2	必	6	6
		調査研究演習3	1	必	5	5
		必修13単位、選択2単位以上				
		計15単位以上履修すること				

3科目以上の単位を修得していることで調査研究演習1, 2, 3の履修が可能

- 「調査研究演習1」、「調査研究演習2」及び「調査研究演習3」は、履修年度の春学期オリエンテーション時に行う事前登録説明会に出席し、登録にあたっての指示を受けなければ履修登録はできません。
- 社会調査士（キャンディデイト）資格は、以下の条件を全て満たしたものが申請できます。
 - ①3年生以上であること。
 - ②A～Dの各領域に対応した科目を3科目以上修得していること。
 - ③E/F領域のいずれか1科目とG領域の「調査研究演習1」および「調査研究演習3」を履修中であること。

資格認定の申請手続きについて

「社会調査士（キャンディデイト）」資格、もしくは正規の「社会調査士」資格の所要単位を修得した場合、一般社団法人社会調査協会に資格認定を受けるための申請をすることができます。

また、在学時に「社会調査士（キャンディデイト）」資格を申請し、卒業時に正規の「社会調査士」資格に変更申請することも可能です。

各申請手続きに関しては、B-netにてお知らせします（申請にあたっては手数料の納入が必要です）。

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

指定カリキュラム		本学基準					備考
領域	科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始semester	最低取得単位	
A	社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査論1	2	必	3	2	(1)「社会調査法演習1」または「社会調査法演習2」のいずれか2単位を修得すること (2)「調査研究演習1」、「調査研究演習2」及び「調査研究演習3」を登録履修するには、A～D領域から、3科目以上修得すること
B	調査設計と実施方法に関する科目	社会調査論2	2	必	4	2	
C	基本的な資料とデータの分析に関する科目	基礎統計学1	2	必	3	2	
D	社会調査に必要な統計学に関する科目	基礎統計学2	2	必	4	2	
E	多変量解析の方法に関する科目	社会調査法演習1	2	選	5	2	
F	質的な調査と分析の方法に関する科目	社会調査法演習2	2	選	5	2	
G	社会調査を実際に経験し学習する科目	調査研究演習1	2	必	5	5	
		調査研究演習2	2	必	6	6	
		調査研究演習3	1	必	5	5	
		必修13単位、選択2単位以上					
		計15単位以上履修すること					

グローバルプロジェクトマネジャー (GPM) 資格プログラム

概要

グローバル*プロジェクトマネジャー (GPM) 資格は、グローバルな視点で物事を考える能力と、地域経済・地域社会 (ローカル) の持続的発展を支える公共マインドを兼ね備えた人材=「グローバル人材」に与えられる職能資格です。

この資格は、地域問題の解決のために、地方公共団体、NPO、ボランティアなどの地域資源をコーディネートする能力を持った人材に与えられる職能資格プログラムである「初級地域公共政策士」プログラムを含んでいます。

地域社会に重点をおいて活動する「初級地域公共政策士」プログラムでの学びにもとづき、企業との連携に重点をおいて活動する「GPM」プログラムで学び、資格を取得します。

3年生終了時に「初級地域公共政策士」と「GPM」の二つの資格を取得することで、就職活動に臨むことができます。

*グローバル：GLOCAL = GLOBAL + LOCAL

履修上の注意

GPM資格プログラムを修了するには、必修科目10単位、選択科目4単位以上を修得する必要があります。その内、「グローバル人材PBL」を除く、必修科目8単位、選択科目4単位以上の修得が初級地域公共政策士プログラムの修了に必要です。

「プロジェクト演習」「京都の産業」「グローバル人材PBL」には事前選考があります。詳しくは社会学部実習室に問い合わせください。

「グローバル人材PBL」の履修要件として、「プロジェクト演習」と「京都の産業」を修得または履修中であることが必要です。

「グローバル人材PBL」を履修せず初級地域公共政策士プログラムのみで修了した場合、地域公共人材開発機構へ申請することにより、初級地域公共政策士を取得することも可能です。

資格認定の申請手続きについて



注意

課程受講料の納入が必要です

参照 p.6 「4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」

GPM資格プログラムの所要単位を取得した場合、特定非営利活動法人グローバル人材開発センター (略称：グローバルセンター) に資格認定を受けるための申請をすることができます。申請手続きや申請料に関しては、B-netにてお知らせします。

なお、課程受講料を必要とする学科 (I 免許状・資格の取得について「4. 教育職員免許状および資格を取得するにあたっての課程受講料」 p.6参照) に所属する場合は、指定期間に課程受講料の納入が必要です。

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

授 業 科 目	本 学 基 準				備 考
	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位	
コミュニケーションと社会	2	必	3	2	A群・B群から各1科目以上を含み、2科目4単位以上を選択履修
グローバル化論	2	必	3	2	
プロジェクト演習	2	必	3	2	
京都の産業	2	必	3	2	
A群 共生の社会学	2	選	3	4	
異文化理解	2	選	3		
地域経済論	2	選	3		
B群 中小企業論	2	選	3		
NPO 法人マネジメント論	2	選	3		
グローバル人材PBL	※ 2	必	5	2	
必修 10 単位、選択 4 単位以上 計 14 単位以上履修すること					

※「グローバル人材PBL」の履修要件として、「プロジェクト演習」と「京都の産業」を修得または履修中であることが必要です。

保育士

概要

保育士とは、登録を受け、保育士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者です（児童福祉法第18条の4）。都市化、核家族化の進展に伴い、子育ての基盤となる家庭の機能が低下している中で児童の豊かな発達を図るためには、児童福祉施設のみならず家庭でも適切な保育が行われる必要があることから、保護者に対して保育に関する指導を行うことが新たに保育士の仕事に位置付けられました。保育士養成は、厚生労働大臣の指定する保育士を養成する学校その他の施設を卒業した者で、厚生労働大臣の定める修業科目及び単位数を有し、かつ厚生労働大臣の定める方法により履修した者に保育士登録の資格を与えるものです（児童福祉法第18条の6、第18条の18）。

履修上の注意



注意

履修するには
選考があります

- 保育士課程履修希望者は、オリエンテーション時の保育士資格取得希望者履修ガイダンスへの出席が必要です。
- 保育士資格課程履修者は、共通教養科目の「スポーツ理論」1単位、「スポーツ実技」1単位を履修してください。
- 社会福祉学科の保育士課程の定員は、120名です。第1学年次春学期終了時に選考試験を実施します。

保育実習の実施・実習費について

実習種別	実習時期	必・選	単位数	実習日数・時間数	実習費
保育実習1A【保育所】	第3学年秋学期	必修	2	配属実習（10日間80時間以上） 事後指導（10時間以上）※	22,000円
保育実習1B【施設】	第3学年秋学期	必修	2	配属実習（10日間80時間以上） 事後指導（10時間以上）※	22,000円
保育実習2【保育所】	第4学年	選択	2	配属実習（10日間80時間以上） 事後指導（10時間以上）※	22,000円
保育実習3【施設】	第4学年	選択	2	配属実習（10日間80時間以上） 事後指導（10時間以上）※	22,000円

※事後指導は実習の省察・評価を行う。

修了書の授与について



「修了書」は「保育士証」ではありません

保育士資格課程の所要単位を修得した場合には、保育士としての基礎資格を有する者として、卒業時に本学より「保育士登録資格課程修了書」を授与します。保育士登録資格の取得可否は、卒業所要単位充足者発表時に行います。

ただし、修了書だけでは、保育士として勤務することはできません。保育士登録手続き（下記参照）が必要です。

保育士登録手続きについて



説明会への参加が必要です

保育士は、各都道府県の保育士登録簿に登録しなければ、所定単位を修得し、卒業した者であってもその名称を使用することができません（保育士として勤務することができません）。

本学では、一括して登録事務処理センターあてに申請手続きを代行しますので、下記の順序にしたがって手続きをしてください。なお、申請にあたっては手数料の納入が必要です。詳細は、B-netにてお知らせします。

- ① 9月下旬：卒業年次生を対象に保育士登録申請手続き説明会を実施し、登録申請書を配付します。
- ② 10月中旬：手数料を納入のうえ、登録申請書を免許・資格課に提出してください。提出された申請書は本学が一括して、登録事務処理センターへ送付します。
- ③ 4月上旬：登録事務処理センターより登録申請者へ「保育士登録済通知書」が送付されます。
- ④ 6月以降：登録事務処理センターより登録申請者へ「保育士証」が送付されます。

幼児教育学科 保育士

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

区分	法 定 基 準		本 学 基 準				備考		
	系 列	教 科 目	授 業 科 目	単 位	必修・選択別	履修開始セメスター		最低修得単位	
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理（講義）	保育原理	2	必	1	2		
		教育原理（講義）	教育原論	2	必	1	2		
		子ども家庭福祉（講義）	子ども家庭福祉	2	必	2	2		
		社会福祉（講義）	社会福祉援助技術論1	2	必	3	2		
		子ども家庭支援論（講義）	子ども家庭支援論	2	必	5	2		
		社会的養護Ⅰ（講義）	社会的養護Ⅰ	2	必	3	2		
	保育の対象の理解に関する科目	保育者論（講義）	保育者論	2	必	2	2		
		保育の心理学（講義）	教育心理学	2	必	1	2		
		子ども家庭支援の心理学（講義）	子ども家庭支援の心理学	2	必	3	2		
		子どもの理解と援助（演習）	幼児理解及び保育相談	2	必	3	2		
		子どもの保健（講義）	子どもの保健	2	必	3	2		
		子どもの食と栄養（演習）	子どもの食と栄養	2	必	5	2		
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価（講義）	幼児教育・保育課程論	2	必	2	2		
		保育内容総論（演習）	保育の内容及び方法	2	必	3	2		
		保育内容演習（演習）	保育内容の理論と方法「健康」	2	必	3	14		
		保育内容の理解と方法（演習）	保育内容の理論と方法「人間関係」	2	必	3			
			保育内容の理論と方法「環境」	2	必	3			
			保育内容の理論と方法「言葉」	2	必	3			
			保育内容の理論と方法「音楽表現」	2	必	3			
			保育内容の理論と方法「造形表現」	2	必	3			
			保育内容の理論と方法「身体表現」	2	必	3			
			乳児保育Ⅰ（講義）	乳児保育Ⅰ	2	必	3		2
			乳児保育Ⅱ（演習）	乳児保育Ⅱ	1	必	5		1
			子どもの健康と安全（演習）	子どもの健康と安全	1	必	5		1
			障害児保育（演習）	障害児保育	2	必	3		2
			社会的養護Ⅱ（演習）	社会的養護Ⅱ	1	必	5		1
		保育実習	子育て支援（演習）	子育て支援	1	必	3		1
保育実習Ⅰ（実習）	保育実習ⅠA		2	必	6	4			
	保育実習ⅠB		2	必	6				
保育実習指導Ⅰ（演習）	保育実習指導Ⅰ（事前）		1	必	5	2			
	保育実習指導Ⅰ（事後）	1	必	6					
総合演習	保育実践演習（演習）	保育・教職実践演習（教諭）	2	選	8	2			
		保育実践演習	2	選	8				
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目		教育行政学	2	選	1	6		
			教育社会学	2	選	3			
			比較教育学	2	選	3			
	保育の対象の理解に関する科目		臨床教育学	2	選	3			
			発達心理学	2	選	3			
			特別な教育的ニーズの理解とその支援	1	選	3			
	保育の内容・方法に関する科目		ピアノ指導Ⅰ	1	選	1			
			ピアノ指導Ⅱ	1	選	2			
			ピアノ指導Ⅲ	1	選	3			
			ピアノ指導Ⅳ	1	選	4			
			ピアノ指導Ⅴ	1	選	4			
	保育実習	保育実習Ⅱ（実習）	保育実習Ⅱ	2	選	7	3		
保育実習指導Ⅱ（演習）		保育実習指導Ⅱ	1	選	7				
保育実習Ⅲ（実習）		保育実習Ⅲ	2	選	7				
保育実習指導Ⅲ（演習）		保育実習指導Ⅲ	1	選	7				
最低修得単位			必修56単位、選択11単位以上 計67単位以上履修すること						

いずれか2単位を選択必修
(科目登録については下記参照)

6単位以上履修すること

「保育実習2」・「保育実習指導2」または「保育実習3」・「保育実習指導3」のいずれか3単位以上選択必修

※上記科目以外に、共通教養科目の「スポーツ理論」1単位、「スポーツ実技」1単位の単位修得が必要です。

- 「保育実践演習（演習）」の履修について
原則、「保育・教職実践演習（教諭）」を履修すること。

実習実施条件（幼児教育学科）

実習科目を履修するためには、以下の科目を履修済であることが必要です。

各自、『履修要項』を確認し、必ず履修してください。

幼児教育学科

授 業 科 目	単 位	条 件
保育原理	2	第2学年終了時（第4セメスター）までに合格していること。ただし、第2学年終了時（第4セメスター）において、教育実習実施資格判定科目に合格し、幼稚園教育実習を第3学年時に実施する場合に限り、第3学年終了時（第6セメスター）までの合格でも差し支えない。
子ども家庭福祉	2	
教師・保育者論	2	
社会的養護Ⅰ	2	
子どもの保健	2	
乳児保育Ⅰ	2	

社会福祉学科 保育士

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

区分	法定基準		本学基準				備考		
	系列	教科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター		最低修得単位	
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理（講義）	保育原理	2	必	2	2		
		教育原理（講義）	教育原理	2	必	1	2		
		子ども家庭福祉（講義）	児童・家庭福祉論	2	必	2	2		
		社会福祉（講義）	社会福祉原論	2	必	2	2		
		子ども家庭支援論（講義）	子ども家庭支援論	2	必	5	2		
		社会的養護I（講義）	社会的養護1	2	必	3	2		
	保育の対象の理解に関する科目	保育者論（講義）	保育者論	2	必	3	2		
		保育の心理学（講義）	保育の心理学	2	必	1	2		
		子ども家庭支援の心理学（講義）	子ども家庭支援の心理学	2	必	3	2		
		子どもの理解と援助（演習）	子どもの理解と援助	1	必	3	1		
		子どもの保健（講義）	子どもの保健	2	必	3	2		
		子どもの食と栄養（演習）	子どもの食と栄養	2	必	5	2		
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価（講義）	保育の計画と評価	2	必	5	2		
		保育内容総論（演習）	保育内容総論	1	必	3	1		
		保育内容演習（演習）	保育内容演習「健康」	保育内容演習「健康」	1	必	3		5
			保育内容演習「人間関係」	保育内容演習「人間関係」	1	必	3		
			保育内容演習「環境」	保育内容演習「環境」	1	必	3		
			保育内容演習「言葉」	保育内容演習「言葉」	1	必	3		
			保育内容演習「表現」	保育内容演習「表現」	1	必	3		
		保育内容の理解と方法（演習）	保育内容の理解と方法「音楽表現」	1	必	2	4		
		保育内容の理解と方法「造形表現」	1	必	3				
		保育内容の理解と方法「身体表現」	1	必	2				
	保育内容の理解と方法「児童文化」	1	必	3					
保育実習	乳児保育I（講義）	乳児保育1	2	必	3	2			
	乳児保育II（演習）	乳児保育2	1	必	5	1			
	子どもの健康と安全（演習）	子どもの健康と安全	1	必	3	1			
	障害児保育（演習）	障害児保育	2	必	3	2			
	社会的養護II（演習）	社会的養護2	1	必	5	1			
	子育て支援（演習）	子育て支援	1	必	3	1			
	保育実習I（実習）	保育実習1A	保育実習1A	2	必	6	4		
		保育実習1B	保育実習1B	2	必	6			
保育実習指導（演習）	保育実習指導1（事前）	保育実習指導1（事前）	1	必	5	2			
	保育実習指導1（事後）	保育実習指導1（事後）	1	必	6				
総合演習	保育実践演習（演習）	保育実践演習	2	必	8	2			
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目	現代の社会問題とアクション	現代の社会問題とアクション	2	選	1	6単位以上履修すること		
		福祉とケアの倫理	福祉とケアの倫理	2	選	1			
		人権と福祉	人権と福祉	2	選	1			
	保育の対象の理解に関する科目	教育心理学	教育心理学	2	選	1			
		発達心理学	発達心理学	2	選	3			
		障害児臨床論	障害児臨床論	2	選	3			
	保育の内容・方法に関する科目	子どもの権利演習	子どもの権利演習	2	選	3			
		音楽演習1	音楽演習1	2	選	3			
		音楽演習2	音楽演習2	1	選	4			
		保育実習II（実習）	保育実習2	2	選	7			
保育実習指導（演習）	保育実習指導2	保育実習指導2	1	選	7				
	保育実習III（実習）	保育実習3	2	選	7				
	保育実習指導III（演習）	保育実習指導3	1	選	7				
		必修51単位、選択9単位以上 計60単位以上履修すること							

※上記科目以外に、共通教養科目の「スポーツ理論」1単位、「スポーツ実技」1単位の単位修得が必要です。

実習実施条件（社会福祉学科）

実習科目を履修するためには、実習実施前年度までに以下の科目を合格していることが必要です。

各自、『履修要項』を確認し、必ず履修してください。

社会福祉学科

授業科目	単位
現代の社会問題とアクション	2
福祉とケアの倫理	2
人権と福祉	2
保育原理	2
児童・家庭福祉論	2
保育者論	2
保育の心理学	2
子どもの保健	2

取得について
仏教学科
日本文学科
中国学科
英米学科
歴史学科
歴史文化学科
教育学科
幼児教育学科
臨床心理学科
現代社会学科
公共政策学科
社会福祉学科
教育実習
教職実践演習
介護等体験

浄土宗教師
浄土宗開教使
浄土宗社会教化主事
社会教育主事
博物館学芸員

図書館司書
学校図書館司書教諭
学校司書

社会調査士
グローバルプロジェクトマネージャー

保育士

社会福祉士
精神保健福祉士

レクリエーション・インストラクター
レクリエーション・マネージャー

社会福祉主事
公認心理師
国家試験受験資格

日本語教師資格
GIS学術士

社会福祉士国家試験受験資格

概要

社会福祉士とは、「(前略) 専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者（第四十七条において「福祉サービス関係者等」という。）との連絡及び調整その他の援助を行うこと（第七条及び第四十七条の二において「相談援助」という。）を業とする者」（社会福祉士及び介護福祉士法第二条第一項）であり、相談援助がその主務です。

この資格を得るためには、受験資格を得て、毎年2月上旬頃実施される国家試験に合格し、登録を受ける必要があります。

社会福祉士国家試験受験資格は、社会福祉学部社会福祉学科において、**在学中**に社会福祉士国家試験受験資格課程の単位を修得した者が、「社会福祉士及び介護福祉士法」（第7条第1項）に基づき、得ることができます。

履修上の注意



注意

選考試験に合格しなければ履修できません

社会福祉士国家試験受験資格課程は選考試験に合格した者のみ履修ができます。選考試験および授業科目の履修登録については、学科が実施するガイダンスにて説明を行うので、必ず出席してください。

※「社会福祉士国家試験受験資格課程の履修に関する内規」及び「佛教大学社会福祉学部「ソーシャルワーク実習等履修者選考試験」の取り扱いに関する内規」に従って履修方法等の説明が行われます。また、「ソーシャルワーク実習1・2」、「ソーシャルワーク実習指導1・2・3」の履修に際しては、選考試験が実施されます。ガイダンスに欠席した場合は履修ができなくなるので注意してください。

ソーシャルワーク実習の実施・実習費について

実習種別	実習時期	単位数	実習日数	実習時間数	実習費
ソーシャルワーク実習1	第2学年秋学期	2	8日間	60時間以上	36,000円
ソーシャルワーク実習2※	第3学年秋学期	4	24日間	180時間以上	61,000円

※社会福祉士国家試験受験資格と保育士資格同時取得者については、第4学年での実習となります。

社会福祉士国家試験の受験申し込みについて



説明会

説明会への参加が必要です

卒業年次において社会福祉士国家試験受験資格課程の所要単位を修得見込みの場合は、社会福祉士国家試験受験の申し込みができます。

本学では、一括して社会福祉振興・試験センター（以下、試験センター）あての受験申し込み手続きを代行しますので、下記の順序にしたがって手続きをしてください。詳細はB-netにてお知らせします。

※手続きの流れは2025年度実績に基づいています。試験センター側の手続き形態等に変更がある場合対象者には改めて手続きの流れをお知らせします。

- ① 9月中旬：卒業年次の秋学期オリエンテーション時に社会福祉士国家試験受験申し込み手続き説明会を実施し、受験申込書類を配付します。
- ② 9月下旬：受験手数料を払い込みのうえ受験申込書類を免許・資格課に提出します。提出された申込書は本学より一括で試験センターへ送付します。
- ③ 12月中旬：試験センターより受験票が受験申込者あてに送付されます。

社会福祉学科 社会福祉士国家試験受験資格

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 **社会福祉学科**

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法定基準 指定科目	本学基準					備考
	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位	
医学概論	医学概論	2	必	5	2	
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	2	必	3	2	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2	必	3	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策 1	2	必	7	4	
	社会福祉の原理と政策 2	2	必	8		
社会保障	社会保障論 1	2	必	3	4	
	社会保障論 2	2	必	4		
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	必	5	2	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制 1	2	必	3	4	
	地域福祉と包括的支援体制 2	2	必	4		
高齢者福祉	高齢者福祉論	2	必	2	2	
障害者福祉	障害児者福祉論	2	必	2	2	
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉論	2	必	2	2	
貧困に対する支援	貧困に対する支援	2	必	3	2	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	2	必	3	2	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	必	5	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	必	1	2	
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2	必	2	2	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法 1	2	必	3	4	
	ソーシャルワークの理論と方法 2	2	必	4		
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法 3	2	必	5	4	
	ソーシャルワークの理論と方法 4	2	必	7		
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	必	3	2	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	2	必	5	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	2	必	3	2	
ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習（専門） 1	2	必	4	8	
	ソーシャルワーク演習（専門） 2	2	必	5		
	ソーシャルワーク演習（専門） 3	2	必	7		
	ソーシャルワーク演習（専門） 4	2	必	8		
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導 1	2	必	4	6	
	ソーシャルワーク実習指導 2	2	必	5		
	ソーシャルワーク実習指導 3	2	必	6		
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習 1	2	必	4	6	
	ソーシャルワーク実習 2	4	必	5		

実習科目を履修するためには、社会福祉士選考試験に合格し、かつ実習実施までに以下の科目を合格していることが必要です。各自、『履修要項』を確認し、必ず履修してください。

（社会福祉学部社会福祉学科 専門科目）

授業科目	単位数
ソーシャルワーク演習	2

※その他、実習希望票を提出し、社会福祉士選考試験合格後に、専任教員の面接を受けること（課題等が出されることもある）。

社会福祉士選考試験について

【実施時期】

第2学年以上の所定の時期

【選考試験受験条件】

選考試験までに以下の単位を修得していること。

授業科目	単位数
アカデミック・スキルズ	2
現代の社会問題とアクション	2
人権と福祉	2
福祉とケアの倫理	2
ソーシャルワークの基盤と専門職	2
ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	2

取得について
仏教学科
日本文学科
中国学科
英米学科
歴史学科
歴史文化学科
教育学科
幼児教育学科
臨床心理学科
現代社会学科
公共政策学科
社会福祉学科
特別支援学校
教育実習
教職実践演習
介護等体験

浄土宗教師
浄土宗開教使
浄土宗社会教化主事
社会教育主事
博物館学芸員
図書館司書
学校図書館司書教諭
学校司書
社会調査士
グローバルプロジェクトマネジャー
保育士
社会福祉士
精神保健福祉士
レクリエーション・インストラクター
レクリエーション・コーディネーター
社会福祉主事
公認心理師
国家試験受験資格
日本語教師資格
GIS学術士

精神保健福祉士国家試験受験資格

概要

精神保健福祉士とは、「(前略) 精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の地域相談支援（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第二百二十三号）第五条第十八項に規定する地域相談支援をいう。第四十一条第一項において同じ。）の利用に関する相談その他の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うこと（以下「相談援助」という。）を業とする者」をいう。

この資格を得るためには、受験資格を得て、毎年2月上旬頃実施される国家試験に合格し、登録を受ける必要があります。

精神保健福祉士国家試験受験資格は、社会福祉学部社会福祉学科において、**在学中**に精神保健福祉士国家試験受験資格課程の単位を修得した者が、「精神保健福祉士法」（第7条第1項）に基づき、得ることができます。

履修上の注意



注意

選考試験に合格しなければ履修できません

精神保健福祉士国家試験受験資格課程は選考試験に合格した者のみ履修ができます。選考試験および授業科目の履修登録については、学科が実施するガイダンスにて説明を行うので、必ず出席してください。

※「精神保健福祉士国家試験受験資格課程の履修に関する内規」及び「佛教大学社会福祉学部『精神保健福祉援助演習等履修者選考試験』の取り扱いに関する内規」に従って履修方法等の説明が行われます。また、「精神保健福祉援助実習1・2」、「精神保健福祉援助実習指導1・2・3」、「精神保健福祉援助演習1・2・3」の履修に際しては、選考試験が実施されます。ガイダンスに欠席した場合は履修ができなくなるので注意してください。

精神保健福祉援助実習の実施・実習費について

実習種別	実習時期	単位数	実習日数	実習時間数	実習費
精神保健福祉援助実習1【施設】	精神保健福祉士国家試験受験資格のみ取得 社会福祉士国家試験受験資格との同時取得	3	17日間	135時間以上	47,000円
			10日間	75時間以上	42,000円
精神保健福祉援助実習2【精神科医療機関】	第4学年	2	12日間	90時間以上	50,000円

精神保健福祉士選考試験について

【実施時期】

第2学年以上の所定の時期

【選考試験受験条件】

選考試験までに以下の単位を修得していること。

授業科目	単位数
アカデミック・スキルズ	2
精神保健福祉の原理 1	2
精神保健福祉の原理 2	2
精神保健の課題と支援 1	2
精神保健の課題と支援 2	2

精神保健福祉士国家試験の受験申込について



説明会への参加が必要です

卒業年次において精神保健福祉士国家試験受験資格課程の所要単位を修得見込みの場合は、精神保健福祉士国家試験受験の申し込みができます。本学では、一括して社会福祉振興・試験センター（以下試験センター）あての受験申し込み手続きを代行しますので、下記の順序にしたがって手続きをしてください。詳細はB-netにてお知らせします。

※手続きの流れは2025年度実績に基づいています。試験センター側の手続き形態等に変更がある場合、対象外には改めて手続きの流れをお知らせします。

- ① 9月中旬：卒業年次の秋学期オリエンテーション時に精神保健福祉士国家試験受験申込手続き説明会を実施し、受験申込書類を配付します。
- ② 9月下旬：受験手数料を払い込みのうえ、受験申込書類を免許・資格課に提出します。提出された申込書は本学より一括で試験センターへ送付します。
- ③ 12月中旬：試験センターより受験票が受験申込者あてに送付されます。

社会福祉学科 精神保健福祉士国家試験受験資格

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法定基準		本学基準				
指定科目	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位	備考
医学概論	医学概論	2	必	5	2	
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	2	必	3	2	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	2	必	3	2	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策 1	2	必	7	4	
	社会福祉の原理と政策 2	2	必	8		
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制 1	2	必	3	4	
	地域福祉と包括的支援体制 2	2	必	4		
社会保障	社会保障論 1	2	必	3	4	
	社会保障論 2	2	必	4		
障害者福祉	障害者福祉論	2	必	2	2	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	2	必	5	2	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	2	必	5	2	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	2	必	3	2	
精神医学と精神医療	精神医学 1	2	必	3	4	
	精神医学 2	2	必	4		
現代の精神保健の課題と支援	精神保健の課題と支援 1	2	必	1	4	
	精神保健の課題と支援 2	2	必	2		
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	必	1	2	
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理 1	2	必	1	4	
	精神保健福祉の原理 2	2	必	2		
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法 1	2	必	3	4	
	ソーシャルワークの理論と方法 2	2	必	4		
ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法（専門） 1	2	必	5	4	
	ソーシャルワークの理論と方法（専門） 2	2	必	7		
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	2	必	7	2	
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	2	必	5	2	
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	2	必	3	2	
ソーシャルワーク演習（専門）	精神保健福祉援助演習 1	2	必	5	6	
	精神保健福祉援助演習 2	2	必	6		
	精神保健福祉援助演習 3	2	必	7		
ソーシャルワーク実習指導	精神保健福祉援助実習指導 1	2	必	5	6	
	精神保健福祉援助実習指導 2	2	必	7		
	精神保健福祉援助実習指導 3	2	必	8		
ソーシャルワーク実習	精神保健福祉援助実習 1	3	必	6	5	
	精神保健福祉援助実習 2	2	必	7		

実習科目および演習科目を履修するためには、精神保健福祉士選考試験に合格し、かつ実習実施前年度までに以下の科目を合格していることが必要です。各自、『履修要項』を確認し、必ず履修してください。

（社会福祉学部社会福祉学科 専門科目）

授業科目	単位数
現代の社会問題とアクション	2
人権と福祉	2
福祉とケアの倫理	2

レクリエーション・インストラクター

概要

日本レクリエーション協会のレクリエーション指導者養成のための大綱に伴い、指導者養成に必要な単位を修得した者は、規程により指導者検定を受け「レクリエーション公認指導者」の資格が与えられます。「レクリエーション公認指導者」は地域のレクリエーション協会に登録する必要があります。この登録によって、レクリエーション運動に参加し、これを発展させる権利と義務を負います。

登録及びレクリエーション公認指導者証の交付について



注意

手続きが必要です

レクリエーション・インストラクター資格課程の所要単位を修得した者は、指導者検定を受けたこととなり、「レクリエーション公認指導者」の資格を有する者として、地域のレクリエーション協会に登録する必要があります。登録は、卒業年次の12月頃に本学より行い、登録者には卒業式当日に「レクリエーション公認指導者証」が交付されます。なお、登録・更新に関わる費用の納入が必要になります（詳しくは、日本レクリエーション協会のホームページを確認してください）。

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

指 定 科 目	授 業 科 目	本 学 基 準				備 考
		単 位	必 修・ 選 択 別	履 修 開 始 セ メ ー ー	最 低 修 得 単 位	
理論科目	レクリエーション概論	レクリエーション概論	2	必	3	2
	楽しさと心の元気づくりの理論					
	レクリエーション支援理論					
	レクリエーション支援のプログラム					
実技科目	レクリエーション支援の方法	レクリエーション実技	1	必	3	1
	レクリエーション活動の習得	スポーツ実技	1	必	1	1
	レクリエーション支援の実施					
実習科目	現場実習	レクリエーション指導実習	1	必	3	1

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 特別支援学校
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネジャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・コーディネーター
- 社会福祉主事
- 公認心理師国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS学術士

教育学科・幼児教育学科 レクリエーション・コーディネーター(教育コース)

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

レクリエーション・コーディネーター(教育コース)

概要

レクリエーション・インストラクターと同様に、日本レクリエーション協会が発行している資格です。レクリエーション・コーディネーターは、レクリエーション・インストラクターの上級資格として位置づけられており、レクリエーション活動の普及ならびに指導者への支援や指導も求められます。とりわけ、レクリエーション・コーディネーター(教育コース)資格の取得者は、学校現場におけるレクリエーション活動の企画や運営を担う中心の人材として期待されます。

登録及びレクリエーション公認指導者証の交付について



注意

手続きが必要です

レクリエーション・コーディネーター(教育コース)資格課程の所要単位を修得し、卒業年次の1月頃に本学で開催される試験に合格する必要があります。また、前提条件として幼稚園もしくは小学校教諭一種免許状を取得する必要もあります(中学校教諭一種免許状の取得でも可としますが、下表の指定科目の履修に留意してください)。すなわち、前提条件を満たし、資格課程の所要単位の修得と試験の合格により、地域のレクリエーション協会に登録することができます。登録者には卒業式に「レクリエーション公認指導者証」が交付されます。なお、登録・更新に関わる費用の納入が必要になります(詳しくは、日本レクリエーション協会のホームページを確認してください)。

【履修要項】の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

指定科目	授業科目	本学基準				備考
		単位	必修・選択別	履修開始セメスター	最低修得単位	
レクリエーション支援の理念と方法 (レクリエーション概論、楽しさと心の元気づくりの理論、レクリエーション支援理論、レクリエーション支援のプログラム、レクリエーション支援の方法、レクリエーション活動の習得、レクリエーション支援の実施)	スポーツ理論	1	必	1	4	
	スポーツ実技	1	必	1		
	レクリエーション実技	1	必	3		
	レクリエーション指導実習	1	必	3		
活動領域および支援対象の理解 (活動領域の理解)	学校教育職入門	2	選	1	2	
	教師・保育者論	2	選	1		
	教育原論	2	必	1		
	教育社会学	2	必	1		
	教育相談の理論及び方法	2	選	3		
	幼児理解及び保育相談	2	選	3		
レクリエーション・コーディネート技術 (事業でのレクリエーション・インストラクション技術の活用、事業やプログラムの意図に応じたレク活動のアレンジ・創作、事業の企画と運営)	学校教育課程論	2	選	3	2	
	幼児教育・保育課程論	2	選	2		
	初等教育内容体育	2	選	1		
	幼児と表現(身体)	2	選	1		
	初等体育教育法	2	選	3		
	保育内容の理論と方法「身体表現」	2	選	3		
レクリエーション・コーディネート演習 現場実習	レクリエーション概論	2	必	3	2	
	教育実習(幼・小)1	2	選	5		
	教育実習(幼・小)2	2	選	5		
	教育実習(小・中)1	2	選	5		
	教育実習(小・中)2	2	選	5		

社会福祉主事 (任用資格)

概要

社会福祉主事は、都道府県、市及び福祉事務所を設置する町村に置かれる職です（社会福祉法第18条第1項、第2項）。社会福祉主事の職務は、生活保護法、児童福祉法、母子及び寡婦福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法に定める援護、育成又は更生の措置に関する事務を行うことです。

社会福祉学科を卒業した場合、社会福祉主事（任用資格）を得ることができます。なお、社会福祉主事は、当該地方公共団体の社会福祉主事に任用されてはじめて名乗ることができます「**任用資格**」になります。

したがって、卒業時に課程修了書の授与はありません。当該資格にかかわる証明書の発行は、当該地方公共団体からの必要に応じて大学に請求してください。

公認心理師国家試験受験資格

概要

公認心理師とは、「(前略)保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者」(公認心理師法第二条)であり、「心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること」、「心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと」、「心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行うこと」、「心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行うこと」(第二条第一項～第四項)とされています。

この資格を得るためには、受験資格を得て、国家試験に合格し、登録を受ける必要があります。

なお、公認心理師の国家試験受験資格は、「大学における公認心理師となるために必要な科目」(公認心理師法施行規則第一条の二)に加え、「大学院において公認心理師法施行規則第2条で定める科目」を履修するか(区分A)、「文部科学省令・厚生労働省令で定める施設において文部科学省令・厚生労働省令で定める期間以上第二条第一号から第三号までに掲げる行為の業務に従事」すること(区分B)のいずれかが必要です。そのため、**学部のみでの履修では公認心理師の国家試験受験資格を得ることができません**ので注意してください。

履修上の注意

公認心理師の国家試験受験資格取得にかかわる授業科目の履修登録については、学科が実施するガイダンスにて説明を行うので、必ず出席してください。なお、「心理実習1」は、心理実習履修者選考に合格し、かつ「心理実習1」実習実施条件を充足した者のみが履修できます。

心理実習履修者選考

心理実習履修者選考は、選考試験および第3学年春学期終了時までの学業成績における通算GPAによって、総合的に判定されます。心理実習履修者選考の受験に際しては学科が実施するガイダンスにて説明を行うので、必ず出席してください。ガイダンスに欠席した場合は心理実習履修者選考の受験ができなくなるので注意してください。

【心理実習履修者選考の実施時期】

第3学年の所定の時期

心理実習の実施について



注意

選考に合格しなければ履修できません

実習種別	実習時期	実習時間数(※1)
心理実習1(※2)	第3学年秋学期	40時間
心理実習2(※3)	第4学年春学期	40時間

※1 実習時間はオリエンテーション、事前事後指導、実習報告会等を含みます。

※2 「心理実習1」の実施にあたっては、所定の実施条件を充足していることが必要です。

※3 「心理実習2」の実施にあたっては、「心理実習1」を合格していることが必要です。

臨床心理学科 公認心理師国家試験受験資格

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

2022年度以降第1学年入学者適用

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

法 定 基 準	本 学 基 準				備 考
指 定 科 目	授 業 科 目	単 位	必 修・選 択 別	履 修 開 始 セ ン ター	最 低 修 得 単 位
公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	必	5	2
心理学概論	心理学概論	2	必	1	2
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	必	1	2
心理学研究法	心理学研究法	2	必	1	2
心理学統計法	心理学統計法 1	2	必	1	2
	心理学統計法 2	2	必	2	2
心理学実験	心理学実験 1	1	必	3	1
	心理学実験 2	1	必	5	1
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	必	3	2
学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	必	3	2
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	必	3	2
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	必	3	2
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	2	必	3	2
発達心理学	発達心理学	2	必	3	2
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	必	5	2
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	必	3	2
心理学的支援法	心理学的支援法（力動的アプローチ）	2	選	3	2
	心理学的支援法（行動的アプローチ）	2	選	5	
					1科目2単位以上を選択し履修すること
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	必	3	2
福祉心理学	福祉心理学	2	必	5	2
教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	必	5	2
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	必	5	2
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	必	3	2
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	必	3	2
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	1	必	5	1
関係行政論	関係行政論	1	必	3	1
心理演習	心理演習 1	1	必	3	1
	心理演習 2	1	必	5	1
心理実習	心理実習 1	2	必	6	2
	心理実習 2	2	必	7	2

※ここでの必修単位・選択単位とは、卒業のための必修・選択の単位とは異なり、公認心理師の受験資格を得るための単位となります。

「心理実習 1」実習実施条件

「心理実習 1」を履修するためには、心理実習履修者選考を合格し、かつ「心理実習 1」実施までに以下の科目を履修し、所定の単位を修得していることが必要です。各自、『履修要項』を確認し、履修してください。

授業科目	単 位	条 件
公認心理師の職責	2	すべて合格
心理学概論	2	
臨床心理学概論	2	
心理学研究法	2	
心理学統計法 1	2	
心理学統計法 2	2	
心理学実験 1	1	
心理学実験 2	1	
知覚・認知心理学	2	
学習・言語心理学	2	
感情・人格心理学	2	20 単位以上修得済
神経・生理心理学	2	
社会・集団・家族心理学	2	
発達心理学	2	
障害者・障害児心理学	2	
心理的アセスメント	2	
心理学的支援法（力動的アプローチ）	2	
心理学的支援法（行動的アプローチ）	2	
健康・医療心理学	2	
福祉心理学	2	
教育・学校心理学	2	
司法・犯罪心理学	2	
産業・組織心理学	2	
人体の構造と機能及び疾病	2	
精神疾患とその治療	2	
関係行政論	2	
心理演習 1	1	
心理演習 2	1	

- 取得について
- 仏教学科
- 日本文学科
- 中国学科
- 英米学科
- 歴史学科
- 歴史文化学科
- 教育学科
- 幼児教育学科
- 臨床心理学科
- 現代社会学科
- 公共政策学科
- 社会福祉学科
- 教育実習
- 教職実践演習
- 介護等体験
- 浄土宗教師
- 浄土宗開教使
- 浄土宗社会教化主事
- 社会教育主事
- 博物館学芸員
- 図書館司書
- 学校図書館司書教諭
- 学校司書
- 社会調査士
- グローバルプロジェクトマネージャー
- 保育士
- 社会福祉士
- 精神保健福祉士
- レクリエーション・インストラクター
- レクリエーション・マネージャー
- 社会福祉主事
- 公認心理師国家試験受験資格
- 日本語教師資格
- GIS学術士

日本文学科 日本語教師資格

仏教学科 日本文学科 中国学科 英米学科 歴史学科 歴史文化学科 教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科 現代社会学科 公共政策学科 社会福祉学科

日本語教師資格

概要

日本語教師とは、日本語を母語としない外国人を対象に日本語を教える教員のことで、日本と外国との交流が活発化するにしたいが、海外における日本語ニーズも高いことから、各分野において活躍のフィールドが広がっています。なお、教育職員免許法に定められている「国語」の教員とは異なります。

なお、「日本語教員試験」(※)に合格すると、国家資格の「登録日本語教員」が得られます。※「日本語教員試験」は、令和6年4月に施行された「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」(令和5年法律第41号)に基づき、同法に定める「認定日本語教育機関」で日本語教育課程を担当する「登録日本語教員」になるために必要な資格試験です。詳しくは、文部科学省のHPを参照してください。

日本語教師資格取得希望者ガイダンス

日本語教師資格取得希望者ガイダンスを第2・3・4学年の春学期オリエンテーション時に開催します。詳細は、「春学期オリエンテーション日程表」で確認してください。このガイダンスで日本語教師資格取得に向けた履修全般について説明を行いますので、必ず出席してください。

履修上の注意

- 「日本語教育教壇実習1」は、「日本語教育文法1」「日本語教育教材・教具法」「日本語教育文法2」「日本語教授法1」の単位を全て修得した場合、履修登録ができます。
- 「日本語教育教壇実習2」は、「日本語教育教壇実習1」「日本語教授法2」の単位を全て修得した場合、履修登録ができます。

日本語教育教壇実習

- 日本語教育教壇実習は、模擬実習と教育実習に分かれます。
 - 模擬実習は、「日本語教育教壇実習1」で2回、「日本語教育教壇実習2」で2回、合計4回行います。実習は、授業内に学生が、教師役・学習者役に分かれて行い、その様子を録画します。また、後日、録画した動画を使って、フィードバックを行います。
 - 教育実習は、「日本語教育教壇実習2」で1回行います。実習は、原則として、日本語学校、大学の日本語の授業などで行います。
- ※日本語教育教壇実習の詳細については、B-netにてお知らせします。

資格の申請手続きについて

日本語教師資格課程の所要単位を修得した場合、卒業式当日に本学より「日本語教師資格課程修了書」を授与します。日本語教師の取得可否は、卒業所要単位充足者発表時に行います。

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いとなり卒業所要単位には算入されません。

区分	本学基準				備考
	授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター	
社会・文化・地域	日文キャリアプログラム（日本語教員系）	2	必	5	必修1科目2単位を含み、選択履修すること
	ことばと表現（近・現代）	2	選	2	
	日本文学概論1	2	選	1	
	日本文学概論2	2	選	2	
	文学概論1	2	選	3	
	文学概論2	2	選	4	
	日本文学史1	2	選	3	
	日本文学史2	2	選	4	
	日本事情	2	選	1	
	比較文学	2	選	3	
言語と社会	世界の民族文化	2	必	1	
言語と心理	教育心理学	2	選	1	1科目2単位以上を選択履修すること
	教育心理学2	2	選	2	
	発達心理学	2	選	3	
言語と教育	心の世界を考える	2	選	1	
	日本語教育教材・教具法	2	必	3	5科目8単位を履修すること
	日本語教授法1	2	必	3	
	日本語教授法2	2	必	4	
	日本語教育教壇実習1	1	必	5	
日本語教育教壇実習2	1	必	6		
言語	日本語教育文法1	2	必	3	必修2科目4単位を含み、選択履修すること
	日本語教育文法2	2	必	4	
	古典文法1	2	選	1	
	古典文法2	2	選	2	
	言語学概論1	2	選	3	
	言語学概論2	2	選	4	
	日本語学概論1	2	選	3	
	日本語学概論2	2	選	4	
	必修16単位、備考の条件を満たし選択10単位以上計26単位以上履修すること				

取得について
 仏教学科
 日本文学科
 中国学科
 英米学科
 歴史学科
 歴史文化学科
 教育学科
 幼児教育学科
 臨床心理学科
 現代社会学科
 公共政策学科
 社会福祉学科
 特別支援学校
 教育実習
 教職実践演習
 介護等体験

浄土宗教師
 浄土宗開教使
 浄土宗社会教化主事
 社会教育主事
 博物館学芸員
 図書館司書
 学校図書館司書教諭
 学校司書
 社会調査士
 グローバルプロジェクトマネジャー
 保育士
 社会福祉士
 精神保健福祉士
 レクリエーション・インストラクター
 レクリエーション・コーディネーター
 社会福祉主事
 公認心理師
 国家試験受験資格
 日本語教師資格
 GIS学術士

GIS学術士

概要

GIS学術士は、地理空間情報科学分野における高度な知識と技術を体系的に修得し、応用力を有する人材に、公益社団法人日本地理学会より与えられる資格です。GISとはGeographic Information Systemの略で、地理情報をコンピュータで系統的に取得・構築、管理、分析、統合、表示、伝達することに関わるシステムおよび科学を指します。

GIS学術士の資格を取得することは、地理学や地理情報科学の理論的基盤、技術力、そしてこれらを統合して課題解決に応用する能力を公的に証明することになります。GIS学術士資格には、在学時に取得できる「GIS学術士（見込み）」と、卒業後に取得できる正規の「GIS学術士」資格があります。

履修上の注意

- 第4学年終了時まで、A～Dの各科目群に対応する科目の所要単位を修得する必要があります。
- **一部の科目で事前申請が必要になる場合があります。** 詳細は履修ガイダンスやB-netにてお知らせします。
- GIS学術士（見込み）は、以下の条件を全て満たすことで申請できます。
 - ① 在籍期間が2年間以上であること
 - ② A～Cの科目群に対応する科目を2科目以上修得していること
 - ③ A～Dの科目群に対応する科目のうち、修得済みの科目と申請年度に履修中の科目の合計が3科目以上であること

資格認定の手続きについて

「GIS学術士（見込み）」資格、もしくは正規の「GIS学術士」資格の所要単位を修得した場合、公益社団法人日本地理学会に資格認定を受けるための申請をすることができます。また、在学時に「GIS学術士（見込み）」資格を申請し、卒業時に正規の「GIS学術士」資格に変更申請することも可能です。

各種手続きに関しては、履修ガイダンスやB-netにてお知らせします。なお、申請にあたっては手数料の納入が必要です。

『履修要項』の各自が所属する学科の履修科目表に記載のない授業科目は、すべて自由科目の扱いになり卒業所要単位には算入されません。

科目群	指定カリキュラム 科目	本学基準				備考	
		授業科目	単位	必修・選択別	履修開始セメスター 最低修得単位		
A	GISに関連する情報処理を中心とする科目	ICTリテラシー	2	必	1	2	
B	GISの基本的機能と空間データの講義を中心とする科目	地理情報学	2	必	3	2	
C	GISによる地図作成・空間分析の実習を中心とする科目	地理情報システム演習	2	必	4	4	
		歴史学とコンピュータ	2	選	2		歴史学科は「歴史学とコンピュータ」を修得すること
		地域文化演習2	2	選	5		歴史文化学科は「歴史学とコンピュータ」または「地域文化演習2」のいずれか2単位を修得すること
D	GISを利用した卒業論文の執筆（またはそれに相当する演習）	卒業研究ゼミ1	2	必	7	4	
		卒業研究ゼミ2	2	必	8		
		必修10単位、選択2単位以上 計12単位以上履修すること					

